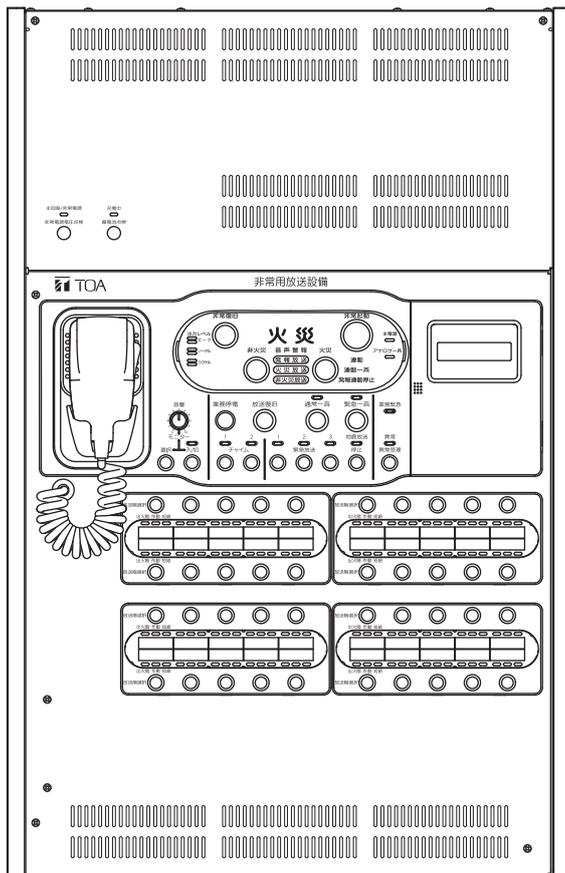


壁掛型非常用放送設備
**型名 FS-1000
Ver. 4**

お願い (重要)

FS-1000 本体に初めて通電したときは必ず本体構成設定を行ってください。
本体構成設定を行わないと異常表示が出る可能性があります。

お知らせ

本書は FS-1000 本体の設定操作部を使って設定するときの説明書です。パソコンが使用できる環境にあるときは、設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager * を使用して設定できます。

* 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager は付属しておりません。

TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) から最新の設定支援ソフトウェアおよび FS-1000 設定支援ソフトウェア取扱説明書をダウンロードしてお使いください。

設定支援ソフトウェアで設定したときは、データを付属の CF カードに保存した後、FS-1000 本体の設定操作部を使って CF カードから FS-1000 本体へデータ書き込みを行ってください。

このたびは、TOA 壁掛型非常用放送設備をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこのシステム設定説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

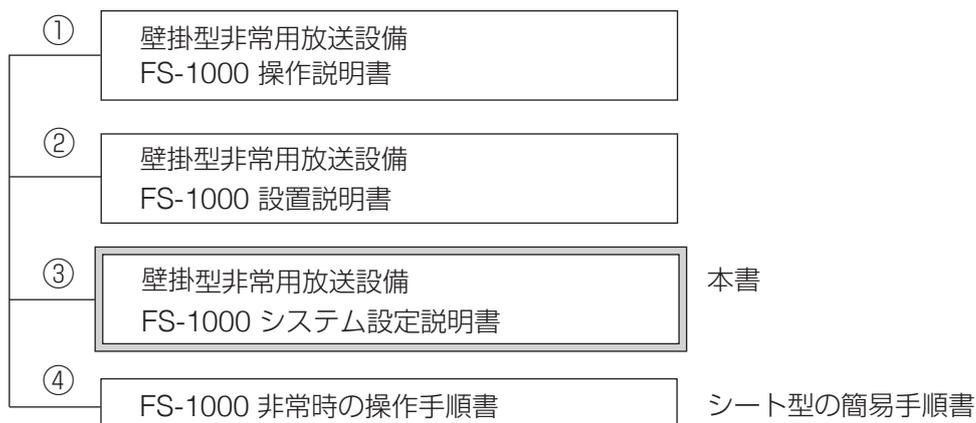
付属説明書の構成	5
RM-500 をお使いのお客様へ	5
設置工事とシステム設定の手順	6
システム設定の前に	7
システム設定で使用するキー	7
システム設定キーの使いかた	7
メニュー選択画面での操作	7
パスワード入力画面での操作	8
設定画面での操作	8
メニュー構成	9
システム設定のしかた	11
初期設定 (1-1)	12
時刻の設定 (1-1-1)	13
パスワードの変更 (1-1-2)	14
ネットワークの設定 (1-1-3)	15
機器構成設定 (1-2)	17
FS-1000 本体の設定 (1-2-1)	18
非常用リモコンの設定 (1-2-2)	19
業務用リモコンの設定 (1-2-3)	21
機器制御設定 (1-3)	23
回線グループの設定 (1-3-1)	24
FS-1000 本体スイッチの設定 (1-3-2)	25
非常用リモコンのスイッチの設定 (1-3-3)	33
業務用リモコンのスイッチの設定 (1-3-4)	41
制御入力の設定 (1-3-6)	58
制御出力の設定 (1-3-7)	65
非常動作設定 (1-4)	67
音声警報の設定 (1-4-1)	68
非常タイマーの設定 (1-4-2)	73
放送階の選択方法の設定 (1-4-3)	75
階メッセージの設定 (1-4-4)	77
出火階連動系統の設定 (1-4-5)	79
業務動作設定 (1-5)	81
業務放送動作の設定 (1-5-1)	82
優先度設定 (1-5-2)	91
同一優先度制御設定 (1-5-3)	92
非常断 24 V 出力設定 (1-5-4)	93
チャイム音量の設定 (1-5-5)	94
メッセージ音量の設定 (1-5-6)	96
点検音源音量の設定 (1-5-7)	98
ボイススイッチ設定 (1-5-8)	100

ボイススイッチ初期化 (1-5-9)	104
システム設定の終了 (1-7)	105
メンテナンス	106
回線インピーダンスの測定 (2-1)	107
回線インピーダンスの表示 (2-1-1)	108
回線インピーダンスの測定 (2-1-2)	109
回線インピーダンスの基準値の設定 (2-1-3)	110
回線インピーダンスの消去 (2-1-4)	111
システム動作確認 (2-2)	112
自己診断 (2-3)	114
自己診断機能による点検	114
定期点検の開始時刻の設定	116
CF カード (2-4)	117
設定データ更新 (2-4-1)	118
音源データ更新 (2-4-2)	119
設定データ保存 (2-4-3)	120
履歴データ保存 (2-4-4)	121
設定データ比較 (2-4-5)	123
メンテナンスの終了 (2-5)	124
システム状態確認	124
動作履歴の確認 (3-1)	125
異常履歴の確認 (3-2)	126
ユニットバージョンの確認 (3-3)	127
機器接続状態 (3-4)	128
制御入力状態の確認 (3-5)	130
システム状態確認の終了 (3-6)	130
通常動作画面への戻りかた	131
記名カードの取り付け	132
記名カードの作成	132
記名カードの取り付け	134
業務用リモコンの表示ラベルの取り付け	135
RM-200F/210F の場合	135
RM-220FW の場合	137
緊急放送スイッチ 4 用ラベルの取り付け	139
データの初期化	140
設定データの初期値	141
機器構成設定 (1-2)	141
機器制御設定 (1-3)	141
非常放送設定 (1-4)	144
業務動作設定 (1-5)	146

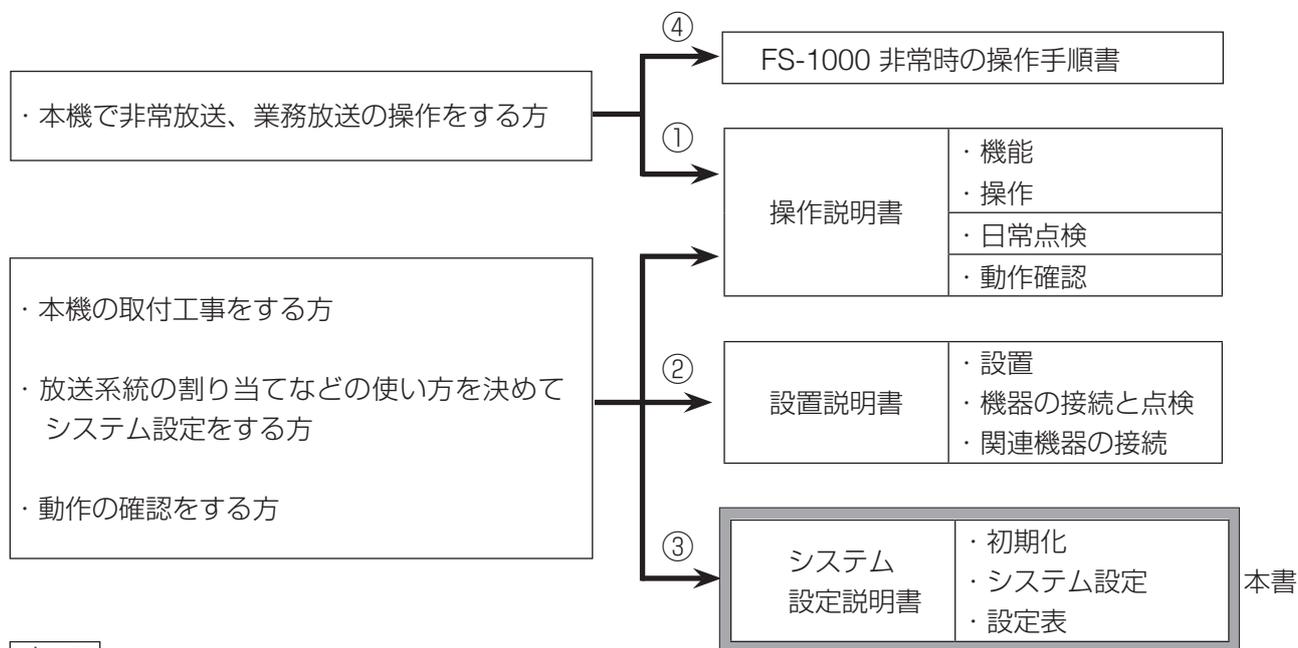
設定表の記入方法	148
スピーカー回線の構成例	148
設定表の記入例	149
機器構成設定 (1-2)	149
機器制御設定 (1-3)	150
非常放送設定 (1-4)	154
業務動作設定 (1-5)	157
設定表	158
機器構成設定 (1-2)	158
機器制御設定 (1-3)	158
非常動作設定 (1-4)	161
業務動作設定 (1-5)	162

付属説明書の構成

この機器には次の説明書が付属しています。



お客様の目的により必要な説明書をお読みください。



メモ

本書は FS-1000 本体の設定操作部を使って設定するときの説明書です。

設定については、これ以外に、FS-1000 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager * を使用して設定するときの FS-1000 設定支援ソフトウェア取扱説明書があります。パソコンが使用できる環境にあるときは、設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager * を使用して設定できます。

* 設定支援ソフトウェア FS-1000 Manager は付属しておりません。

TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) から最新の設定支援ソフトウェアおよび FS-1000 設定支援ソフトウェア取扱説明書をダウンロードしてお使いください。

設定支援ソフトウェアで設定したときは、データを付属の CF カードに保存した後、FS-1000 本体の設定操作部を使って CF カードから FS-1000 本体へデータ書き込みを行ってください。

RM-500 をお使いのお客様へ

本機の業務用リモコンとして、卓上型リモートマイク RM-500 も使用できます。

RM-500 の設置、設定、操作の詳細については、前項「付属説明書の構成」に記載の①～③各説明書の RM-500 追加版をお読みください。

RM-500 追加版は、TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) で公開しています。お使いの FS-1000 本体の品番 (FS10 で始まります) を入力し、検索してください。

設置工事とシステム設定の手順

本体ユニットの取り付け

デジタルパワーアンプユニットの取り付け

業務用電源ユニットの取り付け

蓄電池の取り付け

常用電源・蓄電池の接続

外線の接続

接続の点検

電源の投入と点検

設置説明書
(別冊)

設定表の記入 (P. 148)

データの初期化
(P. 140)

メモリーカードからの
データの読み込み (P. 118)

システム設定 (P. 11)

設定データの確認 (P. 123)

メモリーカードへのデータ書き込み (データ保存) (P. 120)

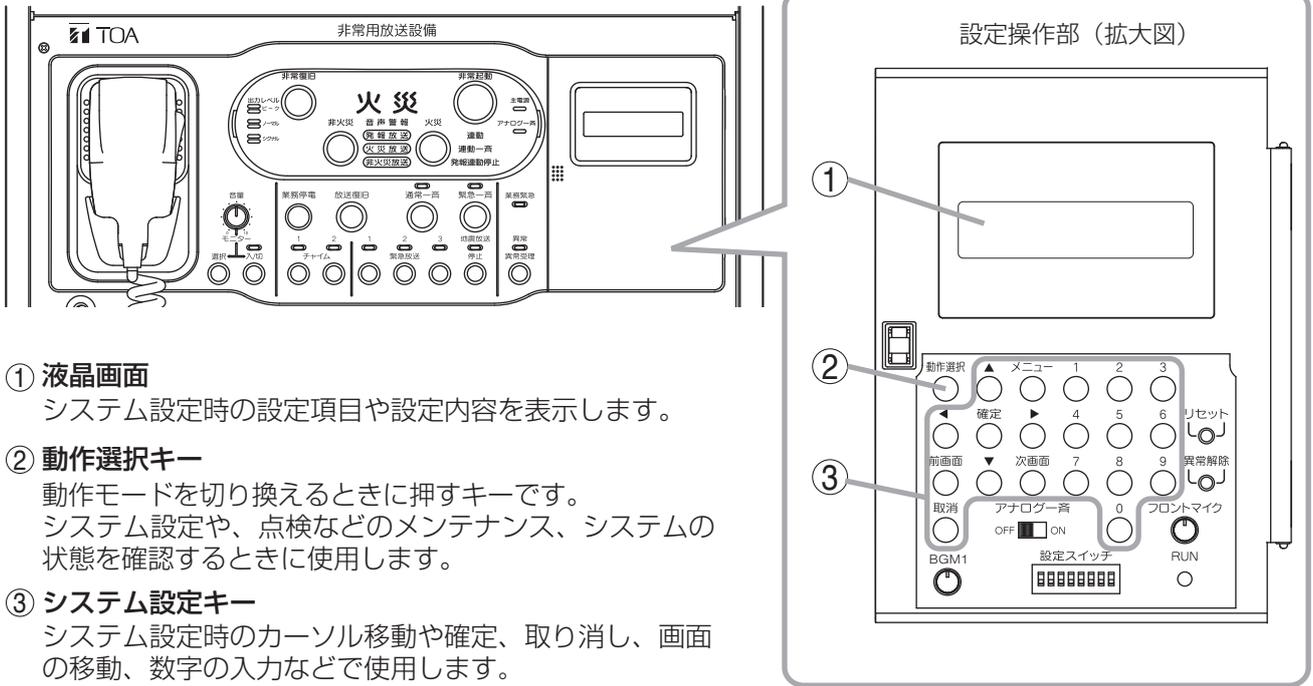
動作確認 (P. 112)

システム設定
説明書(本書)

システム設定の前に

■ システム設定で使用するキー

[FS-1000 本体操作部]



- ① **液晶画面**
システム設定時の設定項目や設定内容を表示します。
- ② **動作選択キー**
動作モードを切り換えるときに押すキーです。
システム設定や、点検などのメンテナンス、システムの状態を確認するときに使用します。
- ③ **システム設定キー**
システム設定時のカーソル移動や確定、取り消し、画面の移動、数字の入力などで使用します。

■ システム設定キーの使いかた

基本的な画面での各キーの使い方を説明します。

システム設定時以外での操作については、「メンテナンス」(P. 106)、「システム状態確認」(P. 124)の各項目をお読みください。

● メニュー選択画面での操作

- (上シフトキー) : 上の行の設定内容を選択します。
- (下シフトキー) : 下の行の設定内容を選択します。
- (左シフトキー) : 1つ上の階層に移動します。
- (右シフトキー) : 1つ下の階層に移動します。
- 取消
○ (取消キー) : 前画面またはメニュー画面に戻ります。
- 確定
○ (確定キー) : 項目を確定し、次の画面に進みます。
- 前画面
○ (前画面キー) : 使用しません。
- 次画面
○ (次画面キー) : 使用しません。
- メニュー
○ (メニューキー) : システム設定メニュー画面に戻ります。
- ⁰ ~ ○⁹ (数字キー) : 押した番号のメニューを開始します。
- 動作選択
○ (動作選択キー) : 設定を保存して動作選択メニュー画面に戻ります。

▶1 カイセング ループ°
2 ホンタイセイギョ

● パスワード入力画面での操作

 (左シフトキー) : カーソルを1つ左の桁に移動します。

 (右シフトキー) : カーソルを1つ右の桁に移動します。

取消
 (取消キー) : 1つ上の階層に戻ります。

確定
 (確定キー) : パスワードを確定します。

⁰ ~ ⁹ (数字キー) : カーソルのある桁に数字を入力します。

※ 上記以外のキーは使用しません。

<パスワード ニュウリョク>
[_]

● 設定画面での操作

 (上シフトキー) : 設定内容を選択します。
数値を入力する項目では、値を1増やします。

 (下シフトキー) : 設定内容を選択します。
数値を入力する項目では、値を1減らします。

 (左シフトキー) : 数値を入力する項目で、左の桁に移動します。

 (右シフトキー) : 数値を入力する項目では、右の桁に移動します。

取消
 (取消キー) : 1つ前の画面またはメニュー画面に戻ります。

確定
 (確定キー) : 項目を確定し、次の画面に進みます。

前画面
 (前画面キー) : 前の設定画面に移動します。

次画面
 (次画面キー) : 次の設定画面に移動します。

メニュー
 (メニューキー) : システム設定メニュー画面に戻ります。

⁰ ~ ⁹ (数字キー) : 数値を入力する項目では、カーソルのある桁に数字を入力します。

動作選択
 (動作選択キー) : 設定を保存して動作選択メニュー画面に戻ります。

※ 上記は基本的な設定画面での操作です。それ以外の設定画面については、「システム設定」の各項目をご覧ください。

<ギョウムRM1> 1/6
[キシユ] RM-200F

■ メニュー構成

ご注意

FS-1000 本体に初めて通電したときは必ず本体構成設定を行ってください。
本体構成設定を行わないと異常表示が出る可能性があります。

設定操作部の「動作選択キー」を押す

動作選択メニュー

1. システム設定 P. 11

パスワード入力

1. 初期設定 P. 12

1. 時刻設定 P. 13

2. パスワード変更 P. 14

3. ネットワーク設定 P. 15

1. IP アドレス P. 15

2. サブネットマスク P. 16

3. デフォルトゲートウェイ P. 16

2. 機器構成設定 P. 17

1. 本体構成 P. 18

2. 非常 RM 構成 P. 19

3. 業務 RM 構成 P. 21

3. 機器制御設定 P. 23

1. 回線グループ P. 24

2. 本体制御 P. 25

1. 階選択スイッチ P. 25

2. 一斉スイッチ P. 30

3. チャイムスイッチ P. 32

3. 非常 RM 制御 P. 33

1. 階選択スイッチ P. 34

2. 一斉スイッチ P. 37

3. チャイムスイッチ P. 39

4. 業務 RM 制御 P. 41

1. 動作設定 P. 42

2. 回線選択スイッチ P. 46

3. 一斉スイッチ P. 50

4. チャイムスイッチ P. 52

5. 緊急スイッチ P. 54

6. 制御入力 P. 58

7. 制御出力 P. 65

4. 非常動作設定 P. 67

1. 音声警報 P. 68

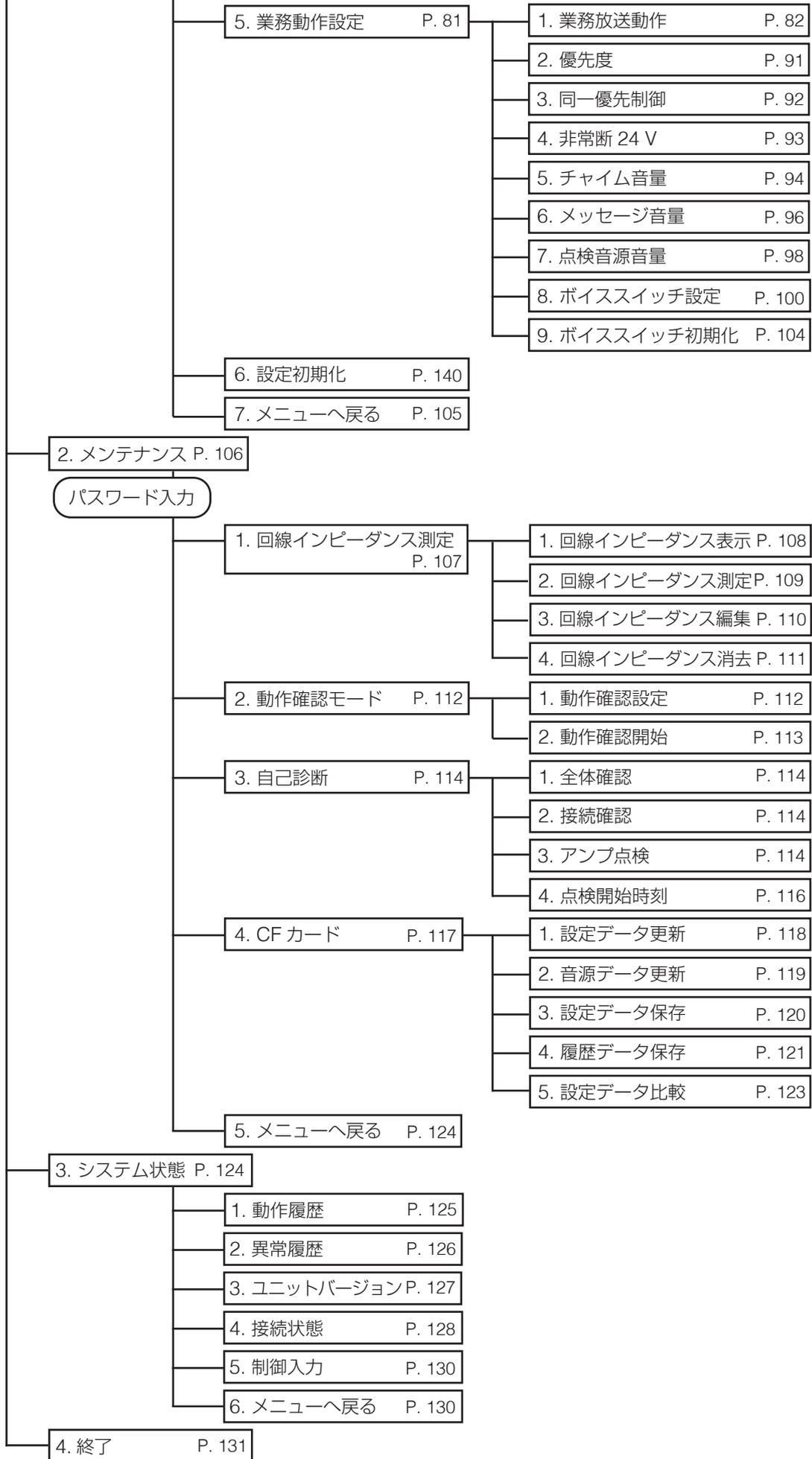
2. 非常タイマー P. 73

3. 放送階選択方法 P. 75

4. 階メッセージ P. 77

5. 非常連動系統 P. 79

次ページ (A) へ 次ページ (B) へ



システム設定のしかた

別冊の設置説明書に従って機器の設置と接続、および非常用リモコンと業務用リモコンのアドレススイッチなどの設定を完了し、電源を投入した後、システム設定をします。

初めに設定が必要な項目は以下のとおりです。

初期設定 : 時刻やパスワードの設定、および IP アドレスなどネットワークの設定をします。

機器構成設定 : 設置したシステムの機器構成を登録します。

機器制御設定 : 各放送階選択スイッチや一斉放送スイッチ、チャイムスイッチ、緊急放送スイッチの設定をします。また、制御入出力端子に各種機能を割り当てます。

非常動作設定 : 非常放送の音声警報放送や非常タイマーなど、非常放送について設定します。

業務動作設定 : 各放送の優先度や連動チャイムの設定など、業務放送について設定します。

ご注意

FS-1000 本体に初めて通电した場合は必ず機器構成設定の本体構成設定 (P. 18) を行ってください。本体構成設定を行わないと異常表示が出る場合があります。

メモ

- システム設定中でも、システム設定前の設定内容をもとに業務放送および非常放送は通常通り行えます。
- 初めてシステム設定をするときは、「初期設定」からメニュー番号順に従って設定してください。

[システム設定の開始のしかた]

1 設定操作部の動作選択キーを押す。

動作選択メニュー画面が表示されます。

動作選択メニュー画面での設定項目は、以下のとおりです。

- 1 システムセッテイ (システム設定)
- 2 メンテナンス (メンテナンス)
- 3 システムジョウタイ (システム状態)
- 4 シュウリョウ (終了)

2 上下シフトキーで「1 システムセッテイ」を選択し、確定キーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

3 数字キーで4桁のパスワードを入力する。

システム設定メニュー画面が表示されます。

システム設定画面での設定項目は、以下のとおりです。

- 1 ショキセッテイ (初期設定) (P. 12)
- 2 キキコウセイセッテイ (機器構成設定) (P. 17)
- 3 キキセイギョセッテイ (機器制御設定) (P. 23)
- 4 ヒジョウドウサセッテイ (非常動作設定) (P. 67)
- 5 ギョウムドウサセッテイ (業務動作設定) (P. 81)
- 6 セッテイショキカ (設定初期化) (P. 140)
- 7 メニューヘモドル (メニューへ戻る) (P. 105)

メモ

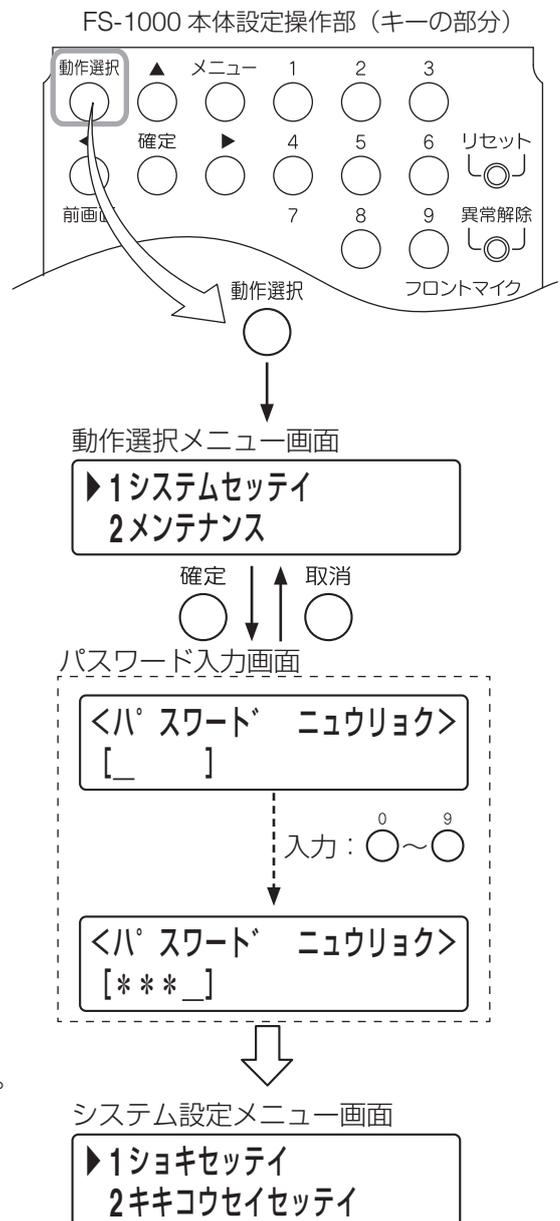
- 工場出荷時には、パスワードは「5555」に設定されています。
- パスワードの変更はシステム設定の「初期設定」で行います。(P. 14)

ご注意

誤ったパスワードを入力すると、以下の画面が表示されます。

ハ° スワート° NG
サイニュウリョク°カクテイ

確定キーを押すと、パスワード入力画面に戻るため、もう一度正しいパスワードを入力してください。



■ 初期設定 (1-1)

初期設定では、時刻やパスワードの設定や、IP アドレスなどのネットワークの設定をします。
設定項目は以下のとおりです。

- 時刻設定 : 現在の時刻を設定します。
 パスワード変更 : パスワードを変更します。
 ネットワーク設定 : IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定をします。

メモ

FS-1000 とパソコンを接続することで、設定支援ソフトウェアを使用することができます。
 FS-1000 とパソコンを接続して使用しないときは、ネットワーク設定は不要です。

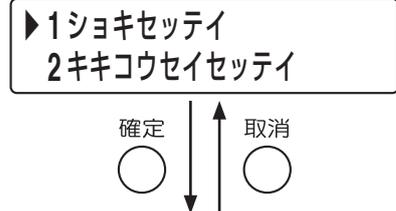
[初期設定の開始のしかた]

1 システム設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「1 ショキセッテイ」を選択する。

2 確定キーを押す。

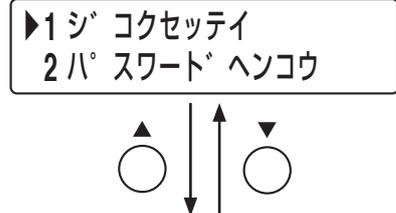
初期設定メニュー画面が表示されます。
 設定できる項目は上記のとおりです。

システム設定メニュー画面

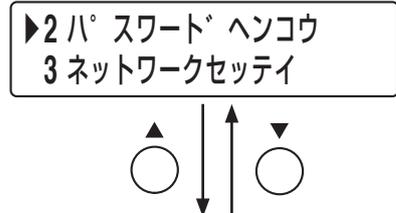


初期設定メニュー画面

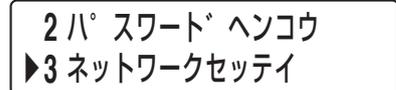
時刻設定画面 (P. 13)



パスワード変更画面 (P. 14)



ネットワーク設定画面 (P. 15)



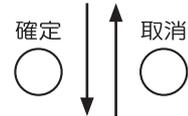
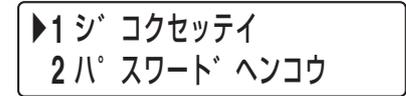
● 時刻の設定 (1-1-1)

機器に内蔵されている時計の時刻を合わせます。定期点検を実施したり、動作履歴・故障履歴の発生時刻を記録したりするために必要です。

[時刻設定のしかた]

1 初期設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「1 ジ コクセツテイ」を選択する。

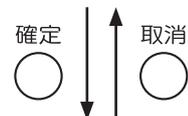
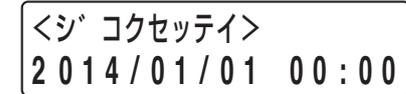
初期設定メニュー画面



2 確定キーを押す。

時刻設定画面が表示されます。

時刻設定画面



3 確定キーを押す。

時刻を入力できるようになります。

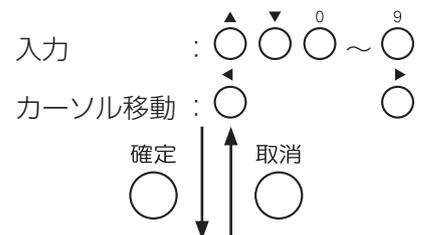
4 時刻を入力する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

× モ

- 設定する日時の年は、西暦の下2桁を入力してください。
- 時刻は1分単位で設定可能です。

時刻入力画面



5 確定キーを押す。

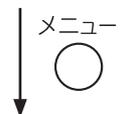
入力した時刻が設定されます。

× モ

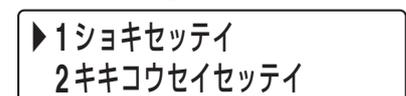
データ異常時は以下の画面が表示されますので、確定キーを押して、設定し直してください。

<ジ> コクセツテイ
 ニュウリョクイジ ヨウ

時刻設定画面



システム設定メニュー画面



6 メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

● パスワードの変更 (1-1-2)

4桁のパスワードを変更します。

[パスワード変更のしかた]

1 初期設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「2 パスワードへンコウ」を選択する。

2 確定キーを押す。
パスワード変更画面が表示されます。

3 数字キーで4桁のパスワードを入力する。

4 確定キーを押す。
パスワードが変更されます。

[メモ]

異常入力時は以下の画面が表示されますので、確定キーを押して、設定し直してください。

<パスワードへンコウ>
ニュウリョクイジ ヨウ

5 メニューキーを押す。
システム設定メニュー画面に戻ります。

初期設定メニュー画面

▶2 パスワードへンコウ
3 ネットワークセッテイ

確定 ↑ ↓ 取消
○ ○

パスワード変更画面

<パスワードへンコウ>
[_]

入力 : ○⁰ ~ ○⁹

カーソル移動 : ○ ○

確定
○

<パスワードへンコウ>
[5555] トウロク→カクテイ

確定
○

初期設定メニュー画面

▶2 パスワードへンコウ
3 ネットワークセッテイ

メニュー
○

システム設定メニュー画面

▶1 ショキセッテイ
2 キキコウセイセッテイ

● ネットワークの設定 (1-1-3)

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定をします。

ネットワーク設定は、FS-1000 システムとパソコンをオンラインで接続するために必要です。接続するパソコンのネットワーク環境に合わせて設定してください。詳しくは、ネットワーク管理者にご確認ください。

※ デフォルトは、以下のとおりです。

- ・ IP アドレス : 192.168.14.1
- ・ サブネットマスク : 255.255.255.0
- ・ デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0

FS-1000 とパソコンを接続することで、FS-1000 設定支援ソフトウェアを使用して、パソコンと FS-1000 間で設定データや音源をアップロードしたり、FS-1000 の動作履歴・故障履歴を取得することができます。この設定は、FS-1000 とパソコンを接続した状態で行ってください。

[ネットワーク設定のしかた]

1 初期設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「**3 ネットワークセッテイ**」を選択する。

2 確定キーを押す。

ネットワーク設定画面が表示されます。

3 上下シフトキーを押して、「**1 IP アドレス**」を選択し、確定キーを押す。

IP アドレスが表示されます。

4 もう一度、確定キーを押す。

IP アドレスが入力できるようになります。

5 IP アドレスを入力する。

上下シフトキーまたは数字キーを押して、IP アドレスを変更できます。

6 確定キーを押す。

IP アドレスが入力した値に設定されます。

✕ モ

異常入力時は以下の画面が表示されますので、確定キーを押して、設定し直してください。

<IPアド レス>
ニュウリヨクイジ ヨウ

初期設定メニュー画面

2 パ スワート、ヘンコウ
▶3 ネットワークセッテイ

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

ネットワーク設定画面

▶1 IPアド レス
2 サブ ネットマスク

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

IP アドレス表示画面

<IPアド レス>
192. 168. 014. 001

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

IP アドレス入力画面

<IPアド レス>
192. 168. 014. 001

入力 : ○[△]○[▽]○⁰~○⁹

カーソル移動 : ○[←]○[→]

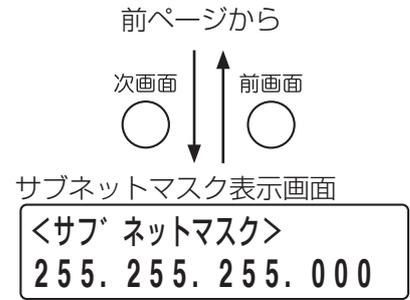
確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

IP アドレス表示画面

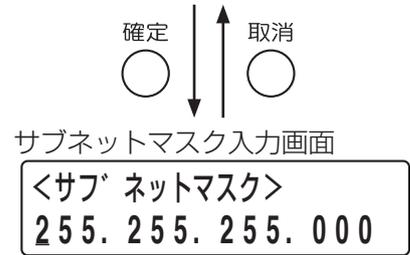
<IPアド レス>
192. 168. 014. 002

↓ ↑
次ページへ

7 次画面キーを押す。
サブネットマスクが表示されます。



8 確定キーを押す。
サブネットマスクが入力できるようになります。



9 サブネットマスクを入力する。
上下シフトキーまたは数字キーを押して、サブネットマスクを変更できます。



10 確定キーを押す。
サブネットマスクが入力した値に設定されます。

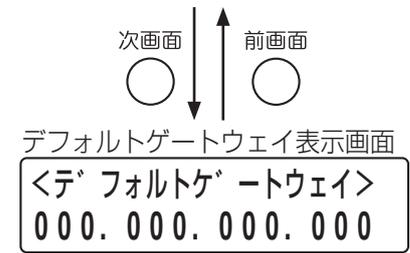
✕ モ

異常入力時は以下の画面が表示されますので、確定キーを押して、設定し直してください。

<サブ ネットマスク>
ニュウリョクイジ ヨウ



11 次画面キーを押す。
デフォルトゲートウェイが表示されます。



12 確定キーを押す。
デフォルトゲートウェイが入力できるようになります。



13 デフォルトゲートウェイを入力する。
上下シフトキーまたは数字キーを押して、デフォルトゲートウェイを変更します。



14 確定キーを押す。

デフォルトゲートウェイが入力した値に変更されます。

✕ モ

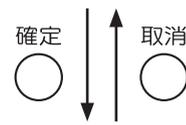
異常入力時は以下の画面が表示されますので、確定キーを押して、設定し直してください。

＜デフォルトゲートウェイ＞
 ニュウリヨクイジヨウ

15 メニューキーを押す。

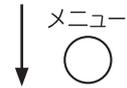
システム設定メニュー画面に戻ります。

前ページから



デフォルトゲートウェイ表示画面

＜デフォルトゲートウェイ＞
 192.168.001.002



システム設定メニュー画面

▶1 ショキセッテイ
 2 キキコウセイセッテイ

■ 機器構成設定 (1-2)

設置したシステムの機器構成を登録します。
 設定項目は以下のとおりです。

本体構成 : FS-1000 本体の機器構成および非常用リモコン・業務用リモコンの台数を登録します。

非常 RM 構成 : 非常用リモコンの機器構成を登録します。

業務 RM 構成 : 業務用リモコンの機器構成を登録します。

✕ モ

非常用リモコン : FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM、FS-2000RM

業務用リモコン : RM-500、RM-200F、RM-200FW

【機器構成設定の開始のしかた】

1 システム設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「2 キキコウセイセッテイ」を選択する。

2 確定キーを押す。

機器構成設定メニュー画面が表示されます。

システム設定メニュー画面

▶2 キキコウセイセッテイ
 3 キキセイギョセッテイ



機器構成設定メニュー画面

本体構成設定画面 (次ページ)

▶1 ホンタイコウセイ
 2 ヒジヨウRMコウセイ



非常 RM 構成設定画面 (P. 19)

▶2 ヒジヨウRMコウセイ
 3 キョウムRMコウセイ



業務 RM 構成設定画面 (P. 21)

2 ヒジヨウRMコウセイ
 ▶3 キョウムRMコウセイ

● FS-1000 本体の設定 (1-2-1)

機器構成設定メニュー画面で「1 ホンタイコウセイ」を選択し、FS-1000 本体の機器構成と、本体に接続される非常用リモコン・業務用リモコンの台数を登録します。
設定項目は以下のとおりです。

- 回線数 : 本体のスピーカー回線数を表示します。
- パワーアンプ : デジタルパワーアンプユニットの出力 W 数を登録します。
- 業務停電 : 業務用電源ユニットの有無を登録します。
- 非常 RM 台数 : 非常用リモコンの台数を登録します。
- 業務 RM 台数 : 業務用リモコンの台数を登録します。

【ご注意】

接点式リモコン RM-1100 の台数は含みません。接点式リモコン RM-1100 の設定については、P. 58 「制御入力の設定 (1-3-6)」をお読みください。

【本体構成の設定のしかた】

1 機器構成設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「1 ホンタイコウセイ」を選択する。

2 確定キーを押す。

本体スピーカー回線数が表示されます。
※ この項目は変更できません。

3 もう一度、確定キーを押す。

パワーアンプの出力 W 数の設定画面が表示されます。

4 上下シフトキーを押して、出力 W 数を選択する。

機種	出力 W 数
FS-1109PU	90 W
FS-1118PU	180 W
FS-1127PU	270 W
FS-1140PU	400 W

5 確定キーを押す。

FS-1000GU の有無の設定画面が表示されます。

6 上下シフトキーを押して、「アリ」または「ナシ」を選択する。

機器構成設定メニュー画面

▶1 ホンタイコウセイ
2 ヒジ ヨウ RM コウセイ

確定 ↑ 取消 ↓

スピーカー回線数表示画面

<ホンタイコウセイ> 1 / 5
[カイセンスウ] 10

確定 ↑ 取消 ↓

パワーアンプ出力 W 数設定画面

<ホンタイコウセイ> 2 / 5
[パワーアンプ] 90

選択 : ↑ ↓
確定 ↑ 取消 ↓

FS-1000GU の有無設定画面

<ホンタイコウセイ> 3 / 5
[ギョウムテイデン] ナシ

↑ ↓

<ホンタイコウセイ> 3 / 5
[ギョウムテイデン] アリ

↑ ↓
次ページへ

7 確定キーを押す。
非常用リモコン台数の設定画面が表示されます。

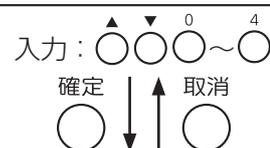
8 非常用リモコンの台数（最大 4 台）を入力する。
FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM、および FS-2000RM の合計台数を上下シフトキーまたは数字キーで入力します。

9 確定キーを押す。
業務用リモコン台数の設定画面が表示されます。

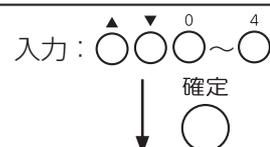
10 業務用リモコンの台数（最大 4 台）を入力する。
RM-200F および RM-200FW の合計台数を上下シフトキーまたは数字キーで入力します。

11 確定キーを押す。
機器構成設定メニュー画面に戻ります。

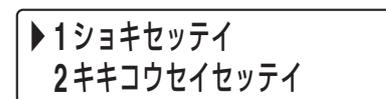
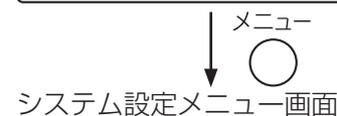
12 メニューキーを押す。
システム設定メニュー画面に戻ります。



業務用リモコン台数設定画面



機器構成設定メニュー画面



● 非常用リモコンの設定（1-2-2）

FS-1000 本体に接続されている各非常用リモコンの構成を登録します。非常用リモコンを使用しないときは、この設定は不要です。
設定項目は以下のとおりです。

非常 RM 番号：設定したい非常用リモコンの番号を選択します。

機種：非常用リモコンの機種を登録します。

スイッチ数：非常用リモコンの放送階選択スイッチの数を登録します。

電源台数：非常用リモコンに接続する電源パネルの台数を登録します。

[非常 RM 構成の設定のしかた]

1 機器構成設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「2 ヒジヨウ RM コウセイ」を選択する。

2 確定キーを押す。
非常 RM 番号設定画面が表示されます。

機器構成設定メニュー



3 非常 RM 番号 (1 ~ 4) を選択する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。

× モ

- 非常 RM 番号は非常用リモコンのアドレススイッチで設定された以下のアドレスに対応します。
(FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM)

非常 RM 番号	非常用リモコンのアドレススイッチの設定		
	設定スイッチ 1		
	6	7	8
1	OFF	OFF	OFF
2	OFF	OFF	ON
3	OFF	ON	OFF
4	OFF	ON	ON

(FS-2000RM)

非常 RM 番号	非常用リモコンのアドレススイッチの設定	
	A	B
1	0	0
2	0	1
3	0	2
4	0	3

※ アドレスの設定のしかたは非常用リモコンの取扱説明書をお読みください。

- 非常用リモコンを使用しないときは、「-」が表示されます。

4 確定キーを押す。

機種設定画面が表示されます。

5 上下シフトキーを押して、機種を選択する。

接続されている非常用リモコンに合わせて「FS-1010RM」、「FS-1020RM」、「FS-1030RM」、「FS-2000RM」の中から選択します。

6 確定キーを押す。

6-1 機種で「FS-2000RM」を選択したときは、手順 7 の放送階選択スイッチ数設定画面が表示されます。

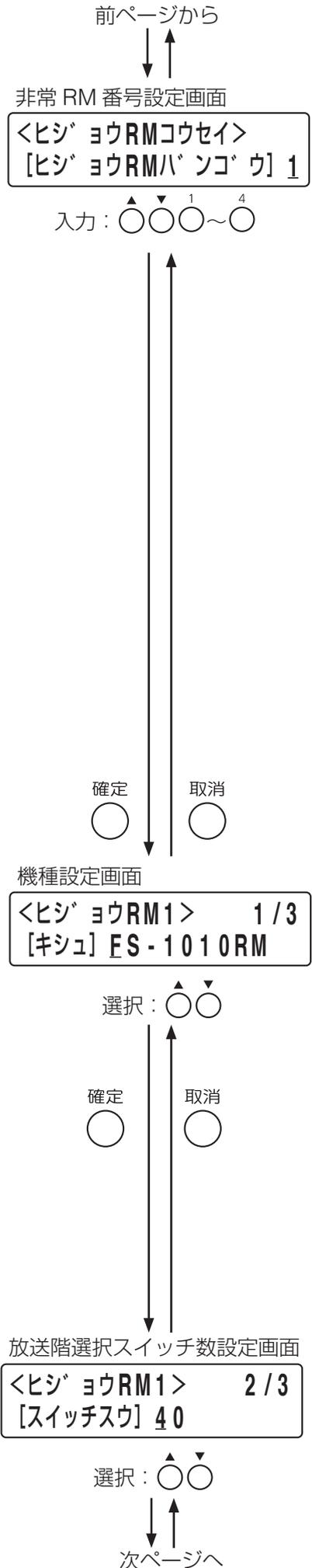
6-2 「FS-2000RM」以外の機種を選択したときは、手順 3 の非常 RM 番号設定画面に戻ります。

すべての非常用リモコンの設定が終わったら、メニューキーを押してシステム設定メニュー画面に戻ってください。

7 上下シフトキーを押して放送階選択スイッチの数を選擇する。

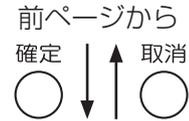
20、30、40 の中から選択してください。

機器構成	放送階選択スイッチの数
FS-2000RM のみ	20
FS-2000RM + FS-2010EP	30
FS-2000RM + FS-2020EP	40



8 確定キーを押す。

非常用リモコンに接続する電源パネルの台数設定画面が表示されます。



9 非常用電源パネル FS-2006DS の台数を入力する。

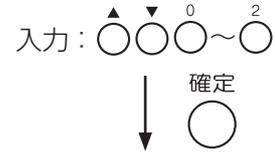
上下シフトキーまたは数字キーで入力します。

× モ

本体構成の業務停電の設定によって設定できる台数が変わります。

業務停電の設定	設定台数
アリ	0 台または 2 台
ナシ	0 台または 1 台

電源パネルの台数設定画面



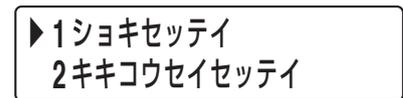
(次に設定する非常用リモコンがあるとき)

手順 3～8 を繰り返す。

(次に設定する非常用リモコンがないとき)



システム設定メニュー画面



10 確定キーを押す。

手順 3 (前ページ) の非常 RM 番号設定画面に戻ります。

11 非常用リモコンが複数台あるときは、手順 3～8 を繰り返して、すべての非常用リモコンの設定を行う。

12 すべての非常用リモコンの設定が終わったら、メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

● 業務用リモコンの設定 (1-2-3)

FS-1000 本体に接続されている業務用リモコン RM-500、RM-200F、および RM-200FW を登録します。

ご注意

- RM-500 の場合のみの設定項目とその詳細については、TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) で公開している「FS-1000 システム設定説明書 (RM-500 追加版)」をお読みください。
- 接点式リモコン RM-1100 は含みません。接点式リモコン RM-1100 の設定については、P. 58「制御入力の設定 (1-3-6)」をお読みください。

業務用リモコンを使用しないときは、この設定は不要です。
設定項目は以下のとおりです。

- 業務 RM 番号 : 設定したい業務用リモコンの番号を選択します。
- 機種 : 業務用リモコンの種類を登録します。
- スイッチ数 : 業務用リモコンのスイッチ数 (局数) を登録します。

[業務 RM 構成の設定のしかた]

1 機器構成設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「3 ギョウム RM コウセイ」を選択する。

2 確定キーを押す。

業務 RM 番号設定画面が表示されます。

機器構成設定メニュー画面



3 業務 RM 番号 (1 ~ 4) を選択する。

上下シフトキーまたは数字キーで入力します。

× モ

- 業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定された以下のアドレスに対応します。

業務 RM 番号	業務用リモコンのアドレス
1	00
2	01
3	02
4	03

※ アドレスの設定のしかたは別冊の設置説明書をお読みください。

- 業務用リモコンを使用しないときは、「-」が表示されます。

4 確定キーを押す。

機種の設定画面が表示されます。

5 上下シフトキーを押して、機種を選択する。

「RM-500」、 「RM-200F」、 または 「RM-200FW」 を選択してください。

6 確定キーを押す。

スイッチ数 (局数) の設定画面が表示されます。

7 上下シフトキーを押して、スイッチ数 (局数) を選択する。

× モ

機種によって設定できる数が変わります。

機種	設定できるスイッチ数
RM-500、RM-200F	10、20、30、40
RM-200FW	0、20、40

8 確定キーを押す。

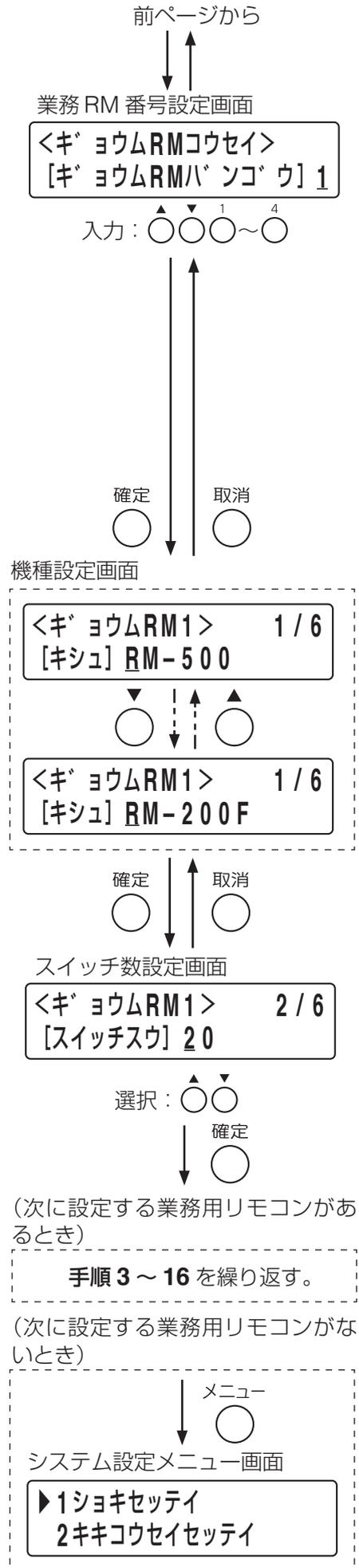
機種が「RM-200F」または「RM-200FW」のときは、手順 3 の業務 RM 番号設定画面に戻ります。

機種が「RM-500」のときは設定項目が続きます。詳しくは「FS-1000 システム設定説明書 (RM-500 追加版)」をお読みください。

9 業務用リモコンが複数台あるときは、手順 3 ~ 8 を繰り返して、すべての業務用リモコンの設定を行う。

10 すべての業務用リモコンの設定が終わったら、メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。



■ 機器制御設定 (1-3)

各放送階選択スイッチや一齐放送スイッチ、チャイムスイッチ、緊急放送スイッチの設定をします。また、制御入出力端子の割り当てを登録します。
設定項目は以下のとおりです。

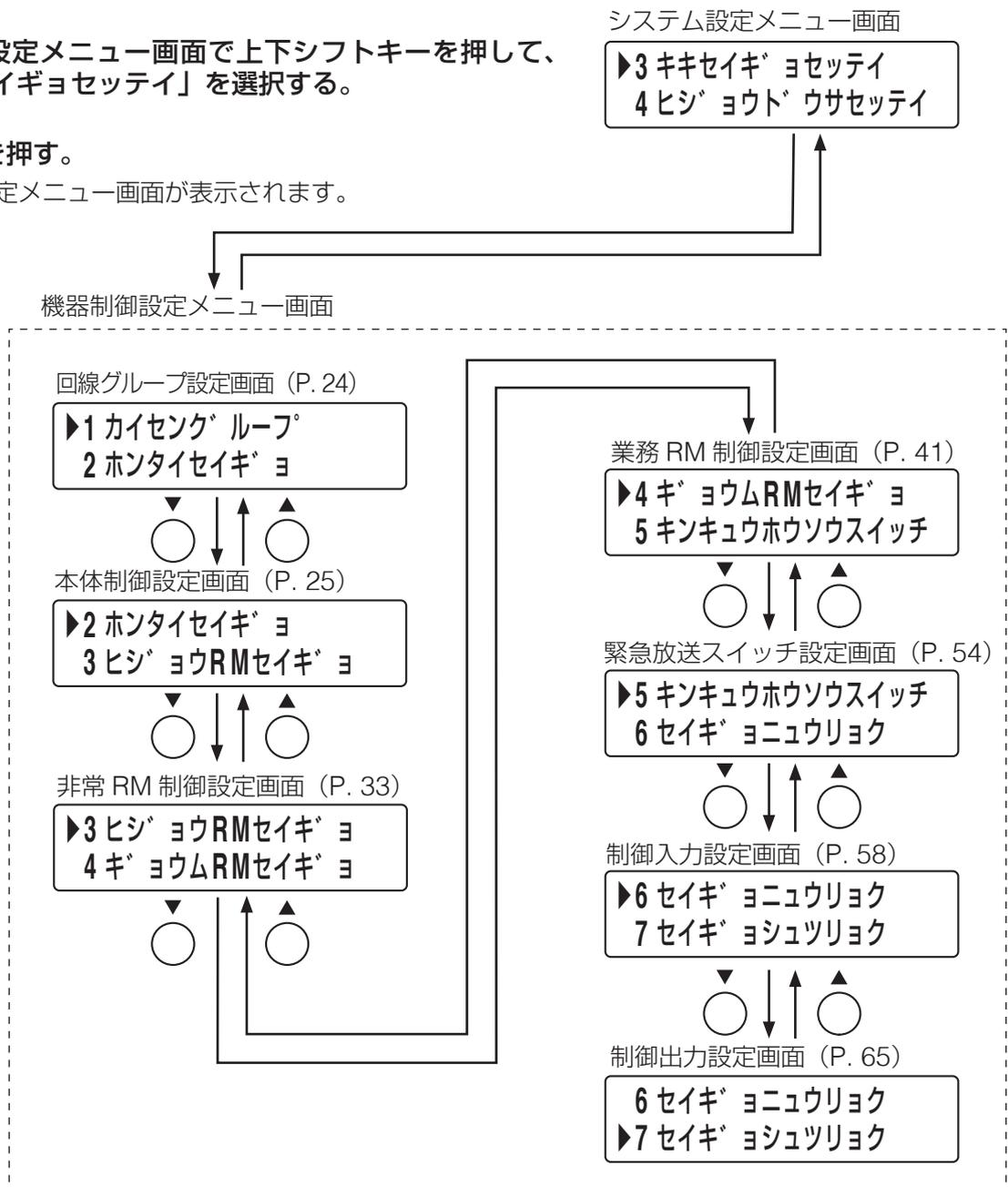
- 回線グループ : 回線グループを登録します。
- 本体制御 : FS-1000 本体の放送階選択スイッチ、通常／緊急一齐放送スイッチ、チャイムスイッチの設定をします。
- 非常 RM 制御 : 非常用リモコンの放送階選択スイッチ、通常／緊急一齐放送スイッチ、チャイムスイッチの設定をします。
- 業務 RM 制御 : 業務用リモコンの動作設定および回線選択キー、一齐放送キー、チャイムキーの設定をします。
- 緊急放送スイッチ : FS-1000 本体または、非常用リモコンの緊急放送スイッチの設定をします。
- 制御入力 : FS-1000 本体および業務用リモコン RM-500 の制御入力端子の設定をします。
- 制御出力 : FS-1000 本体および業務用リモコン RM-500 の制御出力端子の設定をします。

[機器制御設定の開始のしかた]

1 システム設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「3 キキセイギョセツテイ」を選択する。

2 確定キーを押す。

機器制御設定メニュー画面が表示されます。



● 回線グループの設定 (1-3-1)

複数のスピーカー回線を1つのグループに登録します。ここで設定したグループを放送階選択スイッチ、通常／緊急一斉スイッチなどに割り当てることによって、登録されている複数回線に一斉に放送することができます。

[回線グループ設定のしかた]

- 1** 機器制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「1 カイセングループ」を選択する。
- 2** 確定キーを押す。
回線グループ設定画面が表示されます。
- 3** グループ番号 (1 ~ 100) を入力する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。
- 4** 確定キーを押す。
回線追加／削除画面が表示されます。
- 5** 回線の追加／削除を行う。
左右シフトキーで回線を選択し、上下シフトキーで追加／削除を行います。
画面で「O」は追加、「x」は削除を表しています。
(設定例)

<カイセングループ 001>
 01-10 00OXXXXXXXX
- 6** 確定キーを押す。
 - 6-1** 次に追加／削除する回線があるとき
手順5の回線追加／削除画面に戻ります。ただし表示は、11 ~ 20 回線または 21 ~ 30 回線の回線追加／削除画面になります。
➡ 手順5 ~ 6 を繰り返してください。
 - 6-2** 次に追加／削除する回線がないとき
回線グループ設定画面が表示されます。
➡ 手順3 ~ 6 を繰り返して、すべてのグループ番号にスピーカー回線を設定してください。
- 7** すべてのグループのすべての回線の設定が終わったら、メニューキーを押す。
システム設定メニュー画面に戻ります。

機器制御設定メニュー画面

▶1 カイセングループ
 2 ホンタイセイキョ

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

回線グループ設定画面

<カイセングループ >
 [グループ] 001

入力 : ○ ○ ○ ~ ○

カーソル移動 : ○ ○

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

回線追加／削除画面

<カイセングループ 001>
 01-10 XXXXXXXXXXXX

選択 : ○ ○

追加／削除 : ○ ○

確定
↓ ○

(次に追加／削除する回線があるとき)

回線追加／削除画面

<カイセングループ 001>
 11-20 XXXXXXXXXXXX

または

<カイセングループ 001>
 21-30 XXXXXXXXXXXX

(次に追加／削除する回線がないとき)
他のグループ番号の回線について設定する。

(すべてのグループのすべての回線の設定が終わったら)

メニュー
↓ ○

システム設定メニュー画面

▶1 ショキセツテイ
 2 キキコウセイセツテイ

● FS-1000 本体スイッチの設定 (1-3-2)

FS-1000 本体の放送階選択スイッチや通常／緊急一斉放送スイッチ、チャイムスイッチの設定を行います。設定項目は以下のとおりです。

階選択スイッチ : 放送階選択スイッチについて設定します。

一斉スイッチ : 通常一斉放送スイッチおよび緊急一斉放送スイッチについて設定します。

チャイムスイッチ : チャイムスイッチ「1」「2」について設定します。

[本体制御設定の開始のしかた]

1 機器制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「2 ホンタイセイギョ」を選択する。

機器制御設定メニュー画面

▶2 ホンタイセイギョ
3 ヒジ ヨウRMセイギョ



2 確定キーを押す。

本体制御設定メニュー画面が表示されます。

本体制御設定メニュー画面

放送階選択スイッチ設定画面 (下記)

▶1 カイセンタクスイッチ FU
2 イッセイスイッチ



本体一斉スイッチ設定画面 (P. 30)

▶2 イッセイスイッチ FU
3 チャイムスイッチ



本体チャイムスイッチ設定画面 (P. 32)

2 イッセイスイッチ FU
▶3 チャイムスイッチ

◎ 放送階選択スイッチの設定 (1-3-2-1)

FS-1000 本体の各放送階選択スイッチについて、機能や通常放送／業務緊急モードの選択、出力回線と非常系統を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

スイッチ : 設定したいスイッチを選択します。

機能 : 放送階選択スイッチの機能を設定します。

業務緊急 : 業務放送について通常放送／業務緊急モードを選択します。

出力 : 出力をする回線について個別／グループを選択します。

回線／グループ番号 : 回線番号または、回線グループの番号を設定します。

非常系統 : 非常放送時の非常系統番号を設定します。

[放送階選択スイッチの番号の選択のしかた]

1 本体制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「1 カイセンタクスイッチ」を選択する。

本体制御設定メニュー画面

▶1 カイセンタクスイッチ FU
2 イッセイスイッチ



次ページへ

2 確定キーを押す。

放送階選択スイッチ番号選択画面が表示されます。

3 放送階選択スイッチの番号を選択する。

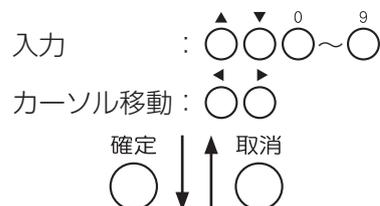
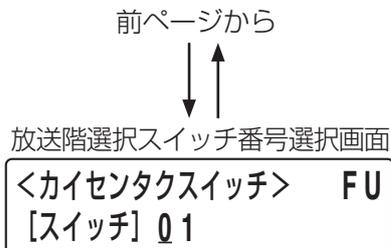
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

× モ

- 選択したスイッチについて、以下の項目を設定します。

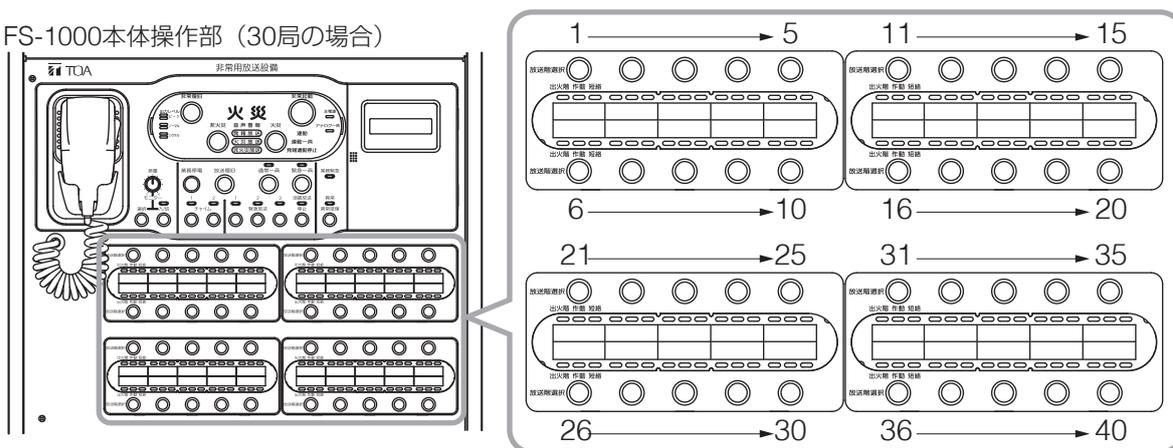
キノウ	(機能)	(P. 26)
ギョウムキンキュウ	(業務緊急)	(P. 28)
シュツリョク	(出力)	(P. 28)
カイセン / Gr No	(回線 / グループ番号)	(P. 29)
ヒジョウケイトウ	(非常系統)	(P. 30)

- 放送階選択スイッチの番号は下図のとおりです。



次ページ「機能の設定のしかた」へ

FS-1000本体操作部 (30局の場合)



4 確定キーを押す。

機能設定画面が表示されます。

○ 放送階選択スイッチの機能の設定

各放送階選択スイッチの機能を、「非常」、「業務」、「兼用」、「BGM」、「未使用」のいずれかに設定します。設定項目は以下のとおりです。

- 非常 : 放送階選択スイッチを非常放送用途で使用します。業務放送では使用できません。
- 業務 : 放送階選択スイッチを業務放送用途で使用します。非常放送では使用できません。BGM音源が流れます。
- 兼用 : 非常放送・業務放送の両方の用途で使用します。BGM音源が流れます。
- BGM : BGM音声入力端子に接続された演奏機器からBGM音源のみの放送を行うときに使用します。本体や非常用リモコンからの業務放送、非常放送では使用できません。
- 未使用 : 放送階選択スイッチを使用しません。

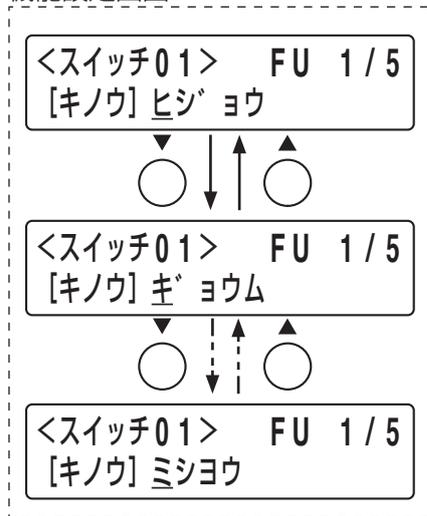
設定した機能により、必要な詳細設定の項目が異なります。放送階選択スイッチの機能と、必要な詳細設定の項目は、下表のとおりです。

設定機能	業務緊急の有無の設定 (P. 28)	個別 / グループの設定 (P. 28)	回線 / グループ番号の設定 (P. 29)	非常系統の設定 (P. 30)
非常	×	○	○	○
業務	○	○	○	×
兼用	○	○	○	○
BGM	×	○	○	×
未使用	×	×	×	×

[機能の設定のしかた]

5 機能設定画面で上下シフトキーを押して、手順3（前ページ）で選択したスイッチに割り当てる機能を選択する。
設定できる機能は、前ページのとおりです。

機能設定画面



6 確定キーを押す。

6-1 機能を「業務」または「兼用」に設定した場合
業務緊急設定画面に移動します。

(機能を「業務」または「兼用」に設定した場合)



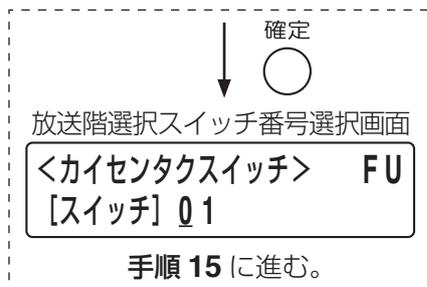
6-2 機能を「非常」または「BGM」に設定した場合
出力回線設定画面が表示されます。

(機能を「非常」または「BGM」に設定した場合)



6-3 機能を「未使用」に設定した場合
放送階選択スイッチ番号選択画面に戻ります。
➡ 手順 15 (P. 30) に進んでください。

(機能を「未使用」に設定した場合)



○ 放送階選択スイッチの業務緊急あり／なしの設定

各放送階選択スイッチの機能を「業務」または「兼用」に設定したとき、スピーカー回線へ放送を出力するモードを通常放送／業務緊急のどちらかに設定します。機能を「非常」、「BGM」、「未使用」に設定したときは、この設定はできません。

設定項目は以下のとおりです。

なし：通常放送モード（業務緊急なし）で放送します。

通常放送モードでは、アッテネーターによる音量の調節が可能です。

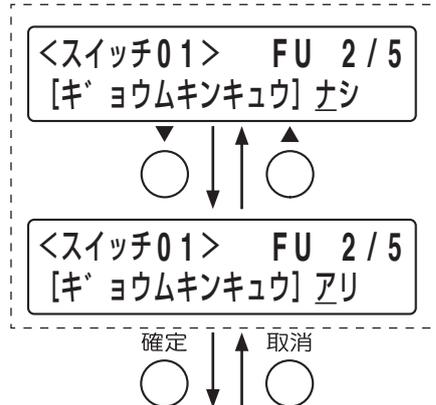
あり：業務緊急モードで放送します。

業務緊急モードでは、アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。

【業務緊急あり／なしの設定のしかた】

7 業務緊急設定画面で上下シフトキーを押して、手順 3 (P. 26) で選択したスイッチに業務緊急の有無を設定する。

業務緊急設定画面



下記「出力回線の個別／グループ設定のしかた」へ

8 確定キーを押す。

出力回線設定画面が表示されます。

○ 放送階選択スイッチの出力回線の個別／グループ設定

各放送階選択スイッチの回線登録を「個別」、「グループ」のどちらかに設定します。

機能を「未使用」に設定したときは、この設定はできません。

設定項目は以下のとおりです。

個別：放送階選択スイッチについて、スピーカー回線を1つ登録します。

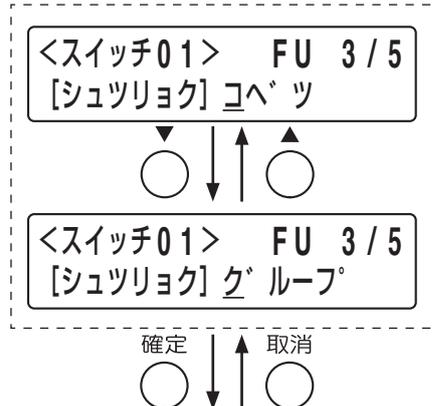
グループ：放送階選択スイッチについて、回線グループを登録します。

回線グループへのスピーカー回線の登録は、回線グループ設定 (1-3-1) で行います。(P. 24)

【出力回線の個別／グループ設定のしかた】

9 出力回線設定画面で上下シフトキーを押して、手順 3 (P. 26) で選択したスイッチに「コベツ」または「グループ」を設定する。

出力回線設定画面



次ページ「回線／グループ番号の設定のしかた」へ

10 確定キーを押す。

回線／グループ番号設定画面が表示されます。

○ 放送階選択スイッチの回線／グループ番号の設定

各放送階選択スイッチに回線番号または回線グループ番号を設定します。
機能を「未使用」に設定したときは、この設定はできません。

【回線／グループ番号の設定のしかた】

11 回線／グループ番号設定画面で、手順3 (P. 26) で選択したスイッチにスピーカー回線番号または回線グループ番号を設定する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右キーでカーソルを移動します。

11-1 出力回線を「個別」に設定したとき

スピーカー回線を1つ設定します。回線番号は1～30番 (FS-1000 本体が30局のとき) に割り当てます。

11-2 出力回線を「グループ」に設定したとき

回線グループ設定 (1-3-1) で登録した回線グループ番号 (1～100番) のいずれかに割り当てます。

12 確定キーを押す。

12-1 機能を「非常」または「兼用」に設定した場合

非常系統設定画面が表示されます。

12-2 機能を「業務」または「BGM」に設定した場合

放送階選択スイッチ番号選択画面に戻ります。

➡メニューキーを押して、システム設定メニュー画面に戻ってください。

回線／グループ番号設定画面

<スイッチ01> FU 4 / 5
[カイセン / Gr No] 001

入力 : ○[▲] ○[▼] ○⁰ ~ ○⁹

カーソル移動 : ○[◀] ○[▶]

(機能を「非常」または「兼用」に設定した場合)

確定 ↑ ↓ 取消

次ページ「非常系統の設定のしかた」へ

(機能を「業務」または「BGM」に設定した場合)

確定

○

放送階選択スイッチ番号選択画面

<カイセンタクスイッチ> FU
[スイッチ] 01

メニュー

○

システム設定メニュー画面

▶ 1 ショキセッテイ
2 キキコウセイセッテイ

○ 放送階選択スイッチの非常系統の設定

各放送階選択スイッチの機能を「非常」または「兼用」に設定したとき、放送階選択スイッチについて非常系統番号を割り当てます。機能を「業務」、「BGM」、「未使用」に設定したときは、この設定はできません。非常系統番号は 1～30 番のいずれかに設定します。

☒ ☒

階別信号 (EL) の非常系統および階メッセージの設定は、階メッセージ設定 (1-4-4) で行います。(P. 77) 非常系統の例は、P. 151 を参照してください。

[非常系統の設定のしかた]

13 非常系統番号設定画面で、手順 3 (P. 26) で選択したスイッチに非常系統番号を設定する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右キーでカーソルを移動します。

非常系統番号は 1～30 番のいずれかに設定します。

14 確定キーを押す。

手順 3 (P. 26) の放送階選択スイッチ番号選択画面に戻ります。

15 次に設定する放送階選択スイッチがあるときは、手順 3～14 を繰り返して、すべての放送階選択スイッチの設定を行う。

16 すべての放送階選択スイッチの設定が終わったら、メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

非常系統設定画面

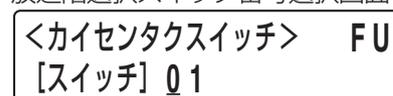


入力 : ○ ○ ○ ~ ○

カーソル移動 : ○ ○

確定

放送階選択スイッチ番号選択画面



(次に設定する放送階選択スイッチがあるとき)

手順 3～14 を繰り返す。

(次に設定する放送階選択スイッチがないとき)

メニュー

システム設定メニュー画面

▶ 1 ショキセツテイ
2 キキコウセイセツテイ

◎ 通常／緊急一斉放送スイッチの設定 (1-3-2-2)

FS-1000 本体の通常一斉放送スイッチおよび緊急一斉放送スイッチについて、回線グループ番号を設定します。

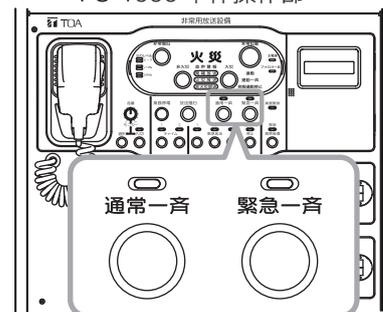
回線グループ設定 (1-3-1) で登録した回線グループ番号 (1～100 番) のいずれかを割り当てます。

☒ ☒

通常一斉放送 : アッテネーターによる音量の調整が可能です。

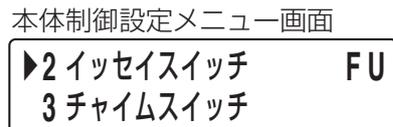
緊急一斉放送 : アッテネーターの設定に関係なく、最大音量で放送が出力されます。

FS-1000 本体操作部



[通常・緊急一斉放送スイッチ設定のしかた]

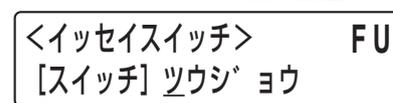
1 本体制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「2 イッセイスイッチ」を選択する。



2 確定キーを押す。
本体一斉放送スイッチ選択画面が表示されます。



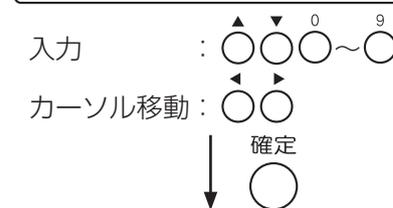
3 上下シフトキーを押して「ツウジョウ」(通常一斉放送スイッチ)を選択する。



4 確定キーを押す。
通常一斉放送スイッチの回線グループ番号設定画面が表示されます。



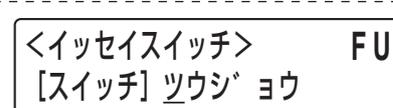
5 通常一斉放送スイッチに割り当てる回線グループ番号を設定する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。



6 確定キーを押す。
本体一斉スイッチ選択画面に戻ります。

本体一斉スイッチ選択画面

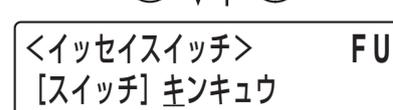
7 上下シフトキーを押して、「キンキュウ」(緊急一斉放送スイッチ)を選択する。



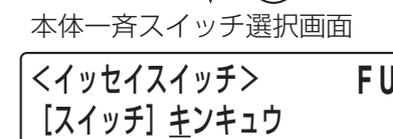
8 確定キーを押す。
緊急一斉放送スイッチの回線グループ番号設定画面が表示されます。



9 緊急一斉放送スイッチに割り当てる回線グループ番号を設定する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

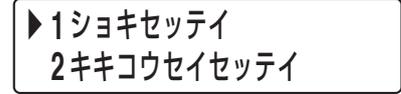
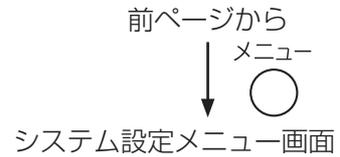


10 確定キーを押す。
本体一斉放送スイッチ選択画面に戻ります。



次ページへ

- 11** メニューキーを押す。
システム設定メニュー画面に戻ります。

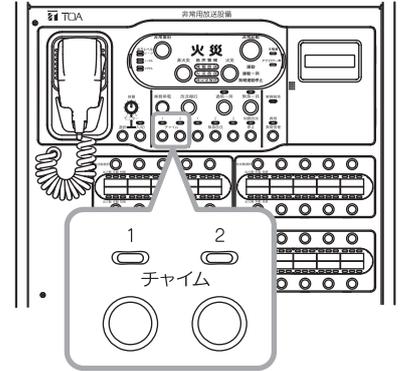


◎ チャイムスイッチの設定 (1-3-2-3)

FS-1000 本体のチャイムスイッチ 1 およびチャイムスイッチ 2 を押したときに鳴る音源を設定します。
チャイムの音源と音源番号は以下のとおりです。

- 0：未使用
- 1：上り 4 音
- 2：下り 4 音
- 3：2 音
- 4：ゴング

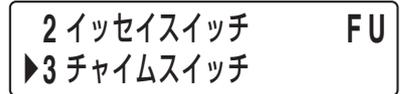
FS-1000 本体操作部



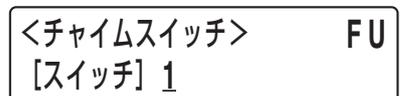
[チャイムスイッチの設定のしかた]

- 1** 本体制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「チャイムスイッチ」を選択する。
- 2** 確定キーを押す。
本体チャイムスイッチ選択画面が表示されます。
- 3** 上下シフトキーまたは「1」キーを押して、「1」（チャイムスイッチ 1）を選択する。
- 4** 確定キーを押す。
チャイムスイッチ 1 の音源番号設定画面が表示されます。
- 5** チャイムスイッチ 1 に使用する音源（番号）を設定する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。
チャイムの音源番号は上記のとおりです。
- 6** 確定キーを押す。
手順 3（上記）の本体チャイムスイッチ選択画面に戻ります。
- 7** 上下シフトキーまたは「2」キーを押して、「2」（チャイムスイッチ 2）を選択する。
- 8** 確定キーを押す。
チャイムスイッチ 2 の音源番号設定画面が表示されます。

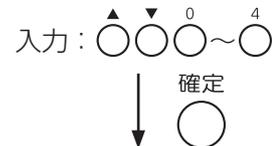
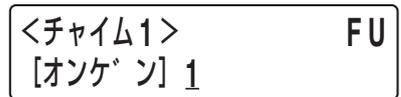
本体制御設定メニュー画面



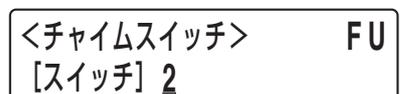
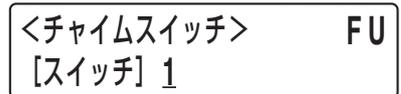
本体チャイムスイッチ選択画面



音源番号設定画面

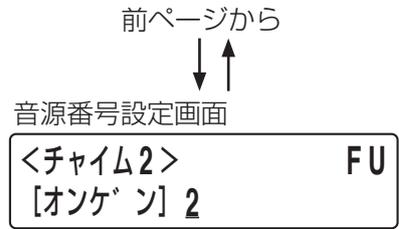


本体チャイムスイッチ選択画面

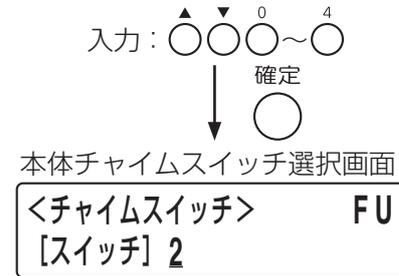


次ページへ

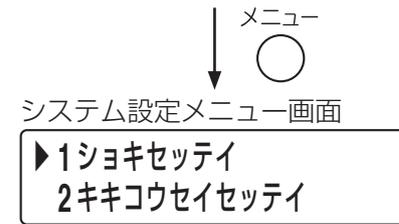
- 9** チャイムスイッチ 2 に使用する音源(番号)を設定する。
 上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。
 チャイムの音源番号は前ページのとおりです。



- 10** 確定キーを押す。
 手順 3 (前ページ) の本体チャイムスイッチ選択画面に戻ります。



- 11** メニューキーを押す。
 システム設定メニュー画面に戻ります。



● 非常用リモコンのスイッチの設定 (1-3-3)

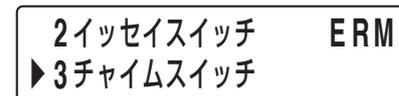
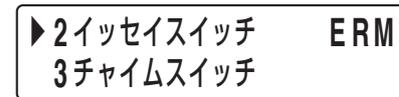
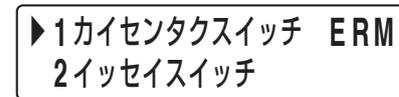
非常用リモコンの放送階選択スイッチ、通常／緊急一斉放送スイッチ、およびチャイムスイッチの設定を行います。すべての非常用リモコンに設定を行います。非常用リモコンを使用しないときは、この設定は不要です。設定項目は FS-1000 本体スイッチの設定と同様です。(P. 25 「FS-1000 本体スイッチの設定 (1-3-2)」)

[非常 RM 設定の開始のしかた]

- 1** 機器制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「3 ヒジヨウ RM セイギョ」を選択する。
- 2** 確定キーを押す。
 非常 RM 制御設定メニュー画面が表示されます。



非常 RM 放送階選択スイッチ
 設定画面 (P. 34)



◎ 放送階選択スイッチの設定 (1-3-3-1)

設定内容は、FS-1000 本体スイッチの設定と同様です。(P. 25 「放送階選択スイッチの設定 (1-3-2-1)」)

[放送階選択スイッチの番号の選択のしかた]

1 非常 RM 制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「1 カイセンタクスイッチ」を選択する。

非常 RM 制御設定メニュー画面

▶1カイセンタクスイッチ ERM
2イッセイスイッチ

確定 ↓ ↑ 取消
○ ○

2 確定キーを押す。

非常 RM 番号選択画面が表示されます。

非常 RM 番号選択画面

<カイセンタクスイッチ> ERM
[ヒジ ヨウRMバンコウ] 1

入力: ○ ○ 1 ~ 4

確定 ↓ ↑ 取消
○ ○

3 非常 RM 番号 (1 ~ 4) を選択する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。

× モ

- 非常 RM 番号は非常用リモコンのアドレススイッチで設定されたアドレスに対応します。(P. 20)
- 非常用リモコンを使用しないときは「-」と表示され、以降の設定画面は表示されません。

4 確定キーを押す。

放送階選択スイッチ番号選択画面が表示されます。

× モ

スイッチとスイッチ番号の関係については、FS-1000 本体の放送階選択スイッチと同じです。(P. 25)

放送階選択スイッチ番号選択画面

<カイセンタクスイッチ> ER1
[スイッチ] 01

入力 : ○ ○ 0 ~ 9

カーソル移動: ○ ○
確定 ↓ ↑ 取消
○ ○

5 放送階選択スイッチの番号を選択する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

6 確定キーを押す。

機能設定画面が表示されます。

下記「機能の設定のしかた」へ

○ 放送階選択スイッチの機能の設定

設定内容は FS-1000 本体スイッチの設定と同様です。(P. 26 「放送階選択スイッチの機能の設定」)

[機能の設定のしかた]

7 機能設定画面で、上下シフトキーを押して、手順 5 で選択したスイッチに割り当てる機能を選択する。

機能設定画面

<スイッチ01> ER1 1/5
[キノウ] ヒジ ヨウ

○ ○

<スイッチ01> ER1 1/5
[キノウ] ミシヨウ

↓ ↑
次ページへ

8 確定キーを押す。

8-1 機能を「業務」または「兼用」に設定した場合

業務緊急設定画面に移動します。

8-2 機能を「非常」または「BGM」に設定した場合

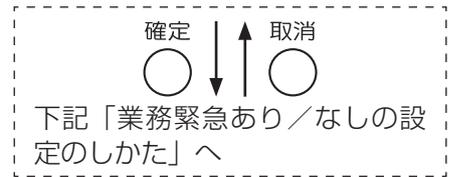
出力回線設定画面が表示されます。

8-3 機能を「未使用」に設定した場合

放送階選択スイッチ番号選択画面に戻ります。

➡ 手順 17 (P. 37) に進んでください。

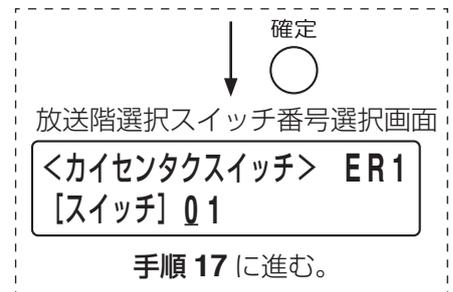
前ページから
↓ ↑
(機能を「業務」または「兼用」に設定した場合)



(機能を「非常」または「BGM」に設定した場合)



(機能を「未使用」に設定した場合)



○ 放送階選択スイッチの業務緊急あり／なしの設定

設定内容は FS-1000 本体スイッチの設定と同様です。

(P. 28 「放送階選択スイッチの業務緊急あり／なしの設定」)

機能を「非常」、「BGM」、「未使用」に設定したときは、この設定はできません。

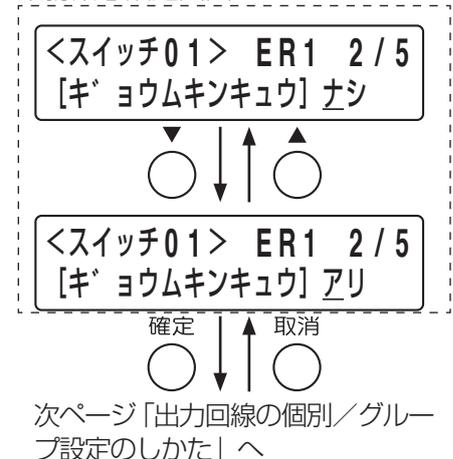
【業務緊急あり／なしの設定のしかた】

9 業務緊急設定画面で上下シフトキーを押して、手順 5 (前ページ) で選択したスイッチに業務緊急の有無を設定する。

10 確定キーを押す。

出力回線設定画面が表示されます。

業務緊急設定画面



○ 放送階選択スイッチの出力回線の個別／グループ設定

設定内容は FS-1000 本体スイッチの設定と同様です。

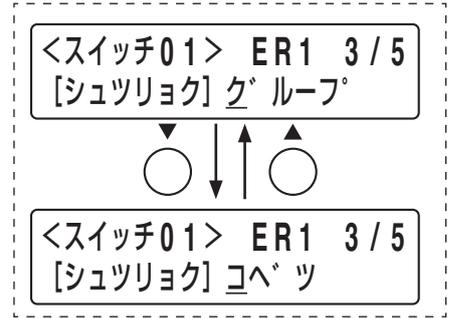
(P. 28 「放送階選択スイッチの出力回線の個別／グループ設定」)

機能を「未使用」に設定したときは、この設定はできません。

[出力回線の個別／グループ設定のしかた]

11 出力回線設定画面で上下シフトキーを押して、手順 5 (P. 34) で選択したスイッチに「コベツ」または「グループ」を設定する。

出力回線設定画面



下記「回線／グループ番号の設定のしかた」へ

12 確定キーを押す。
回線／グループ番号設定画面が表示されます。

○ 放送階選択スイッチの回線／グループ番号の設定

設定内容は FS-1000 本体スイッチの設定と同様です。(P. 29 「放送階選択スイッチの回線／グループ番号の設定」)

機能を「未使用」に設定したときは、この設定はできません。

[回線／グループ番号の設定のしかた]

13 回線／グループ番号設定画面で、手順 5 (P. 34) で選択したスイッチに、スピーカー回線または回線グループを割り当てる。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右キーでカーソルを移動します。

13-1 出力回線を「個別」に設定したとき

スピーカー回線を 1 つ設定します。回線番号は 1 ～ 30 番 (FS-1000 本体が 30 局のとき) に割り当てます。

13-2 出力回線を「グループ」に設定したとき

回線グループ設定 (1-3-1) で登録した回線グループ番号 (1 ～ 100 番) のいずれかに割り当てます。

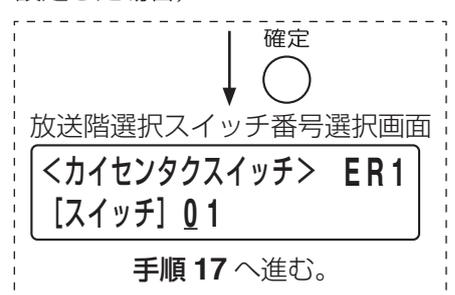
回線／グループ番号設定画面



(機能を「非常」または「兼用」に設定した場合)



(機能を「業務」または「BGM」に設定した場合)



14 確定キーを押す。

14-1 機能を「非常」または「兼用」に設定した場合

非常系統設定画面が表示されます。

14-2 機能を「業務」または「BGM」に設定した場合

放送階選択スイッチ番号選択画面に戻ります。

➡ 手順 17 (次ページ) へ進んでください。

○ 放送階選択スイッチの非常系統の設定

設定内容は FS-1000 本体スイッチの設定と同様です。(P. 30 「放送階選択スイッチの非常系統の設定」)
機能を「業務」、「BGM」、「未使用」に設定したときは、この設定はできません。

[非常系統の設定のしかた]

15 非常系統設定画面で、手順 5 (P. 34) で選択したスイッチに非常系統番号を割り当てる。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右キーでカーソルを移動します。非常系統番号は 1 ~ 30 番のいずれかに設定します。

非常系統設定画面

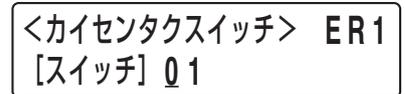


入力 : ○ ○ ○ ~ ○

カーソル移動 : ○ ○

確定 ↑ ↓ 取消

放送階選択スイッチ番号選択画面



(次のスイッチ番号を選択する場合)

手順 5 ~ 16 を繰り返す。

(次の非常 RM 番号を選択する場合)

前画面 ↓ ○

非常 RM 番号選択画面

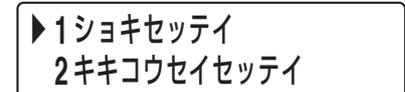


手順 3 ~ 17 を繰り返す。

(すべての非常用リモコンのスイッチ設定が完了したら)

メニュー ↓ ○

システム設定メニュー画面



16 確定キーを押す。

手順 5 (P. 34) の放送階選択スイッチ番号選択画面に戻ります。

17 次のスイッチ番号の設定をする。

手順 5 ~ 16 を繰り返して、手順 3 (P. 34) で選択した非常用リモコンのすべての放送階選択スイッチの設定をします。

18 非常用リモコンが複数台あるときは、前画面キーを押して、次の非常 RM 番号の設定をする。

手順 3 (P. 34) の非常 RM 番号選択画面に戻るので、手順 3 ~ 17 を繰り返して、すべての非常用リモコンの設定を行います。

19 すべての非常用リモコンの設定が終わったら、メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

◎ 通常／緊急一斉放送スイッチの設定 (1-3-3-2)

設定内容は FS-1000 本体スイッチの設定と同様です。
(P. 30 「通常／緊急一斉放送スイッチの設定 (1-3-2-2)」)

× 毛

通常一斉放送：アッテネーターによる音量の調節が可能です。

緊急一斉放送：アッテネーターの設定に関係なく、最大音量で放送が出力されます。

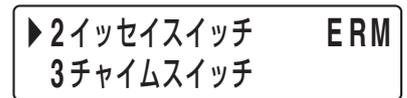
[通常／緊急一斉放送スイッチ設定のしかた]

- 1 非常 RM 制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「2 イッセイスイッチ」を選択する。
- 2 確定キーを押す。
非常 RM 番号選択画面が表示されます。
- 3 非常 RM 番号 (1 ~ 4) を選択する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。

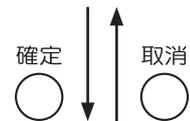
×	モ
---	---

 - 非常 RM 番号は非常用リモコンのアドレススイッチで設定されたアドレスに対応します。(P. 20)
 - 非常用リモコンを使用しないときは「-」と表示され、以降の設定画面は表示されません。
- 4 確定キーを押す。
通常／緊急選択画面が表示されます。
- 5 上下シフトキーを押して、「ツウジョウ」(通常一斉放送スイッチ)を選択する。
- 6 確定キーを押す。
通常一斉放送スイッチの回線グループ番号設定画面が表示されます。
- 7 通常一斉放送スイッチに割り当てる回線グループ番号を設定する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。
- 8 確定キーを押す。
通常／緊急選択画面に戻ります。
- 9 上下シフトキーを押して、「キンキュウ」(緊急一斉放送スイッチ)を選択する。
- 10 確定キーを押す。
緊急一斉放送スイッチの回線グループ番号設定画面が表示されます。
- 11 緊急一斉放送スイッチに割り当てる回線グループ番号を設定する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

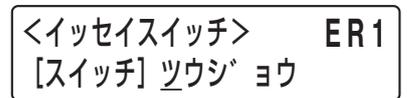
非常 RM 制御設定メニュー画面



非常 RM 番号選択画面



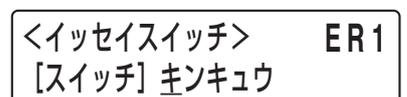
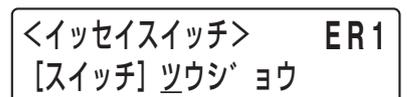
通常／緊急選択画面



回線グループ番号設定画面



通常／緊急選択画面



回線グループ番号設定画面

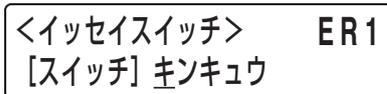


次ページへ

- 12** 確定キーを押す。
 手順 5（前ページ）の通常／緊急選択画面に戻ります。



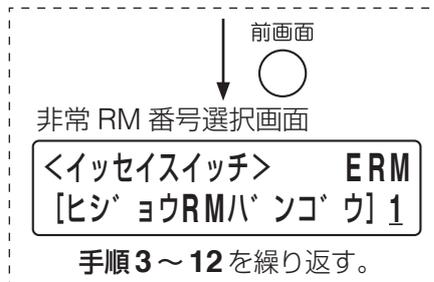
通常／緊急選択画面



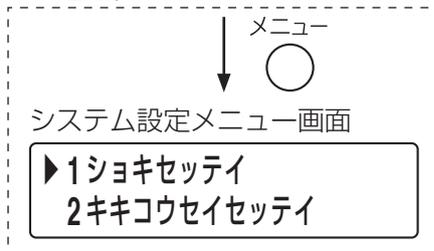
- 13** 非常用リモコンが複数台あるときは、前画面キーを押して、次の非常用リモコンの設定を行う。

手順 3（前ページ）の非常 RM 番号選択画面に戻るので、手順 3～12 を繰り返して、すべての非常用リモコンの設定をします。

(次に設定する非常用リモコンがあるとき)



(次に設定する非常用リモコンがないとき)



- 14** すべての非常用リモコンの設定が終わったら、メニューキーを押す。
 システム設定メニュー画面に戻ります。

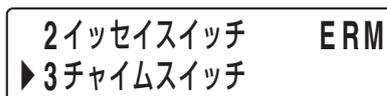
◎ チャイムスイッチの設定 (1-3-3-3)

設定内容は FS-1000 本体スイッチの設定と同様です。(P. 32 「チャイムスイッチの設定 (1-3-2-3)」)

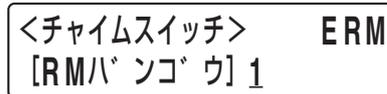
[チャイムスイッチの設定のしかた]

- 1** 非常 RM 制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「3 チャイムスイッチ」を選択する。
- 2** 確定キーを押す。
 非常 RM 番号選択画面が表示されます。
- 3** 非常 RM 番号 (1～4) を選択する。
 上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。
 [×] [0]
 - 非常 RM 番号は非常用リモコンのアドレススイッチで設定されたアドレスに対応します。(P. 20)
 - 非常用リモコンを使用しないときは「-」と表示され、以降の設定画面は表示されません。
- 4** 確定キーを押す。
 スイッチ番号選択画面が表示されます。
- 5** 上下シフトキーまたは「1」キーを押して、「1」(チャイムスイッチ 1) を選択する。

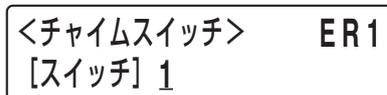
非常 RM 制御設定メニュー画面



非常 RM 番号選択画面



スイッチ番号選択画面



6 確定キーを押す。
チャイムスイッチ 1 の音源番号設定画面が表示されます。

7 チャイムスイッチ 1 に使用する音源(番号)を設定する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。
チャイムの音源番号は P. 32 のとおりです。

8 確定キーを押す。
スイッチ番号選択画面に戻ります。

9 上下シフトキーまたは「2」キーを押して、「2」(チャイムスイッチ 2) を選択する。

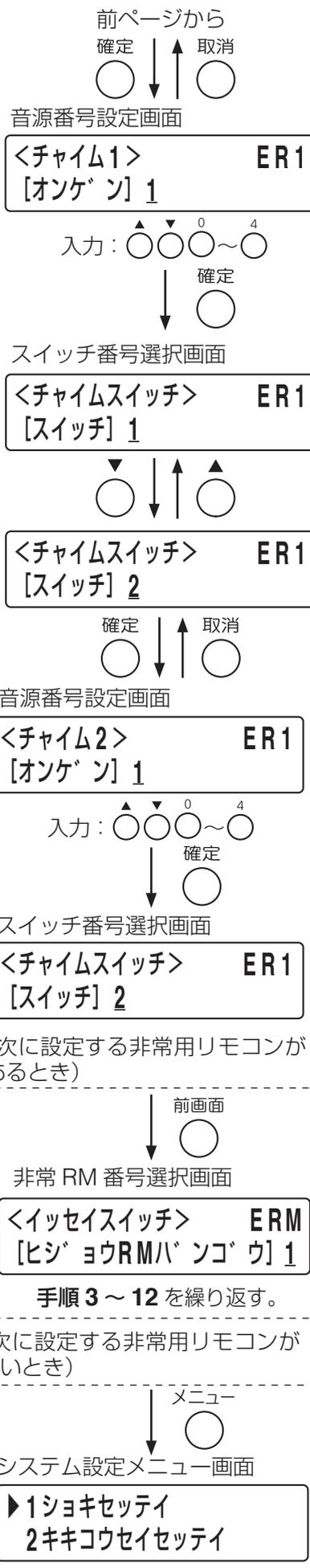
10 確定キーを押す。
チャイムスイッチ 2 の音源番号設定画面が表示されます。

11 チャイムスイッチ 2 に使用する音源(番号)を設定する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。
チャイムの音源番号は P. 32 のとおりです。

12 確定キーを押す。
スイッチ番号選択画面に戻ります。

13 非常用リモコンが複数台あるときは、前画面キーを押して、次の非常用リモコンの設定をする。
手順 3 (前ページ) の業務 RM 番号選択画面に戻るので、手順 3 ~ 12 を繰り返して、すべての非常用リモコンの設定を行います。

14 すべての非常用リモコンの設定が終わったら、メニューキーを押す。
システム設定メニュー画面に戻ります。



● 業務用リモコンのスイッチの設定 (1-3-4)

業務用リモコンの回線選択キー、一斉放送キー、チャイムキーの設定を行います。
すべての業務用リモコンに設定を行います。業務用リモコンを使用しないときは、この設定は不要です。
設定項目は以下のとおりです。

動作設定 : トークキーを押したときの動作や、チャイム音量、待ち時間を設定します。
回線選択スイッチ : 回線選択キーについて設定します。
一斉スイッチ : 一斉放送キーについて設定します。
チャイムスイッチ : チャイムキー「1」「2」について設定します。

[業務 RM 設定の開始のしかた]

1 機器制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「4 ギョウム RM セイギョ」を選択する。

2 確定キーを押す。
業務 RM 制御設定メニュー画面が表示されます。

機器制御設定メニュー画面

▶4 ギョウム RM セイギョ
5 キンキュウハウソウスイッチ



業務 RM 制御設定メニュー画面

業務 RM 動作設定画面(次ページ)

▶1 トウサセツテイ GRM
2 カイセンタクスイッチ



業務 RM 回線選択スイッチ
設定画面 (P. 46)

▶2 カイセンタクスイッチ GRM
3 イッセイスイッチ



業務 RM 一斉スイッチ設定画面
(P. 50)

2 イッセイスイッチ GRM
▶3 チャイムスイッチ



業務 RM チャイムスイッチ設定
画面 (P. 52)

3 イッセイスイッチ GRM
▶4 チャイムスイッチ

◎ 業務用リモコンの動作の設定 (1-3-4-1)

業務用リモコンのトークスイッチを押したときの動作方式や、チャイム音量、待ち時間、AUX 入力の設定をします。

☑ 注意

ここでは RM-200F および RM-200FW の場合の設定についてのみ記載します。

RM-500 の場合の設定項目と設定のしかたなどについては、TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) で公開している「FS-1000 システム設定説明書 (RM-500 追加版)」をお読みください。

RM-200F および RM-200FW の設定項目は以下のとおりです。

業務 RM 番号 : 設定したい業務用リモコンを選択します。

トークスイッチ : トークスイッチを押したときの動作方式を設定します。

タイムアウト* : 放送をタイムアウトさせる時間を設定します。

チャイム音量 : チャイム音量を設定します。

待ち時間 : トークスイッチを押してから放送を開始するまでの時間を設定します。

AUX* : AUX 入力を使用するかどうかを設定します。

* RM-200F の場合のみ

[業務 RM 番号の選択のしかた]

1 業務 RM 制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「1 ドウサセッテイ」を選択する。

2 確定キーを押す。

業務 RM 番号選択画面が表示されます。

3 業務 RM 番号 (1 ~ 4) を選択する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。

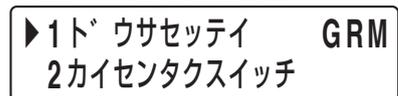
× モ

- 業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定されたアドレスに対応します。(P. 22)
- 業務用リモコンを使用しないときは「-」と表示され、以降の設定画面は表示されません。

4 確定キーを押す。

トークスイッチ選択画面が表示されます。

業務 RM 動作設定画面



業務 RM 番号選択画面



入力: 〇 〇 〇 〇



次ページ「トークキーの設定のしかた」へ

○ 業務用リモコンのトークキーの設定 (RM-200F の場合のみ)

RM-200F のトークキーを押したときの動作方式を「PTT」、「LOCK」のどちらかに設定します。

業務用リモコンが RM-200FW のときは「PTT」固定になるので、設定は不要です。

設定項目は以下のとおりです。

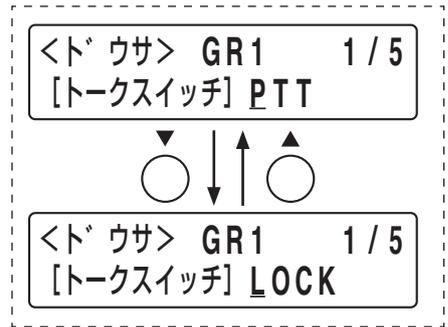
PTT : トークキーを押している間だけ放送することができます。キーを離すと放送が終了します。

LOCK: トークキーを押すと放送が開始され、もう一度押すと放送が終了します。

[トークキーの設定のしかた]

5 トークスイッチ選択画面で上下シフトキーを押して、「PTT」または「LOCK」を選択する。

トークスイッチ選択画面



(「PTT」に設定した場合)

次ページ「チャイム音量の設定のしかた」へ

(「LOCK」に設定した場合)

下記「タイムアウト時間の設定のしかた」へ

6 確定キーを押す。

6-1 「PTT」に設定した場合

チャイム音量設定画面が表示されます。

6-2 「LOCK」に設定した場合

タイムアウト設定画面が表示されます。

○ 業務用リモコンのタイムアウト時間の設定 (RM-200F の場合のみ)

RM-200F のトークキーの動作方式を「LOCK」に設定した場合に、放送終了時にトークキーを押し忘れたときのために、自動的に放送を終了させる時間を分単位で設定します。(1～20分の範囲で設定可能です。)

自動的にタイムアウトさせないときは、「連続」に設定します。

RM-200F のトークキーの動作方式を「PTT」に設定した場合は、この設定はできません。

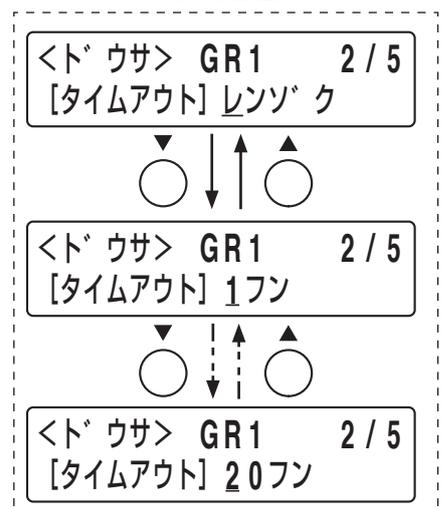
RM-200FW を使用する場合は、トークスイッチが「PTT」固定のため、この設定はできません。

[タイムアウト時間の設定のしかた]

7 タイムアウト設定画面で上下シフトキーを押して、手順3 (前ページ) で選択した業務用リモコンにタイムアウト時間を設定する。

設定内容は上記のとおりです。

タイムアウト設定画面



次ページ「チャイム音量の設定のしかた」へ

8 確定キーを押す。

RM-200F の場合はチャイム音量設定画面が表示されます。

○ 業務用リモコンのチャイム音量の設定

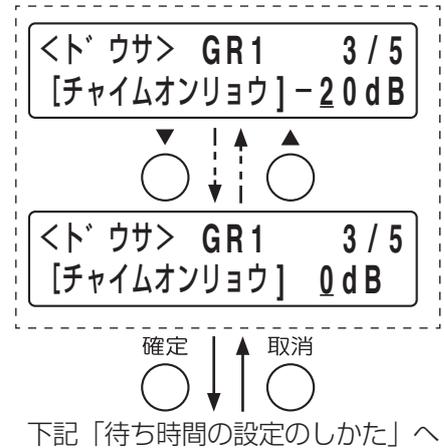
業務用リモコンのチャイムキーまたは、トークキーの連動チャイムについて、チャイム音量を設定します。音量は -20 ~ 0 dB の間で、2 dB 間隔で設定可能です。

[チャイム音量の設定のしかた]

- 9** チャイム音量設定画面で上下シフトキーを押して、手順 3 (前ページ) で選択した業務用リモコンのチャイム音量を設定する。

設定内容は上記のとおりです。

チャイム音量設定画面



- 10** 確定キーを押す。

待ち時間設定画面が表示されます。

○ 待ち時間の設定

トークキーを押してから放送を開始するまでの時間を設定します。

マイク放送の開始チャイムを「未使用」に設定しているときは、マイク放送が始まるまでの時間になり、開始チャイムを「上り 4 音」「下り 4 音」「2 音」「ゴング」のいずれかに設定しているときはチャイムが流れるまでの時間になります。(P. 89 「開始・終了チャイムの設定」)

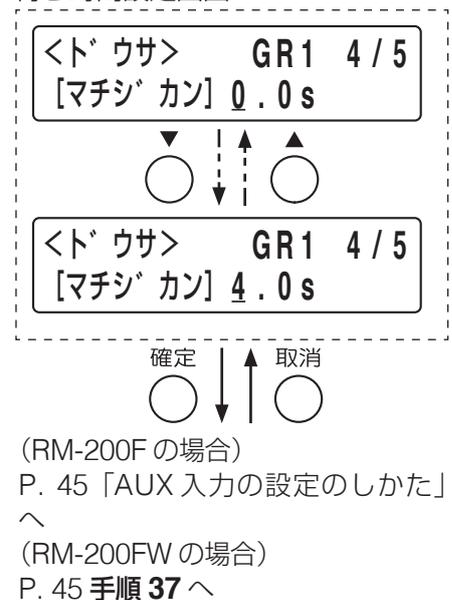
待ち時間は 0 秒、0.5 秒、1 秒、1.5 秒、2 秒、3 秒、4 秒のいずれかに設定可能です。

[待ち時間の設定のしかた]

- 11** 待ち時間設定画面で上下シフトキーを押して、手順 3 (P. 42) で選択した業務用リモコンの待ち時間を設定する。

設定は上記のとおりです。

待ち時間設定画面



- 12** 確定キーを押す。

RM-200F の場合は、AUX 入力設定画面が表示されます。

RM-200FW の場合は、手順 3 (P. 42) の業務 RM 番号選択画面に戻ります。

○ AUX 入力の設定 (RM-200F の場合のみ)

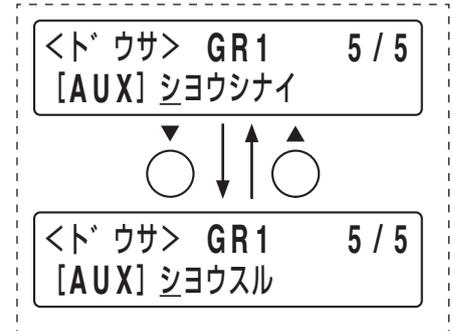
AUX 入力に接続した機器からの放送をどうかの設定をします。
 業務用リモコン RM-200F の EXTERNAL MIC IN 端子を AUX 入力として使用する場合に設定します。
 業務用リモコンが RM-200FW のときは、「使用しない」固定になるので、設定は不要です。
 設定項目は以下のとおりです。

使用しない：AUX 入力に接続した機器からの放送はできません。
 使用する：AUX 入力に接続した機器からの放送ができます。

[AUX 入力の設定のしかた]

13 AUX 設定画面で上下シフトキーを押して、「シヨウシナイ」または「シヨウスル」を選択する。

AUX 設定画面



14 確定キーを押す。
 手順 3 (P. 42) の業務 RM 番号選択画面に戻ります。



業務 RM 番号選択画面



15 業務用リモコンが複数台あるときは、手順 3 ~ 14 を繰り返して、すべての業務用リモコンの設定を行う。

(次に設定する業務用リモコンがあるとき)

手順 3 ~ 14 を繰り返す。

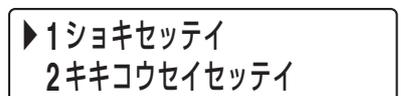
16 すべての業務用リモコンの設定が終わったら、メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

(次に設定する業務用リモコンがないとき)



システム設定メニュー画面



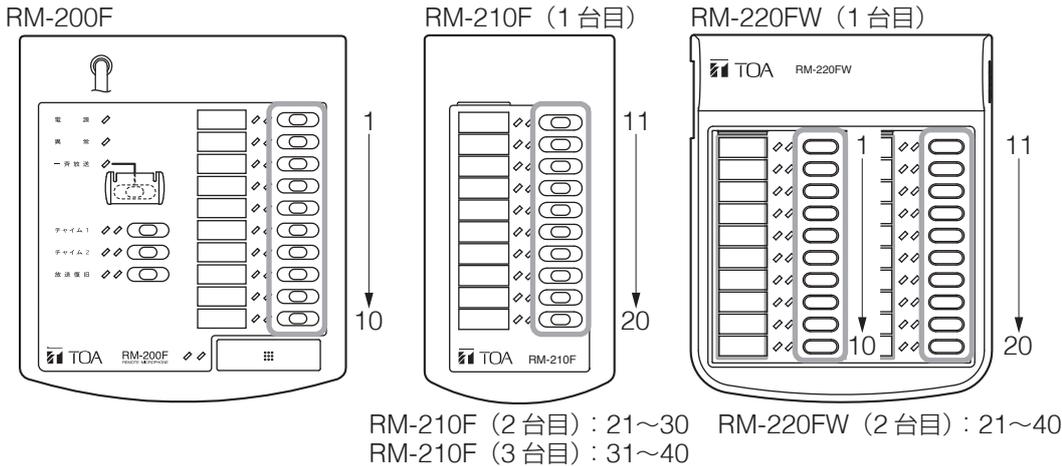
◎ 回線選択キーの設定 (1-3-4-2)

業務用リモコンの各回線選択キーについて、機能や通常放送／業務緊急モードの選択、出力回線を設定します。設定項目は以下のとおりです。

- スイッチ : 設定したいキーの番号 (スイッチ番号) を選択します。
- 機能 : 回線選択キーの機能を設定します。
- 業務緊急 : 通常放送／業務緊急モードを選択します。
- 出力 : 出力をする回線について個別／グループを選択します。
- 回線／グループ番号 : 回線番号または回線グループの番号を設定します。

× モ

RM-200F、RM-200FW を使用する場合、回線選択キーの番号 (スイッチ番号) は下図のとおりです。



[回線選択キーの選択のしかた]

1 業務 RM 制御設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「2 カイセンタクスイッチ」を選択する。

2 確定キーを押す。
業務 RM 番号選択画面が表示されます。

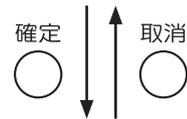
3 業務 RM 番号 (1 ~ 4) を選択する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。

× モ

- 業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定されたアドレスに対応します。(P. 22)
- 業務用リモコンを使用しないときは「-」と表示され、以降の設定画面は表示されません。

業務 RM 回線選択スイッチ設定画面

▶ 2 カイセンタクスイッチ GRM
3 イッセイスイッチ



業務 RM 番号選択画面

<カイセンタクスイッチ> GRM
[ギョウムRMバンゴウ] 1

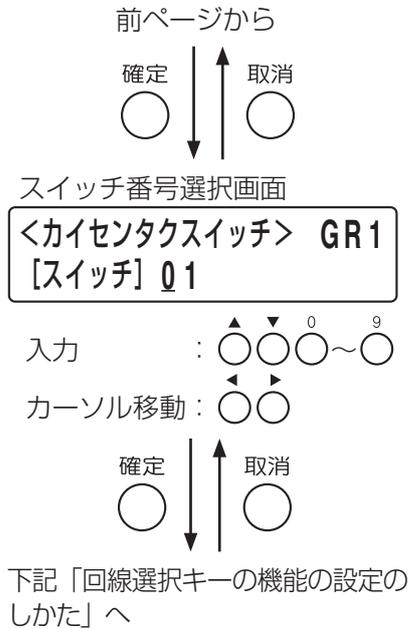
入力: ○○○~○



4 確定キーを押す。
スイッチ番号選択画面が表示されます。

5 回線選択キーの番号 (1 ~ 40) を選択する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

6 確定キーを押す。
機能設定画面が表示されます。



○ 回線選択キーの機能の設定

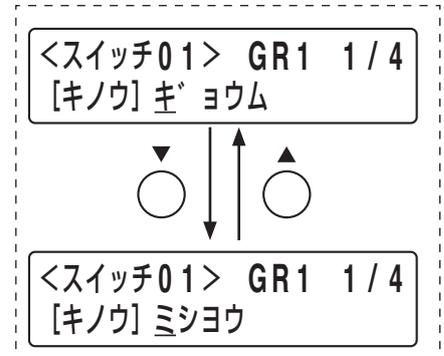
回線選択キーの機能を「業務」、「未使用」のどちらかに設定します。
設定項目は以下のとおりです。

業務 : 回線選択キーを業務放送機能で使します。
未使用 : 回線選択キーを使用しません。

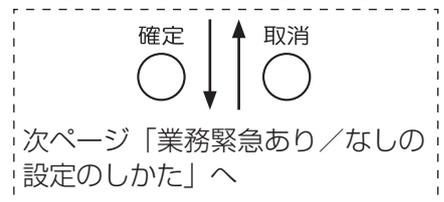
【回線選択キーの機能の設定のしかた】

7 上下シフトキーを使って、手順5で選択した回線選択キーに割り当てる機能を選択する
設定できる機能は上記のとおりです。

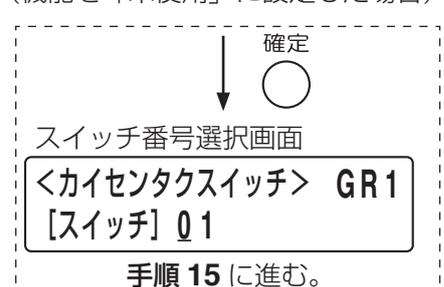
機能設定画面



(機能を「業務」に設定した場合)



(機能を「未使用」に設定した場合)



8 確定キーを押す。

8-1 機能を「業務」に設定した場合
業務緊急設定画面に移動します。

8-2 機能を「未使用」に設定した場合
スイッチ番号選択画面に戻ります。
➡ 手順15 (P. 49) に進んでください。

○ 回線選択キーの業務緊急あり／なしの設定

回線選択キーの機能を「業務」に設定したとき、スピーカー回線へ放送を出力するモードを通常放送／業務緊急のどちらかに設定します。機能を「未使用」に設定したときは、この設定はできません。設定項目は以下のとおりです。

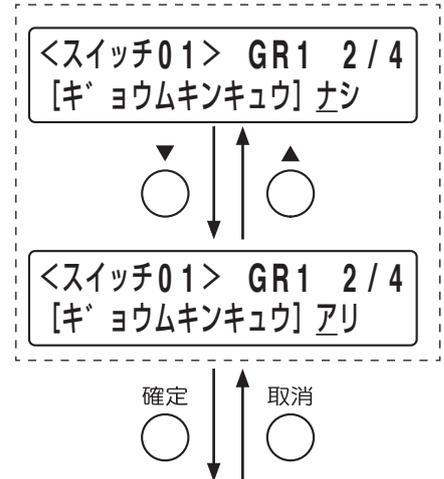
なし：通常放送モードで放送します。通常放送モードでは、アッテネーターによる音量の調節が可能です。
あり：業務緊急モードで放送します。業務緊急モードでは、アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。

[業務緊急あり／なしの設定のしかた]

9 業務緊急設定画面で上下シフトキーを押して、手順 5 (前ページ) で選択した回線選択キーに業務緊急の有無を設定する。

設定できる項目内容は上記のとおりです。

業務緊急設定画面



下記「出力回線の個別／グループ設定のしかた」へ

10 確定キーを押す。

出力回線設定画面が表示されます。

○ 回線選択キーの出力回線の個別／グループ設定

回線選択キーの回線登録を「個別」、「グループ」のどちらかに設定します。機能を「未使用」に設定したときは、この設定はできません。設定項目は以下のとおりです。

個別：回線選択キーについて、スピーカー回線を1つ登録します。

グループ：回線選択キーについて、回線グループを登録します。

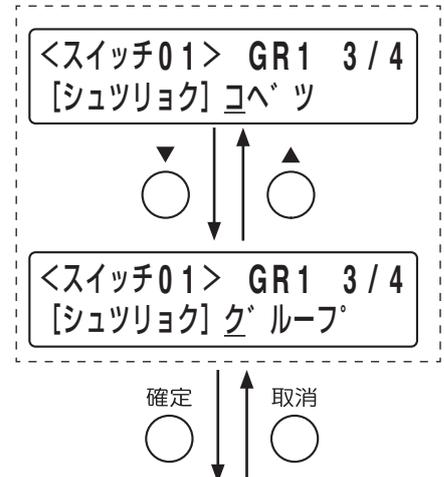
回線グループへのスピーカー回線の登録は、回線グループ設定 (1-3-1) で行います。(P. 24)

[出力回線の個別／グループ設定のしかた]

11 業務緊急設定画面で上下シフトキーを押して、手順 5 (前ページ) で選択した回線選択キーに「コベツ」か「グループ」を設定する。

設定できる項目内容は上記のとおりです。

出力回線設定画面



次ページ「回線番号の設定のしかた」へ

12 確定キーを押す。

回線／グループ番号設定画面が表示されます。

○ 回線選択キーの回線／グループ番号の設定

回線選択キーに回線番号または回線グループ番号を設定します。
機能を「未使用」に設定したときは、この設定はできません。

[回線番号の設定のしかた]

13 回線／グループ番号設定画面で、手順 5 (P. 47) で選択した回線選択キーに回線番号を設定する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

13-1 出力回線を「個別」に設定したとき

スピーカー回線を 1 つ設定します。回線番号は 1 ～ 30 番 (FS-1000 本体が 30 局のとき) に割り当てます。

13-2 出力回線を「グループ」に設定したとき

回線グループ設定 (1-3-1) で登録した回線グループ番号 (1 ～ 100 番) のいずれかに割り当てます。

14 確定キーを押す。

手順 5 (P. 47) のスイッチ番号選択画面に戻ります。

15 次に設定する回線選択キーがあるときは、手順 5 ～ 14 を繰り返して、すべての回線選択キーの設定を行う。

16 業務用リモコンが複数台あるときは、前画面キーを押して、次の業務用リモコンの設定を行う。

手順 3 (P. 46) の業務 RM 番号選択画面に戻るので、手順 3 ～ 15 を繰り返し、すべての業務用リモコンの設定を行います。

17 すべての業務用リモコンの設定が終わったら、メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

回線／グループ番号設定画面

<スイッチ 01> GR1 4 / 4
[カイセン / Gr No] 001

入力 : 

カーソル移動 : 

確定 

スイッチ番号選択画面

<カイセンタクスイッチ> GR1
[スイッチ] 01

(次のスイッチ番号を選択するとき)

手順 5 ～ 14 を繰り返す。

(次の業務 RM 番号を選択するとき)

前画面 

業務 RM 番号選択画面

<カイセンタクスイッチ> GRM
[ギョウム RM パンゴウ] 1

手順 3 ～ 15 を繰り返す。

(すべての業務用リモコンのスイッチ設定が完了したら)

メニュー 

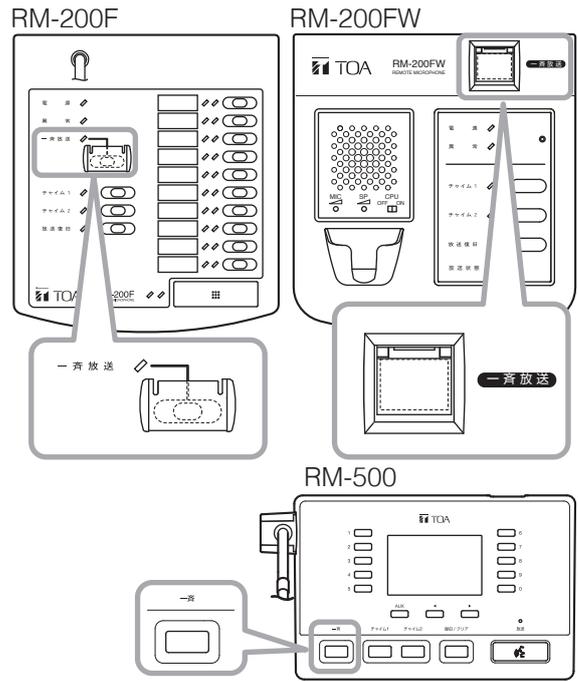
システム設定メニュー画面

▶ 1 ショキセッテイ
2 キキコウセイセッテイ

◎ 一斉放送キーの設定 (1-3-4-3)

業務用リモコンの一斉放送キーについて、通常放送／業務緊急モードの選択、回線グループ番号を設定します。設定項目は以下のとおりです。

業務緊急：通常放送／業務緊急モードを選択します。
グループ：回線グループ番号を登録します。



○ 一斉放送キーの業務緊急あり／なしと回線グループの設定

一斉放送キーについて、スピーカー回線へ放送を出力するモードを通常放送／業務緊急のどちらかに設定し、回線グループ番号を設定します。設定項目は以下のとおりです。

なし：通常放送モードで放送します。通常放送モードでは、アッテネーターによる音量の調節が可能です。
あり：業務緊急モードで放送します。業務緊急モードでは、アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。

回線グループ番号は、回線グループ設定 (1-3-1) で登録した回線グループ番号のいずれかを割り当てます。

[業務緊急あり／なしと回線グループの設定のしかた]

1 業務 RM 制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「3 イッセイスイッチ」を選択する。

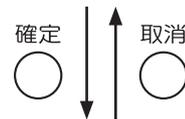
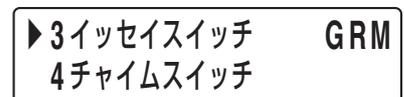
2 確定キーを押す。
業務 RM 番号選択画面が表示されます。

3 業務 RM 番号 (1 ~ 4) を選択する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。

× モ

- 業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定されたアドレスに対応します。(P. 22)
- 業務用リモコンを使用しないときは「—」と表示され、以降の設定画面は表示されません。

業務 RM 制御設定メニュー画面



業務 RM 番号選択画面

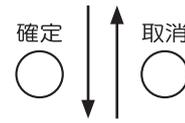


入力：○ ○ ○ ~ ○



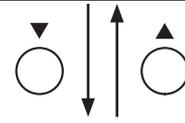
4 確定キーを押す。
業務緊急設定画面が表示されます。

前ページから



業務緊急設定画面

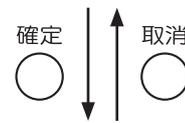
<イッセイスイッチ> GR1
[ギョウムキンキュウ] ナシ



<イッセイスイッチ> GR1
[ギョウムキンキュウ] アリ

5 上下シフトキーを押して、一斉放送キーに業務緊急の有無を設定する。

6 確定キーを押す。
グループ番号設定画面が表示されます。



グループ番号設定画面

<イッセイスイッチ> GR1
[グループ] 001

入力 : ○○⁰○⁹
カーソル移動 : ○○

7 一斉放送キーに割り当てる回線グループ番号を設定する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。
回線グループ番号の設定範囲は 001 ~ 100 です。

8 確定キーを押す。
手順 3（前ページ）の業務 RM 番号選択画面に戻ります。



業務 RM 番号選択画面

<イッセイスイッチ> GRM
[ギョウムRMハンゴウ] 1

9 業務用リモコンが複数台あるときは、手順 3 ~ 8 を繰り返して、すべての業務用リモコンの設定を行う。

(次に設定する業務用リモコンがあるとき)

手順 3 ~ 8 を繰り返す。

10 すべての業務用リモコンの設定が終わったら、メニューキーを押す。
システム設定メニュー画面に戻ります。

(次に設定する業務用リモコンがないとき)



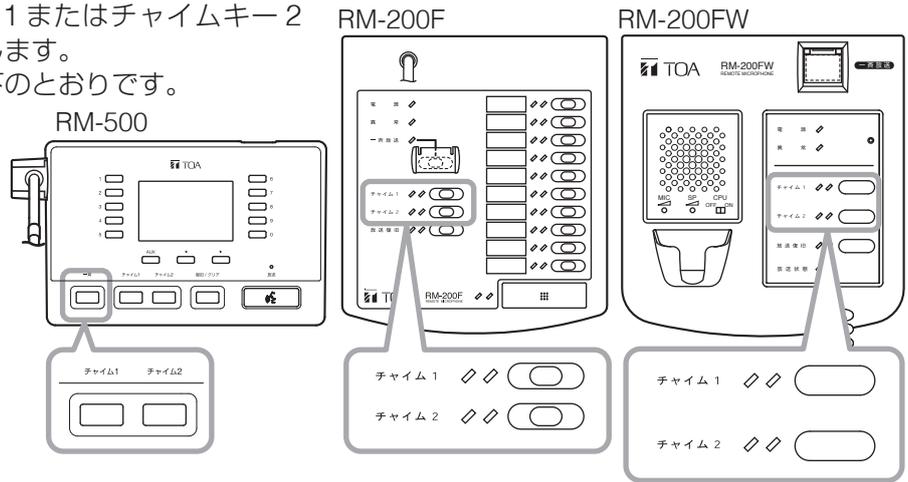
システム設定メニュー画面

▶ 1 ショキセツテイ
2 キキコウセイセツテイ

◎ チャイムキーの設定 (1-3-4-4)

業務用リモコンのチャイムキー 1 またはチャイムキー 2 を押したときに鳴る音源を設定します。
チャイムの音源と音源番号は以下のとおりです。

- 0: 未設定
- 1: 上り 4 音
- 2: 下り 4 音
- 3: 2 音
- 4: ゴング



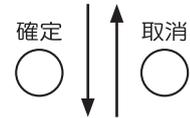
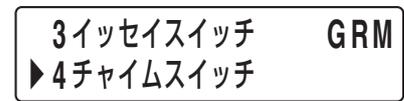
[チャイムキーの設定のしかた]

- 1** 業務 RM 制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「4 チャイムスイッチ」を選択する。
- 2** 確定キーを押す。
業務 RM 番号選択画面が表示されます。
- 3** 業務 RM 番号 (1 ~ 4) を選択する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。

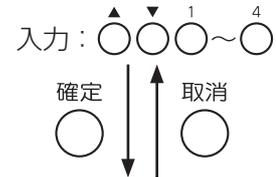
×	モ
---	---

 - 業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定されたアドレスに対応します。(P. 22)
 - 業務用リモコンを使用しないときは「-」と表示され、以降の設定画面は表示されません。
- 4** 確定キーを押す。
チャイムスイッチ選択画面が表示されます。
- 5** 上下シフトキーまたは「1」キーを押して、「1」(チャイムキー 1) を選択する。
- 6** 確定キーを押す。
チャイムキー 1 の音源番号設定画面が表示されます。
- 7** チャイムキー 1 に使用する音源 (番号) を設定する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。
チャイムの音源番号は上記のとおりです。
- 8** 確定キーを押す。
手順 3 の業務 RM 番号選択画面に戻ります。

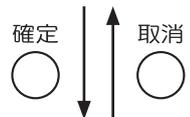
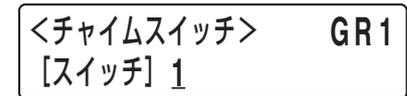
業務 RM 制御設定メニュー画面



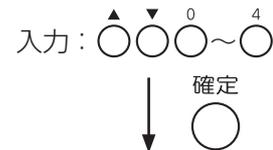
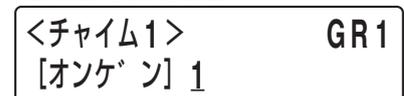
業務 RM 番号選択画面



チャイムスイッチ選択画面



音源番号設定画面



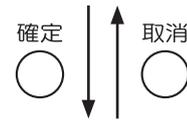
業務 RM 番号選択画面



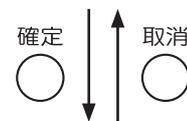
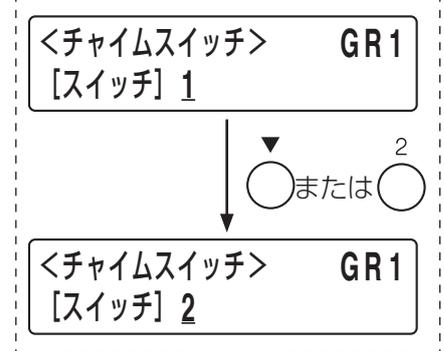
↑ ↓

次ページへ

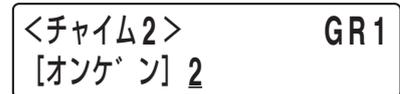
前ページから



チャイムスイッチ選択画面



音源番号設定画面



業務 RM 番号選択画面



9 もう一度、確定キーを押す。
チャイムスイッチ選択画面が表示されます。

10 上下シフトキーまたは「2」キーを押して、「2」（チャイムキー 2）を選択する。

11 確定キーを押す。
音源番号設定画面が表示されます。

12 チャイムキー 2 に使用する音源（番号）を設定する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。
チャイムの音源番号は前ページのとおりです。

13 確定キーを押す。
手順 3（前ページ）の業務 RM 番号選択画面に戻ります。

14 業務用リモコンが複数台あるときは、手順 3 ～ 13 を繰り返して、すべての業務用リモコンの設定を行う。

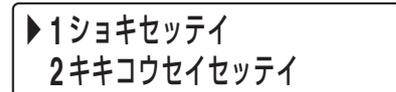
(次に設定する業務用リモコンがあるとき)

手順 3 ～ 13 を繰り返す。

(次に設定する業務用リモコンがないとき)



システム設定メニュー画面



15 すべての業務用リモコンの設定が終わったら、メニューキーを押す。
システム設定メニュー画面に戻ります。

● 緊急放送スイッチの設定 (1-3-5)

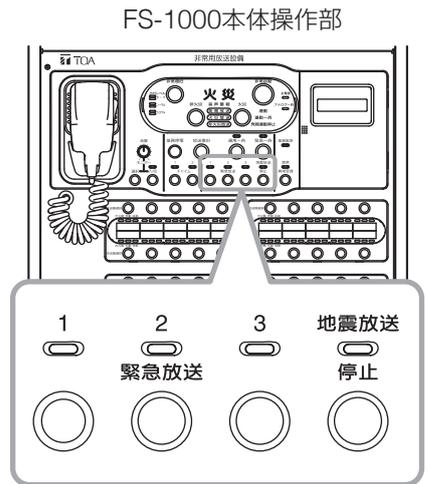
FS-1000 本体および非常用リモコンの緊急放送スイッチ 1～3 の設定をします。

また、本システムから緊急地震放送を行わないときは、地震放送停止スイッチを緊急放送スイッチ 4 として使用することができます。緊急地震放送を行わないときは、緊急地震放送停止スイッチに緊急放送スイッチ 4 用ラベルを取り付けてください。

(参照 P. 139 「緊急放送スイッチ 4 用ラベルの取り付け」)

設定項目は以下のとおりです。

スイッチ	: 設定したいスイッチを選択します。
機能	: 緊急放送スイッチの機能を設定します。
音源	: 緊急メッセージを設定します。
業務緊急	: 通常放送／業務緊急モードを選択します。
出力	: 出力をする回線について個別／グループを選択します。
回線／グループ番号	: 回線番号または、回線グループの番号を設定します。



[緊急放送スイッチ設定の開始のしかた]

1 機器制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「5 キンキュウハウソウスイッチ」を選択する。

機器制御設定メニュー画面

▶5 キンキュウハウソウスイッチ
6 セイギ ヨニュウリョク

確定 ↑ ↓ 取消

下記「緊急放送スイッチの機能の設定のしかた」へ

2 確定キーを押す。

緊急放送スイッチ番号選択画面が表示されます。

◎ 緊急放送スイッチの機能の設定

FS-1000 本体および非常用リモコンの緊急放送スイッチ 1～3 の機能を、「緊急放送」、「未使用」のどちらかに設定します。また、地震放送停止スイッチ（緊急放送スイッチ 4）の機能を「地震停止」、「緊急放送」、「未使用」のいずれかに設定します。

設定項目は以下のとおりです。

緊急放送 : 緊急放送スイッチとして使用します。

地震停止 : 緊急地震放送を停止するスイッチとして使用します。(地震放送停止スイッチのみ設定可)

未使用 : 緊急放送スイッチを使用しません。

ご注意

緊急地震放送を行う場合は、緊急放送スイッチ 4 の機能は必ず「地震停止」にしてください。

緊急地震放送を行わない場合は「地震停止」以外に設定してください。

機能を「地震停止」に設定すると、1-3-6 の緊急地震放送接点入力端子の設定は、自動的に「緊急地震放送」機能になります。(参照 P. 58 「制御入力の設定 (1-3-6)」)

[緊急放送スイッチの機能の設定のしかた]

3 緊急放送スイッチ番号選択画面で、スイッチ番号 (1～4) を選択する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。

× 毛

4 番は地震放送停止スイッチです。

緊急放送スイッチ番号選択画面

<キンキュウハウソウスイッチ>
[スイッチ] 1

入力: ○ ○ 1 ○ ○ 4

↑ ↓ 次ページへ

4 確定キーを押す。
機能設定画面が表示されます。

5 上下シフトキーを押して、手順 3 で選択したスイッチ番号に割り当てる機能を選択する。

設定できる機能は前ページのとおりです。

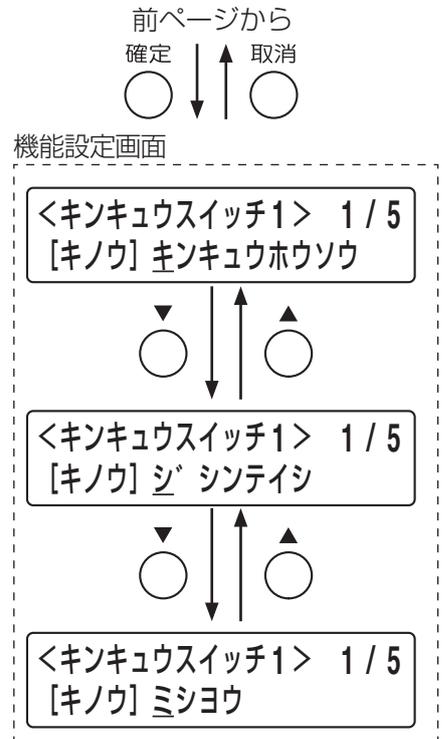
メ モ

「ジシンテイシ」は 4 番のスイッチにのみ設定できます。

6 確定キーを押す。

6-1 「緊急放送」に設定した場合
音源設定画面が表示されます。

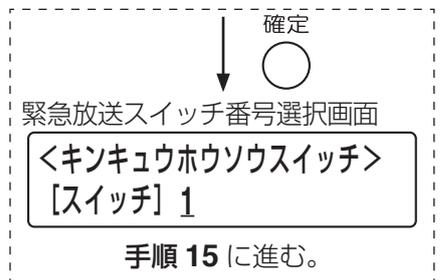
6-2 「地震停止」に設定した場合
緊急放送スイッチ番号選択画面に戻ります。
➡ **手順 15** (P. 57) に進んでください。



(「緊急放送」に設定した場合)



(「地震停止」に設定した場合)



◎ 緊急放送スイッチの音源の設定

緊急放送スイッチの機能を「緊急放送」に設定したときは、スイッチを押したときに流れる緊急メッセージを登録します。機能を「地震停止」、「未使用」に設定したときは、この設定はできません。工場出荷時の緊急メッセージの種類は次ページの表の「工場出荷時の緊急メッセージ一覧」の 10 種類です。

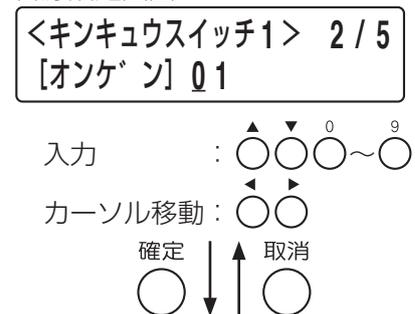
[音源の設定のしかた]

7 音源設定画面で、手順 3 (前ページ) で選択したスイッチ番号に設定する音源を選択する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。
設定番号と緊急メッセージの内容は次ページの表のとおりです。

8 確定キーを押す。
業務緊急設定画面が表示されます。

音源設定画面



次ページ「業務緊急あり／なしの設定のしかた」へ

[工場出荷時の緊急メッセージ一覧]

番号	名称	内容
1	チャイム	ウエストミンスターの鐘
2	火災訓練 [男声]	訓練放送です。【第1シグナル】 火事です、火事です、火災が発生しました。落ち着いて避難してください。【第2シグナル】
3	地震訓練 [男声]	訓練放送です。【NHKチャイム音】 地震です。落ち着いて身を守ってください。(2回繰り返す)
4	防犯(学校) [男声]	【防犯警報音】 緊急事態が発生しました。先生の指示に従ってください。
5	放課後(学校) [女声]	まもなく下校時間になります。校庭や教室に残っている人は、後片付けをして早く帰りましょう。
6	防犯(一般) [男声]	【防犯警報音】 緊急事態が発生しました。スタッフの指示に従ってください。
7	蛍の光	蛍の光
8	開店(店舗) [女声]	本日はご来店いただき、誠にありがとうございます。お時間のお許しになる限り、どうぞゆっくりお買い物をお楽しみください。
9	閉店(店舗) [女声]	本日はご来店いただき、誠にありがとうございました。またのお越しを従業員一同、こころよりお待ち申し上げます。
10	省エネ(一般) [女声]	リフレッシュタイムの時間です。胸を大きく張って疲れをほぐしましょう。また、不要な電気は切って、職場の省エネにご協力ください。

◎ 緊急放送スイッチの業務緊急あり／なしの設定

緊急放送スイッチの機能を「緊急放送」に設定したとき、スピーカー回線へ放送を出力するモードを通常放送／業務緊急のどちらかに設定します。機能を「地震停止」、「未使用」に設定したときは、この設定はできません。設定項目は以下のとおりです。

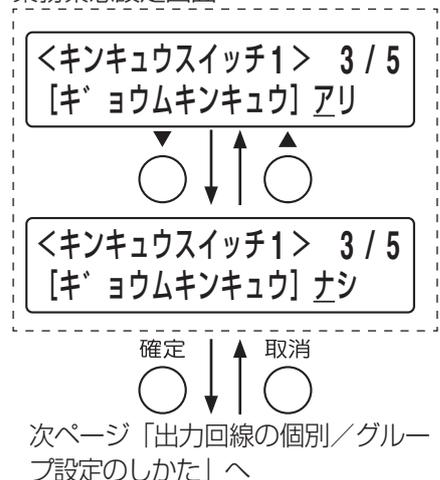
なし：通常放送モードで放送します。通常放送モードでは、アッテネーターによる音量の調節が可能です。
あり：業務緊急モードで放送します。業務緊急モードでは、アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。

[業務緊急あり／なしの設定のしかた]

9 業務緊急設定画面で上下シフトキーを押して、手順3 (P. 54) で選択したスイッチ番号に業務緊急の有無を設定する。

設定できる項目内容は上記のとおりです。

業務緊急設定画面



10 確定キーを押す。

出力設定画面が表示されます。

◎ 緊急放送スイッチの出力回線の個別／グループ設定

緊急放送スイッチの機能を「緊急放送」に設定したとき、回線登録を「個別」、「グループ」のどちらかに設定します。機能を「地震停止」、「未使用」に設定したときは、この設定は不要です。設定項目は以下のとおりです。

個別：緊急放送スイッチについて、いずれか1つのスピーカー回線を登録します。

グループ：緊急放送スイッチについて、回線グループを登録します。

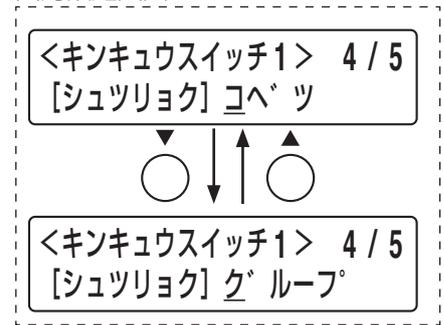
回線グループへのスピーカー回線の登録は、回線グループ設定(1-3-1)で行います。(P. 24)

[出力回線の個別／グループ設定のしかた]

- 11** 出力設定画面で上下シフトキーを押して、手順 3 (P. 54) で選択したスイッチ番号に「コベツ」か「グループ」を設定する。

設定できる項目内容は前ページのとおりです。

出力設定画面



下記「回線番号の設定のしかた」へ

- 12** 確定キーを押す。

回線／グループ番号設定画面が表示されます。

○ 緊急放送スイッチの回線／グループ番号の設定

緊急放送スイッチに回線番号または回線グループ番号を設定します。
機能を「地震停止」または「未使用」に設定した場合は、この設定はできません。

[回線番号の設定のしかた]

- 13** 回線／グループ番号設定画面で、手順 3 (P. 54) で選択したスイッチ番号に回線番号または回線グループ番号を設定する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

- 13-1** 出力回線を「個別」に設定したとき

スピーカー回線を 1 つ設定します。回線番号は 1 ～ 30 番 (FS-1000 本体が 30 局のとき) に割り当てます。

- 13-2** 出力回線を「グループ」に設定したとき

回線グループ設定 (1-3-1) で登録した回線グループ番号 (1 ～ 100 番) のいずれかに割り当てます。

- 14** 確定キーを押す。

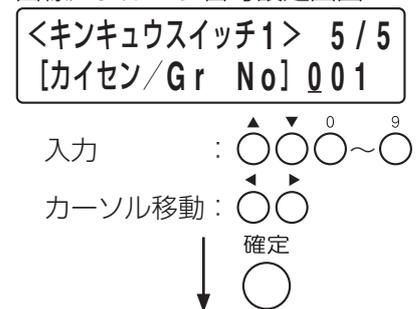
手順 3 (P. 54) の緊急放送スイッチ番号選択画面に戻ります。

- 15** 次に設定する緊急放送スイッチがあるときは、手順 3 ～ 14 を繰り返して、すべての緊急放送スイッチを設定する。

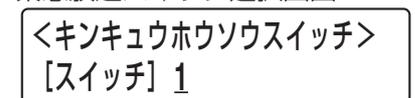
- 16** すべての緊急放送スイッチの設定が終わったら、メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

回線／グループ番号設定画面



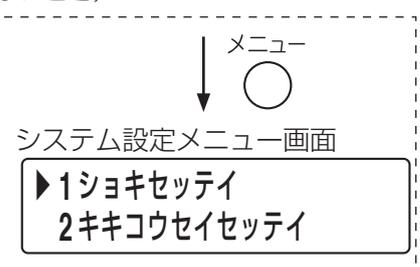
緊急放送スイッチ選択画面



(次に設定する緊急放送スイッチがあるとき)

手順 3 ～ 14 を繰り返す。

(次に設定する緊急放送スイッチがないとき)



● 制御入力の設定 (1-3-6)

FS-1000 本体端子部の制御入力端子 (1 ~ 10)、接点式 RM 接続端子 (1 ~ 10、一斉、チャイム 1 ~ 2)、緊急地震放送接点入力端子、電話ページング接点入力端子、タイマー接点入力端子、外部マイク接点入力端子、および RM-500 の制御入力端子の設定を行います。
設定項目は以下のとおりです。

- 機能番号 : 放送の種類を設定します。
 - 業務緊急 : 通常放送 / 業務緊急モードを設定します。
 - 出力回線 / グループ番号 : 出力をする回線について個別 / グループを設定します。
- 回線 / グループ番号 : 回線番号または、回線グループの番号を設定します。

[制御入力設定の開始のしかた]

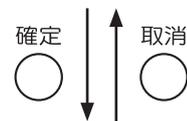
1 機器制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「6 セイギョニュウリョク」を選択する。

機器制御設定メニュー画面

▶ 6 セイギョニュウリョク
7 セイギョシュツリョク

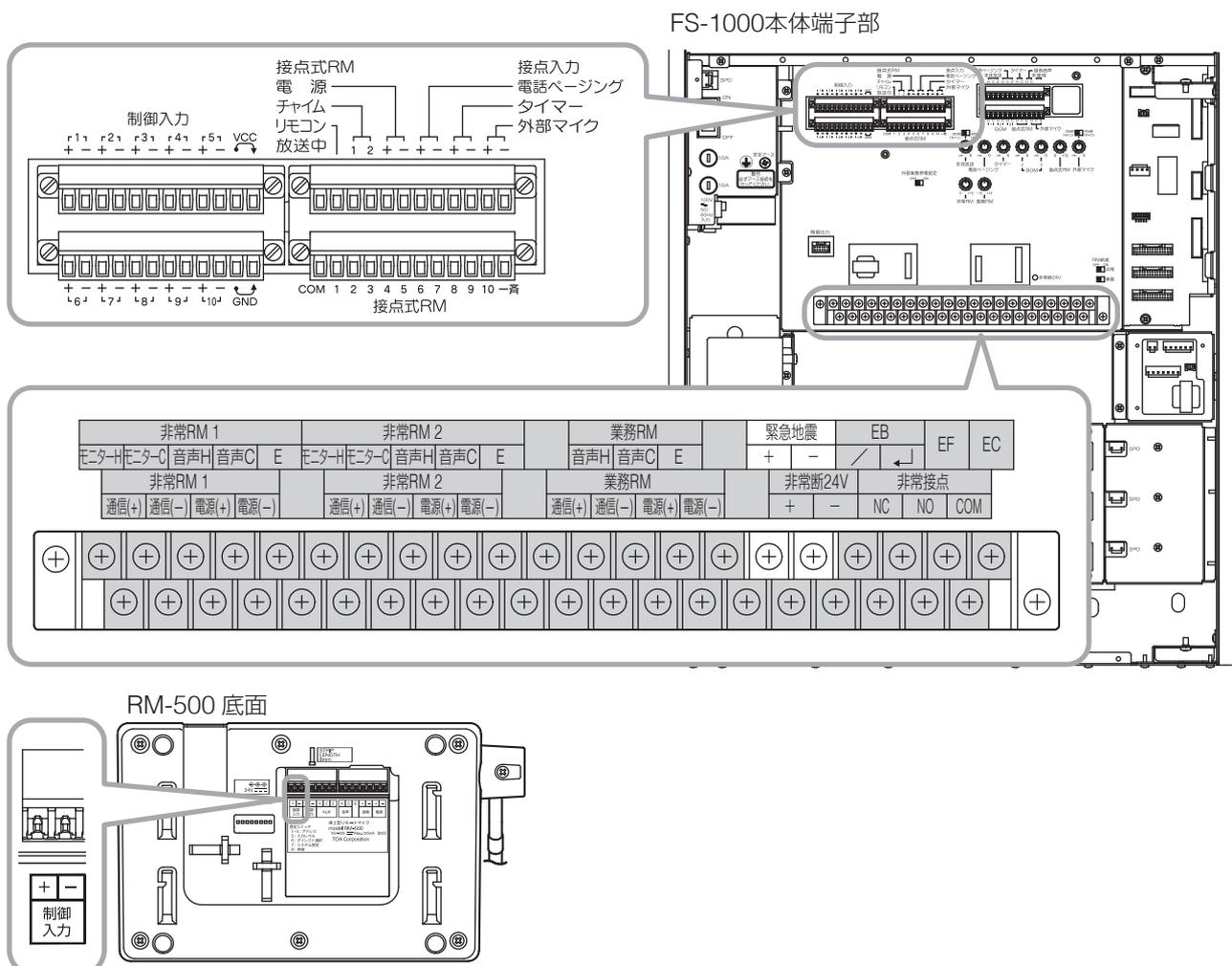
2 確定キーを押す。

制御入力端子選択画面が表示されます。



次ページ「機能の設定のしかた」

[設定する制御入力端子]



◎ 制御入力の機能の設定

端子メイク時にいずれの音源を使用して放送するか、放送の種類を設定します。端子を放送に使用しないときは「未使用」に設定します。

ここで設定した各放送の優先度設定は「優先度設定 (1-5-2)」で行います。(P. 91)

FS-1000 本体の制御入力端子の設定項目は以下のとおりです。

- 電話 PG : 電話ページング音声入力端子に入力されている音源を放送します。
- タイマー : タイマー音声入力端子に入力されている音源を放送します。
- 接点 RM 放送 : 接点式 RM 音声入力端子に入力されている音源を放送します。
- 接点 RM チャイム : 内蔵のチャイム音源を放送します。接点式 RM チャイム端子 (1、2) のみ設定可能です。
- EX マイク : 外部マイク音声入力端子に入力されている音源を放送します。
- BGM 放送 : BGM 音声入力端子 (1 ~ 3) に入力されている音源を放送します。
- 地震放送 : 緊急地震放送を行います。緊急地震放送接点入力端子のみ設定可能です。
- 緊急放送 : 緊急放送を行います。この端子をメイクすると、対応する緊急放送スイッチの設定に従って放送を行います。
- 緊急放送停止 : 放送中の緊急放送を停止します。この端子に対応する緊急放送スイッチでの放送中にメイクすると、その放送を停止します。
- 未使用 : 放送しません。

RM-500 の制御入力端子の設定項目は以下のとおりです。

- 回線選択 : あらかじめ設定された回線を選択します。
- AUX 放送 : RM-500 の AUX 放送を開始します。
- AUX スイッチ : AUX キーと同じ動作をします。
- 未使用 : 使用しません。

【制御入力端子と端子に割り当てられる機能の一覧】

用途		電話 PG 放送	タイマー放送	接点 RM 放送	接点 RM チャイム	EX マイク	BGM 放送	地震放送	緊急放送	緊急放送停止	回線選択	AUX 放送	AUX スイッチ	未使用
FS-1000 本体	制御入力 1 ~ 10	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	○
	接点式 RM1 ~ 10	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	○
	接点式 RM 一斉	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	○
	接点式 RM チャイム 1、2	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○
	緊急地震	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○
	電話ページング	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	○
	タイマー	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	○
外部マイク	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	○	
業務 RM1 ~ 4 (RM-500)	制御入力	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	

ご注意

緊急地震放送を行う場合は、必ず緊急地震制御入力端子の設定を「緊急地震放送」にしてください。

緊急地震放送を行わない場合は「未使用」に設定してください。

機能を「地震放送」に設定すると、1-3-5 の緊急放送スイッチ 4 の設定は、自動的に「地震停止」用途になります。(P. 54 「緊急放送スイッチの設定 (1-3-5)」)

[機能の設定のしかた]

3 制御入力端子選択画面で上下シフトキーを押して、端子を選択する。

選択できる端子は、前ページの表のとおりです。

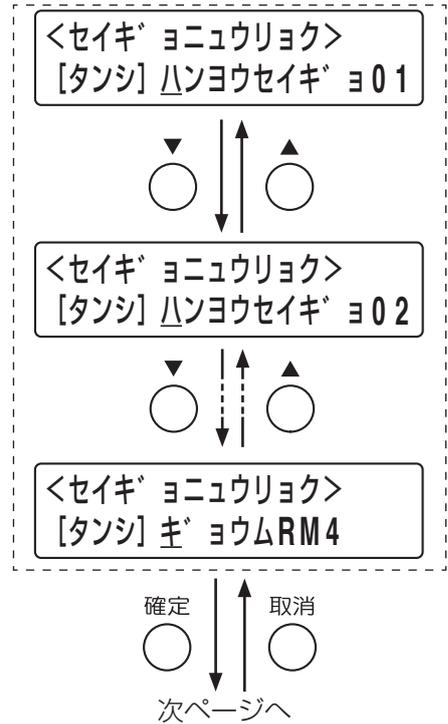
ご注意

- FS-1000 本体の制御入力端子 1 ～ 10 は液晶画面上で「ハンヨウセイギヨ 01 ～ 10」と表示されます。
- 業務 RM1 ～ 4 は業務用リモコンに RM-500 が設定されているときのみ表示されます。

4 確定キーを押す。

機能設定画面が表示されます。

制御入力端子選択画面



5 上下シフトキーを押して、端子に割り当てる機能（放送の種類）を選択する。

選択できる機能は、端子の種類により P. 59 の表のとおり異なります。

6 確定キーを押す。

6-1 「接点 RM チャイム」、「地震放送」、「緊急放送」、または「緊急放送停止」に設定した場合
番号設定画面が表示されます。

番号設定画面が表示されます。

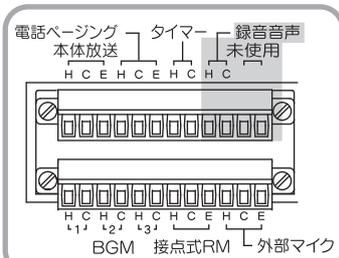
6-2 「電話 PG」、「タイマー」、「EX マイク」、「接点 RM 放送」、「回線選択」、または「AUX 放送」に設定した場合
業務緊急設定画面が表示されます。

業務緊急設定画面が表示されます。

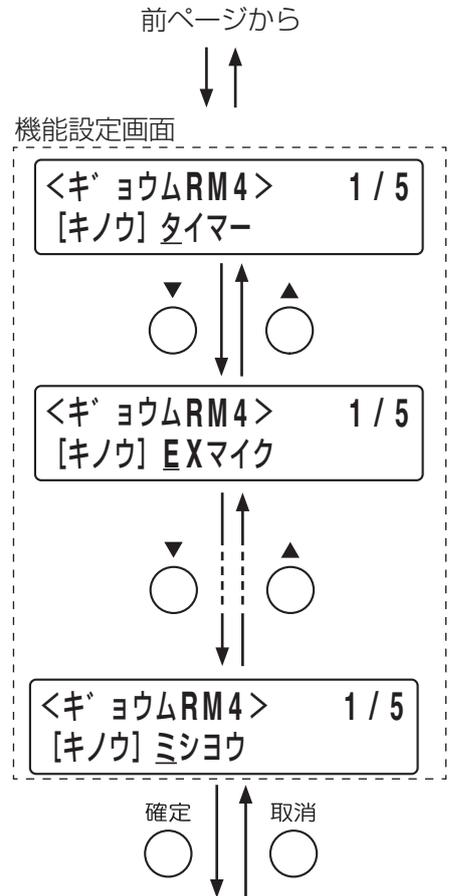
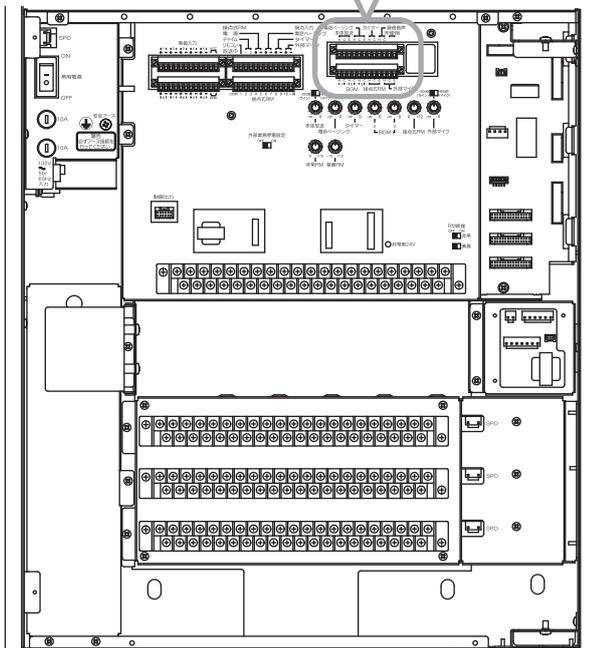
6-3 「BGM 放送」に設定した場合
出力設定画面が表示されます。

出力設定画面が表示されます。

[各音声入力端子]



FS-1000本体端子部



(「接点 RM チャイム」、「地震放送」、「緊急放送」、または「緊急放送停止」に設定した場合)

次ページ「機能の詳細設定のしかた」へ

(「電話 PG」、「タイマー」、「EX マイク」、「接点 RM 放送」、「回線選択」、または「AUX 放送」に設定した場合)

P. 63 「放送モードの設定のしかた」へ

(「BGM 放送」に設定した場合)

P. 64 「出力回線の個別 / グループ設定のしかた」へ

◎ 制御入力の機能の詳細設定

制御入力の機能を「接点式 RM チャイム」、「緊急地震放送」に設定した端子について、チャイム音源を設定します。機能を「緊急放送」、「緊急放送停止」に設定した端子について、対応する緊急放送スイッチを設定します。上記以外の機能に設定した端子については、この設定はできません。
設定項目は以下のとおりです。

※ 機能によって設定する内容が異なります。

・機能を「接点式 RM チャイム」に設定したとき

チャイム音源を選択します。

1. 上り 4 音
2. 下り 4 音
3. 2 音
4. ゴング

・機能を「緊急地震放送」に設定したとき

放送するチャイム音を選択します。(次ページ「緊急地震放送のシグナル音に関する基準」参照)

1. NHK チャイム音
2. REIC サイン音

・機能を「緊急放送」または「緊急放送停止」に設定したとき

対応する緊急放送スイッチの番号を設定します。

【ご注意】

- 機能が「地震放送停止」または「未使用」に設定されている緊急放送スイッチの番号は設定できません。
- 業務停電放送として制御入力から緊急放送を行う場合は、業務停電放送を起動可能な制御入力に機能を割り当てる必要があります。(別冊の設置説明書「業務停電放送を行うときの接続と設定」)

[機能の詳細設定のしかた]

7 番号設定画面で上下シフトキーを押して、音源の番号または緊急放送スイッチの番号を選択する。

選択できる番号は、上記のとおり設定した機能により異なります。

番号設定画面

<セッテンRMチャイム1>2 / 5
[ハ'ンゴ'ウ] 3

番号入力：○▲

8 確定キーを押す。

8-1 機能を「接点 RM チャイム」、「緊急放送」、または「緊急放送停止」に設定した場合

制御入力端子選択画面が表示されます。

➡ 手順 15 (P. 65) へ進んでください。

(機能を「接点 RM チャイム」、「緊急放送」、または「緊急放送停止」に設定した場合)

確定
↓
○
制御入力端子選択画面
<セイギ' ヨニュウリョク>
[タンシ] セッテンRMチャイム

手順 15 に進む。

8-2 機能を「地震放送」に設定した場合

出力回線設定画面が表示されます。

(機能を「地震放送」に設定した場合)

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○
P. 64 「出力回線の個別 / グループ設定のしかた」へ

緊急地震放送のシグナル音に関する基準

緊急地震放送のシグナル音は、原則として、日本放送協会が作成した報知音（NHK チャイム音）を使用してください。

ただし、NHK チャイム音は、「緊急地震速報（警報）」*¹に整合している場合の使用に限定されるため、「緊急地震速報（警報）」*¹に整合していない場合や、騒音などでNHK チャイム音では聞き取りにくい条件下では、特定非営利活動法人リアルタイム地震情報利用協議会（REIC）が作成したサイン音を使用してください。

ご注意

- 緊急地震放送のNHK チャイム音は、「緊急地震速報（警報）」*¹または、予測される震度5弱以上の「緊急地震速報（業）」*²の場合以外は使用禁止です。
- NHK チャイム音の著作権は、日本放送協会に属します。
- REIC サイン音の著作権は、特定非営利活動法人リアルタイム地震情報利用協議会に属します。

*¹ 最大震度5弱以上と予想した場合に、予想した震度が4以上の地域に対して気象庁が発表します。気象業務法に基づき、気象庁のみが発表します。

*² 許可事業者が提供する緊急地震速報。予報内容についての責任は、当該許可事業者が負います。

◎ 制御入力による放送の業務緊急あり／なしの設定

制御入力の機能を「電話ページング放送」、「タイマー放送」、「EX マイク放送」、「接点式 RM 放送」、「回線選択」、「AUX 放送」に設定したとき、スピーカー回線へ放送を出力するモードを通常放送／業務緊急のどちらかに設定します。

上記以外の機能に設定したときは、この設定はできません。

設定項目は以下のとおりです。

なし：通常放送モード（業務緊急なし）で放送します。

通常放送モードでは、アッテネーターによる音量の調節が可能です。

あり：業務緊急モードで放送します。

業務緊急モードでは、アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。

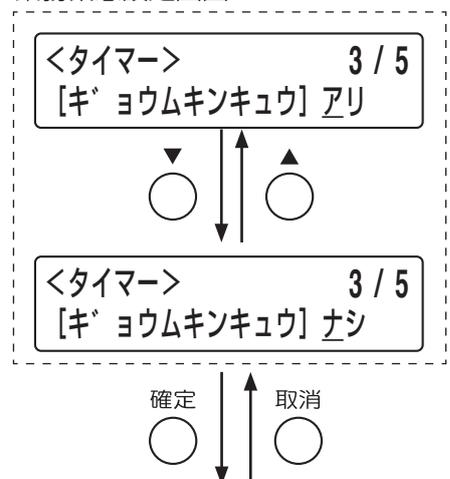
※ BGM 放送に設定したときは通常放送モード、緊急地震放送に設定したときは業務緊急モードに固定されます。

【放送モードの設定のしかた】

9 業務緊急設定画面で上下シフトキーを押して、業務緊急の有無を設定する。

10 確定キーを押す。
出力設定画面が表示されます。

業務緊急設定画面



次ページ「出力回線の個別／グループ設定のしかた」へ

◎ 制御入力による放送の出力回線の個別／グループ設定

制御入力の機能を「接点式 RM チャイム」、「AUX スイッチ」、「未使用」以外に設定した端子について、回線登録を「個別」、「グループ」のどちらかに設定します。設定項目は以下のとおりです。

個別 : 端子メイク時の放送について、スピーカー回線を 1 つ登録します。

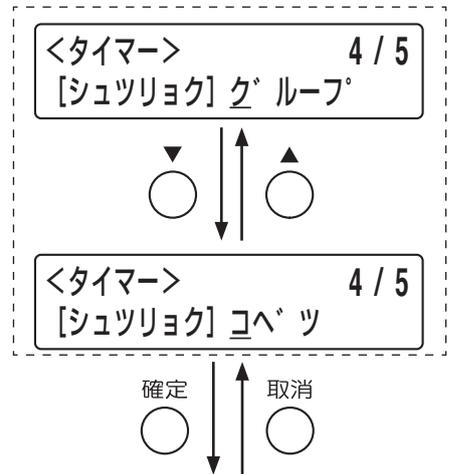
グループ : 端子メイク時の放送について、回線グループを登録します。

回線グループへのスピーカー回線の登録は、回線グループ設定 (1-3-1) で行います。(P. 24)

[出力回線の個別／グループ設定のしかた]

- 11** 出力回線設定画面で上下シフトキーを押して、手順 3 (P. 60) で選択した端子に、「コベツ」または「グループ」を選択する。

出力回線設定画面



下記「回線／グループ番号の設定のしかた」へ

- 12** 確定キーを押す。

回線／グループ番号設定画面が表示されます。

◎ 制御入力による放送の回線／グループ番号の設定

制御入力の各端子に回線番号または回線グループ番号を設定します。

機能を「接点式 RM チャイム」、「AUX スイッチ」、「未使用」に設定したときは、この設定はできません。

[回線／グループ番号の設定のしかた]

- 13** 回線／グループ番号設定画面で、手順 3 (P. 60) で選択した端子に、メイク時に放送するスピーカー回線番号または回線グループ番号を設定する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右キーでカーソルを移動します。

- 13-1** 出力回線を「個別」に設定したとき

スピーカー回線を 1 つ設定します。回線番号は 1 ~ 30 番 (FS-1000 本体が 30 局のとき) に割り当てます。

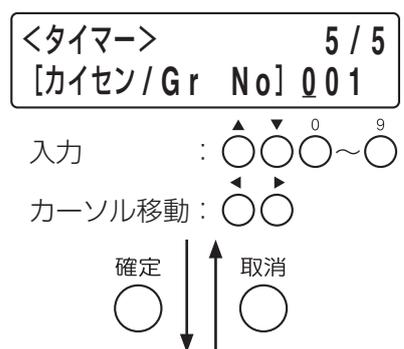
- 13-2** 出力回線を「グループ」に設定したとき

回線グループ設定 (1-3-1) で登録した回線グループ番号 (1 ~ 100 番) のいずれかに割り当てます。

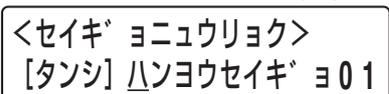
- 14** 確定キーを押す。

手順 3 (P. 60) の制御入力端子選択画面に戻ります。

回線／グループ番号設定画面



制御入力端子選択画面 (例)



次ページへ

15 次に設定する制御入力端子があるときは、手順 3 ~ 14 を繰り返して、すべての端子の設定をする。

(次に設定する端子があるとき)

手順 3 ~ 14 を繰り返す。

16 すべての端子の設定が終わったら、メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

(次に設定する端子がないとき)

メニュー



システム設定メニュー画面

▶ 1 ショキセットイ
2 キキコウセイセットイ

● 制御出力の設定 (1-3-7)

FS-1000 本体端子部の制御出力 (1 ~ 11) および RM-500 の制御出力の設定をします。
設定項目は以下のとおりです。

機能：FS-1000 システムまたは RM-500 がどの状態にあるときに制御出力をメイクするかを設定します。

[制御出力設定の開始のしかた]

1 機器制御設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「7 セイギョシュツリョク」を選択する。

機器制御設定メニュー画面

6 セイギョニュウリョク
▶ 7 セイギョシュツリョク

2 確定キーを押す。

制御出力端子選択画面が表示されます。

確定



取消



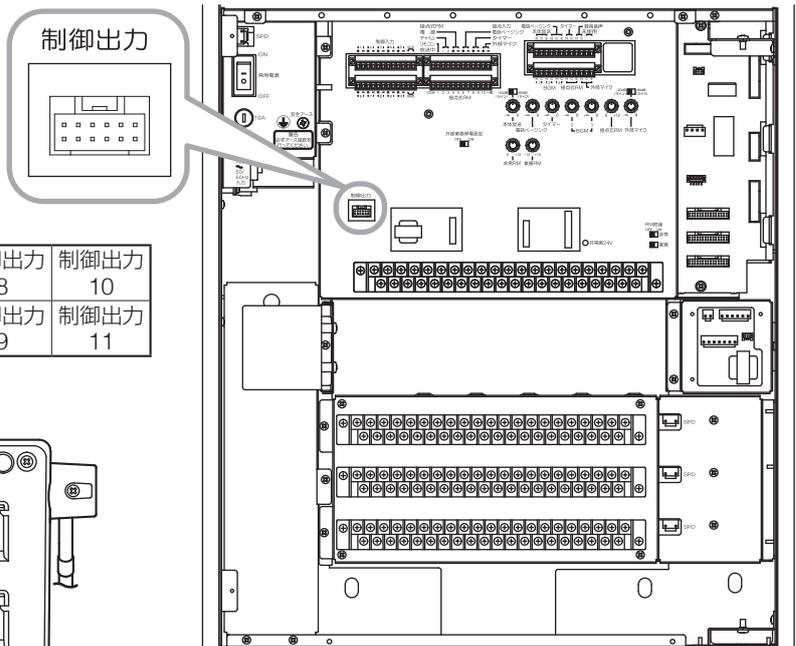
次ページ「機能の設定のしかた」
へ

[設定する制御出力端子]

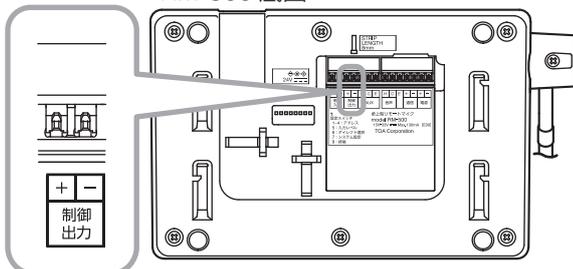
※ 制御出力端子の配列は以下のとおりです。

GND	制御出力 2	制御出力 4	制御出力 6	制御出力 8	制御出力 10
制御出力 1	制御出力 3	制御出力 5	制御出力 7	制御出力 9	制御出力 11

FS-1000本体端子部



RM-500 底面



※ 制御出力端子の接続には、別売のYR-200が必要です。

◎ 制御出力の機能の設定

FS-1000 システムまたは RM-500 の動作状態に応じて、各制御出力端子をメイクさせることができます。端子を使用しない場合は「未使用」に設定します。

設定項目は以下のとおりです。ただし、RM-500 の場合は「放送」、「業務放送」、「業務緊急」、「保守点検」、「異常発生」、「未使用」からの選択となります。また、RM-500 の制御出力は FS-1000 本体の制御出力と比べて、1 秒程度遅れて出力されます。

- 音声警報 : 発報放送など第 2 シグナル以外の音声警報が出力されているとき。(マイク放送後および放送復旧後再選択した場合の第 2 シグナル時は出力しません。)
- 発報放送 : 発報放送中やその前後など、発報放送表示灯が点灯あるいは点滅しているとき。
- 火災放送 : 火災放送中やその前後など、火災放送表示灯が点灯あるいは点滅しているとき。
- 非火災放送 : 非火災放送中やその後など、非火災放送表示灯が点灯あるいは点滅しているとき。
- 火災一斉移行 : 一斉移行タイマー「ON」時、火災放送が一斉火災放送に移行してから復旧するまでの間。
- 非常マイク : 非常放送中のフロントマイクによるマイク放送が行われているとき。
- 地震放送 : 緊急地震速報を受信して放送がされているとき。
- 放送 : RM-500 の場合に、自機からの放送が行われているとき。
- 業務放送 : いずれかの機器から業務放送が行われているとき。
- 業務緊急 : いずれかの機器から業務緊急放送が行われているとき。
- 保守点検 : メンテナンスモードやシステム動作確認モードにあるとき。
- 異常発生 : 何らかの異常が発生し、異常表示灯が点灯あるいは点滅しているとき。
- 未使用 : 出力しません。

[機能の設定のしかた]

3 制御出力端子選択画面で端子番号 (1 ~ 11) を入力する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

4 確定キーを押す。

機能設定画面が表示されます。

5 上下シフトキーを押して、端子に割り当てる機能を選択する。

設定できる機能は、上記のとおりです。

【ご注意】

制御出力端子 11 は他の端子と異なり、アナログ一斉放送時に強制的にメイクする仕様になっています。他の機能に設定できますが、アナログ一斉放送時にもメイクします。

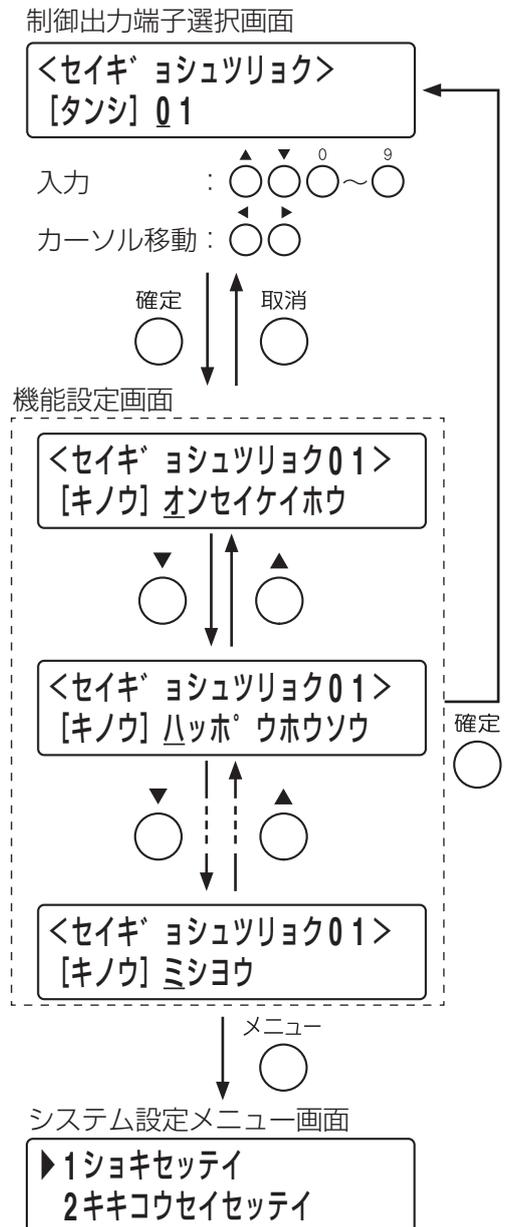
6 確定キーを押す。

制御出力端子選択画面に戻ります。

7 手順 3 ~ 6 を繰り返して、すべての制御出力端子の機能を設定する。

8 メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。



■ 非常動作設定 (1-4)

非常放送の音声警報や非常タイマーなど、非常放送の動作について設定します。
設定項目は以下のとおりです。

- 音声警報 : 発信機起動時、感知器起動時などの非常放送の音声警報放送を設定します。
- 非常タイマー : 火災放送移行タイマー、一斉移行タイマーを設定します。
- 放送階選択方法 : 非常放送の放送階について選択方法を設定します。
- 階メッセージ : FS-1000 本体の階別信号入力端子について非常系統、階メッセージを設定します。
- 非常連動系統 : 出火系統について連動系統を設定します。

[非常動作設定の開始のしかた]

1 システム設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「4 ヒジ ヨウドウサセッテイ」を選択する。

2 確定キーを押す。

非常動作設定メニュー画面が表示されます。
設定できる項目は上記のとおりです。

☒ ☎

はじめて設定をするときは、「1 オンセイケイホウ」から順に設定してください。

システム設定メニュー画面

▶4 ヒジ ヨウドウサセッテイ
5 キ ヨウムトウサセッテイ



非常動作設定メニュー画面

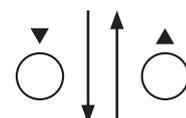
音声警報設定画面 (次ページ)

▶1 オンセイケイホウ
2 ヒジ ヨウタイマー



非常タイマー設定画面 (P. 73)

▶2 ヒジ ヨウタイマー
3 ホウソウカイセンタクホウホウ



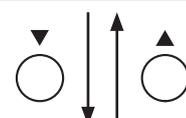
放送階選択方法設定画面 (P. 75)

▶3 ホウソウカイセンタクホウホウ
4 カイメッセージ



階メッセージ設定画面 (P. 77)

▶4 カイメッセージ
5 ヒジ ヨウレントウケイトウ



非常連動系統設定画面 (P. 79)

4 カイメッセージ
▶5 ヒジ ヨウレントウケイトウ

● 音声警報の設定 (1-4-1)

発信機起動時、感知器起動時などの非常放送の音声警報放送を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

- 手動・発信機起動 : 発信機や非常電話、手動で非常放送を起動したときの音声警報放送を設定します。
- 感知器発報 : 感知器起動時の感知器発報放送を「連動」または「連動停止」のどちらかに設定します。
- 発報放送回数 : 感知器発報放送の繰り返し回数を設定します。
- 発報放送繰返し設定 : 感知器発報放送の繰返し方法を設定します。
- 発報放送間隔 : 感知器発報放送を連続で出力する時の間隔を設定します。
- 警報言語 : 音声警報放送を行う言語を設定します。日本語に加えて、任意の言語を選択でき、最大4言語の音声警報メッセージを放送することができます。

【ご注意】

警報言語について、工場出荷時は日本語と英語の音源のみ搭載されています。第2、第3外国語を設定するときは、設定支援ソフトウェアによる音源の追加が必要です。

【メモ】

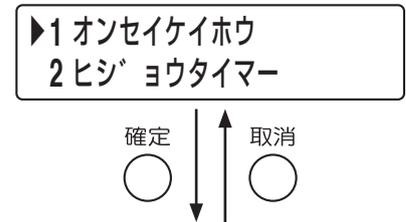
手動・発信機起動を「火災」、感知器発報を「連動停止」に設定した場合は、発報放送回数／繰返し／間隔の設定は不要です。

【音声警報設定の開始のしかた】

1 非常動作設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「1 オンセイケイホウ」を選択する。

2 確定キーを押す。
音声警報設定の手動起動を設定する画面が表示されます。

非常動作設定メニュー画面



下記「手動起動、発信機起動時の設定のしかた」へ

◎ 手動起動、発信機起動時の音声警報の設定

手動起動または、非常電話・発信機起動のとき、感知器発報放送をするかどうかを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

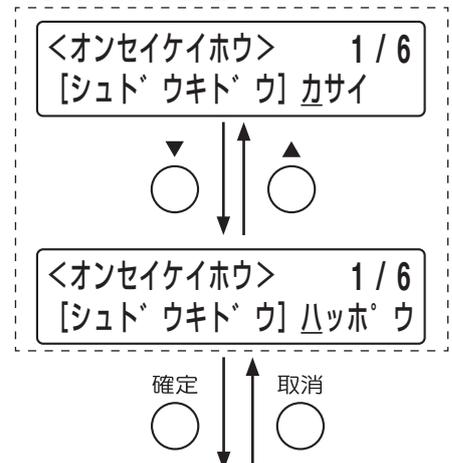
- 火災：起動がかかると、感知器発報放送なしに、すぐに火災放送をします。（「火災」モード）
 - 発報：起動時に、感知器発報放送をします。（「発報」モード）
- 非常電話や発信機での起動のときは、感知器発報放送に続いて火災放送をします。

【手動起動、発信機起動時の設定のしかた】

3 手動起動設定画面で上下シフトキーを押して、「カサイ」または「ハッポウ」を選択する。

4 確定キーを押す。
感知器発報設定画面が表示されます。

手動起動設定画面



次ページ「感知器発報放送連動の設定のしかた」へ

◎ 感知器起動時の感知器発報放送連動の設定

自火報感知器が起動したときに、感知器発報放送をするかどうかを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

連動：感知器での起動時に、感知器発報放送をします。（「発報連動」モード）

停止：感知器での起動時に、感知器発報放送をしません。（「発報連動停止」モード）

操作する人に対して、FS-1000 本体と非常用リモコンのモニタースピーカーから「火災音信号」と現場の確認と操作を指示する「音声メッセージ」が出ます。（このモードで使用するには、所轄の消防署の承認が必要です。）

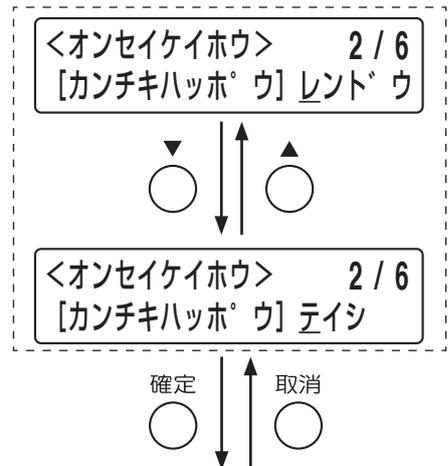
[感知器発報放送連動の設定のしかた]

5 感知器発報設定画面で上下シフトキーを押して、「レンドウ」または「テイシ」を選択する。

6 確定キーを押す。

発報放送の繰り返し回数の設定画面が表示されます。

感知器発報設定画面



下記「発報放送の繰り返し回数の設定のしかた」へ

◎ 発報放送の繰り返し回数の設定

感知器発報放送を連続で繰り返す回数を設定します。（繰り返す回数は、2回～5回の間で設定可能です。）

[発報放送の繰り返し回数の設定のしかた]

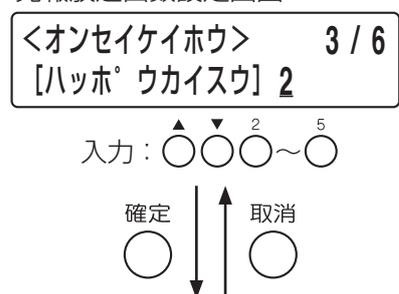
7 発報放送回数設定画面で、繰り返し回数を入力する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。
設定できる回数は2～5です。

8 確定キーを押す。

発報放送の繰り返し設定画面が表示されます。

発報放送回数設定画面



次ページ「発報放送の繰り返し方法の設定のしかた」へ

◎ 発報放送の繰り返し方法の設定

感知器発報放送を繰り返して放送するかどうかを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

- なし : 感知器発報放送を「発報放送回数」で設定した回数だけ放送します。
- 繰り返し : 感知器発報放送を「発報放送回数」で設定した回数だけ放送し、そのあと一定の間隔*をおいて、再び繰り返します。ただし、フロントマイクによる放送や放送復旧のあとは、発報放送は繰り返し放送されません。
- 継続 : 感知器発報放送を「発報放送回数」で設定した回数だけ放送し、そのあと一定の間隔*をおいて、再び繰り返します。フロントマイクによる放送や放送復旧のあとも繰り返し放送されます。

* 発報放送の間隔は「発報放送間隔」（次項）で設定します。

【発報放送の繰り返し方法の設定のしかた】

9 発報放送繰り返し設定画面で上下シフトキーを押して、「ナシ」、「クリカエシ」、または「ケイゾク」を選択する。

(▶▶▶ 次ページ「設定例」)

10 確定キーを押す。

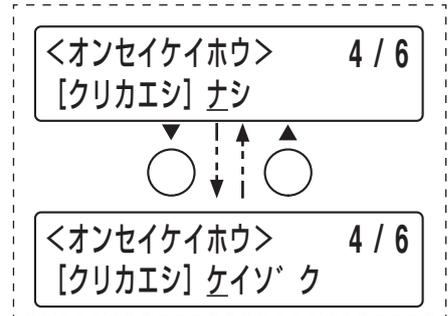
10-1 「なし」に設定した場合

音声警報の言語設定画面が表示されます。

10-1 「繰り返し」または「継続」に設定した場合

発報放送間隔設定画面が表示されます。

発報放送繰り返し設定画面



確定 ↑ ↓ 取消

(「なし」に設定した場合)

次ページ「音声警報の言語設定のしかた」へ

(「繰り返し」または「継続」に設定した場合)

次ページ「発報放送の繰り返し間隔の設定のしかた」へ

◎ 発報放送の繰り返し間隔の設定

発報放送繰り返し設定を「クリカエシ」または「ケイゾク」に設定したときに、繰り返しの間隔を設定します。
 (繰り返しの間隔は、0 秒～ 5 分 59 秒の間で設定可能です。)
 発報放送繰り返し設定を「ナシ」に設定したときは、この設定はできません。

[発報放送の繰り返し間隔の設定のしかた]

11 発報放送間隔設定画面で、放送間隔を入力する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右キーでカーソルを移動します。設定できる放送間隔は、0m00s～5m59s です。
 (下記「設定例」参照。)

発報放送間隔設定画面

<オンセイケイホウ>	5 / 6
[ホウソウカンカク]	0m00s

入力 : ○[▲] ○[▼] ○⁰ ~ ○⁹

カーソル移動 : ○[◀] ○[▶]

確定 ↓ ↑ 取消

下記「音声警報の言語の設定のしかた」へ

12 確定キーを押す。

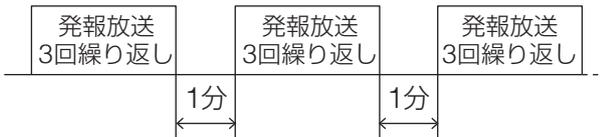
音声警報の言語設定画面が表示されます。

[設定例]

発報放送の繰り返し方法を「クリカエシ」または「ケイゾク」に設定したときは、繰り返し回数や繰り返し間隔の設定により次のように放送されます。

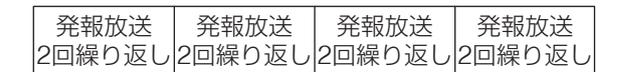
(1) 発報放送 3 回を 1 分間隔で放送するとき

- ・ 繰り返し回数を 3 回に設定します。
- ・ 繰り返し間隔を 1 分に設定します。



(2) 発報放送を繰り返し連続で放送するとき

- ・ 繰り返し回数を 2 回に設定します。
- ・ 繰り返し間隔を 0 秒に設定します。



◎ 音声警報の言語の設定

音声警報放送をする言語を設定します。日本語に加えて、英語・中国語・韓国語も設定できます。

日本語 : 日本語で音声警報メッセージが流れます。

二ヶ国語 : 日本語・英語で音声警報メッセージが流れます。

三ヶ国語 : 日本語・英語・中国語で音声警報メッセージが流れます。

四ヶ国語 : 日本語・英語・中国語・韓国語で音声警報メッセージが流れます。

【ご注意】

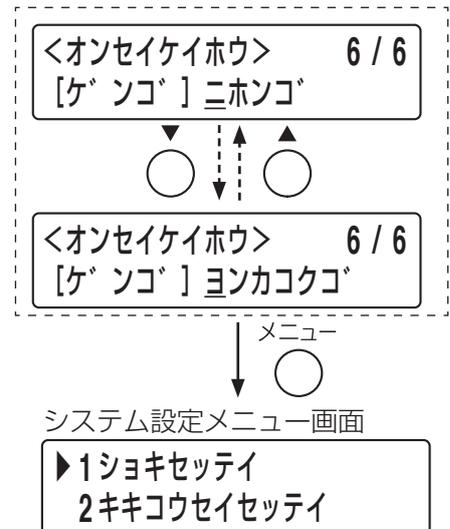
工場出荷時に搭載されたメッセージ以外を放送する場合は、所轄消防署の許可を得た上で、設定してください。

【音声警報の言語の設定のしかた】

13 音声警報の言語設定画面で上下シフトキーを押して、「ニホンゴ」「ニカコクゴ」「サンカコクゴ」または「ヨンカコクゴ」を選択する。

14 メニューキーを押す。
システム設定メニュー画面に戻ります。

音声警報の言語設定画面



● 非常タイマーの設定 (1-4-2)

設定項目は以下のとおりです。

- 火災移行 : 感知器起動や手動で非常放送を起動したときに、発報放送開始または火災音信号鳴動開始から、一定時間経過後に火災放送を開始させるための火災放送移行タイマーの時間を設定します。
- 一斉移行機能 : 火災放送開始または火災放送移行タイマーのタイムアップから、一定時間経過後に一斉火災放送を開始するための一斉移行タイマー機能のあり/なしの設定をします。
- 一斉移行 : 一斉移行タイマー機能「あり」のときのタイマーの時間を設定します。

※ タイマーの設定は法律で定められています。(別冊の操作説明書「火災放送移行タイマーと一斉移行タイマー」)

[非常タイマー設定の開始のしかた]

1 非常動作設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「2 ヒジ ヨウタイマー」を選択する。

非常動作設定メニュー画面

▶2 ヒジ ヨウタイマー
3 ホウソウカイセンタクホウホウ

確定 ↓ ↑ 取消
○ ○

下記「火災移行タイマーの時間設定のしかた」へ

2 確定キーを押す。

火災移行タイマー設定画面が表示されます。

◎ 火災放送移行タイマーの時間の設定

発報放送の開始または火災音信号の鳴動開始から、一定時間経過後に火災放送を開始させるまでの火災放送移行タイマーの時間を設定します。

[火災移行タイマーの時間設定のしかた]

3 火災移行タイマー設定画面で、時間を入力する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右キーでカーソルを移動します。設定できる時間は、00m01s～99m59s(1s単位)です。

火災移行タイマー設定画面

<ヒジ ヨウタイマー> 1 / 3
[カサイコウ] 00m01s

入力 : ○⁰ ○⁹ ○⁰ ~ ○⁹
カーソル移動 : ○ ○
確定 ↓ ↑ 取消
○ ○

次ページ「一斉移行タイマーのあり/なし設定のしかた」へ

4 確定キーを押す。

一斉移行機能設定画面が表示されます。

◎ 一斉移行タイマー機能のあり／なしの設定

火災放送開始または火災放送移行タイマーのタイムアップから、一定時間経過後に一斉火災放送を開始させるための一斉移行タイマー機能のあり／なしを設定します。

あり：一斉移行タイマーの機能を使用します。

設定された時間*の経過後に一斉火災放送を開始します。

なし：一斉移行タイマーの機能を使用しません。

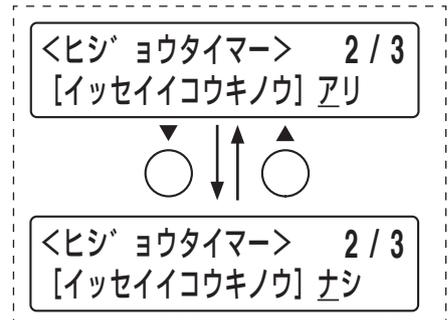
自動的に一斉火災放送が開始することはありません。

* 設定時間は「一斉移行タイマーの時間の設定」(次項)で設定します。

[一斉移行タイマーのあり／なし設定のしかた]

5 一斉移行機能設定画面で、上下シフトキーを押して、一斉移行タイマーを「アリ」または「ナシ」に設定する。

一斉移行機能設定画面



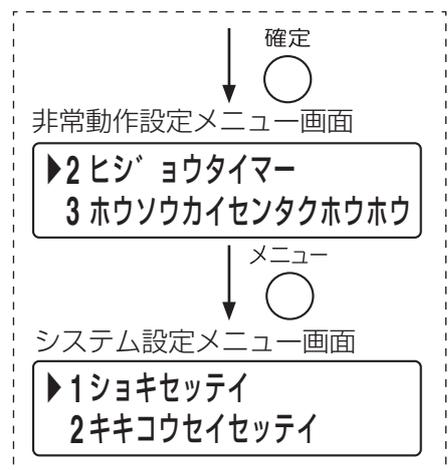
6 確定キーを押す。

6-1 「なし」に設定した場合

非常動作設定メニュー画面に戻ります。

➡ メニューキーを押して、システム設定画面に戻ってください。

(「なし」に設定した場合)



6-2 「あり」に設定した場合

一斉移行タイマー設定画面が表示されます。

(「あり」に設定した場合)



◎ 一斉移行タイマーの時間の設定

一斉移行タイマーの時間を設定します。
一斉移行の設定を「なし」に設定したときは、この設定はできません。

[一斉移行タイマーの時間設定のしかた]

7 一斉移行タイマー設定画面で、時間を入力する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右キーでカーソルを移動します。設定できる時間は、00m00s～99m59sです。

8 確定キーを押す。

非常動作設定メニュー画面に戻ります。

9 メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

一斉移行タイマー設定画面

<ヒジ ヨウタイマー> 3 / 3
[イッセイコウ] 00m00s

入力 : ○ ○ ○ ~ ○

カーソル移動 : ○ ○

確定

非常動作設定メニュー画面

▶2 ヒジ ヨウタイマー
3 ホウソウカイセンタクホウホウ

メニュー

システム設定メニュー画面

▶1 ショキセツテイ
2 キキコウセイセツテイ

● 放送階の選択方法の設定 (1-4-3)

非常放送が起動したときの放送階の選択のしかたを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

- 自火報選択 : 自動火災報知設備などから階別信号が入力されたときに、非常放送をする階の選択のしかたを設定します。
- 手動選択 : 手動で非常放送を起動したときに非常放送をする階の選択のしかたを設定します。
- 二度押し復旧 : 一度選択した放送階選択スイッチを再度押すことにより回線選択を解除できるようにするかどうかを設定します。

[放送階選択方法の設定のしかた]

1 非常動作設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「3 ホウソウカイセンタクホウホウ」を選択する。

非常動作設定メニュー画面

▶3 ホウソウカイセンタクホウホウ
4 カイメッセージ

↑
↓
次ページへ

2 確定キーを押す。

放送階選択方法設定画面が表示されます。



放送階選択方法設定画面

<ホウソウカイセンタク> 1 / 3
[ジ カホウセンタク] レンドウ



<ホウソウカイセンタク> 1 / 3
[ジ カホウセンタク] イッセイ



手動階選択連動設定画面

<ホウソウカイセンタク> 2 / 3
[シュトウセンタク] カイベツ



<ホウソウカイセンタク> 2 / 3
[シュトウセンタク] レンドウ



二度押し復旧設定画面

<ホウソウカイセンタク> 3 / 3
[ニト オシフッキュウ] キンシ



<ホウソウカイセンタク> 3 / 3
[ニト オシフッキュウ] キョカ



非常動作設定メニュー画面

▶3 ホウソウカイセンタクホウホウ
4 カイメッセージ



システム設定メニュー画面

▶1 ショキセッテイ
2 キキコウセイセッテイ

3 自火報階別信号による放送階の選択方法を設定する。

上下シフトキーで、「レンドウ」または「イッセイ」を選択します。

連動：出火階（起動のあった階）と、その直上階などの連動階に放送されます。（「連動」モード）

一斉：すべての階に放送されます。（「連動一斉」モード）

4 確定キーを押す。

手動階選択連動設定画面が表示されます。

5 手動による放送階の選択方法を設定する。

上下シフトキーで、「カイベツ」または「レンドウ」を選択します。

階別：手動で選択した放送階のみ放送されます。

連動：手動で選択した放送階と、その直上階などの連動階に放送されます。

6 確定キーを押す。

二度押し復旧設定画面が表示されます。

7 放送階選択スイッチの二度押しによる回線選択解除を設定する。

上下シフトキーで、「キンシ」または「キョカ」を選択します。

禁止：二度押しによる回線選択の解除を禁止します。（二度押しのスイッチ操作は無効です。）

許可：二度押しによる回線選択の解除を許可します。

8 確定キーを押す。

非常動作設定メニュー画面に戻ります。

9 メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

● 階メッセージの設定 (1-4-4)

FS-1000 本体の各階別信号 (EL 信号) 入力端子に非常系統と階メッセージを設定します。階別信号入力端子がメイクしたときに、連動階を含んだスピーカー回線の選択を行い、階情報を含んだ音声警報が出力できるようにするためです。

階別信号入力端子がメイクされたときは、この非常系統番号をもとにして、スピーカー回線の選択を行います。音声警報の階情報は、メイクされた階別信号入力端子に設定された階メッセージ番号により選択します。

[階メッセージ設定の開始のしかた]

1 非常動作設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「4 カイメッセージ」を選択する。

2 確定キーを押す。

EL 番号選択画面が表示されます。

3 EL 番号を選択する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。設定できる EL 番号は、本体局数により異なります。(10 局の場合：01 ~ 10、20 局の場合：01 ~ 20、30 局の場合：01 ~ 30)

【ご注意】

「EL 番号」は FS-1000 本体端子台の階別信号入力端子の番号です。

4 確定キーを押す。

非常系統番号設定画面が表示されます。

5 非常系統番号を設定する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。設定できる非常系統番号は、00 (未使用) ~ 30 です。

【ご注意】

非常系統を未使用 (00) にしたときは、設定した番号の階別信号入力端子をメイクしても出火階表示灯は点灯しません。

6 確定キーを押す。

階メッセージ番号設定画面が表示されます。

7 階メッセージ番号を設定する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。設定できる階メッセージ番号は、00 (階情報なし) ~ 80 です。

※ 工場出荷時の階メッセージについては、次ページを参照してください。

8 確定キーを押す。

手順 3 の EL 番号設定画面に戻ります。

非常動作設定メニュー画面

▶4 カイメッセージ
5 ヒジ ヨウレントウ ケイトウ

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

EL 番号選択画面

<カイメッセージ>
[EL] 01

入力 : ○[▲]○[▼]○⁰~○⁹
カーソル移動 : ○ ○

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

非常系統番号設定画面

<EL 01> 1 / 2
[ヒジ ヨウケイトウ] 01

入力 : ○[▲]○[▼]○⁰~○⁹
カーソル移動 : ○ ○

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

階メッセージ番号設定画面

<EL 01> 2 / 2
[メッセージ] 80

入力 : ○[▲]○[▼]○⁰~○⁹
カーソル移動 : ○ ○

確定
○ ↓

EL 番号選択画面

<カイメッセージ>
[EL] 01

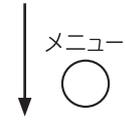
次ページへ

前ページから

(次に設定する EL 番号があるとき)

手順 3 ~ 8 を繰り返す。

(次に設定する EL 番号がないとき)



システム設定メニュー画面

▶ 1 ショキセッテイ
2 キキコウセイセッテイ

9 次に設定する EL 番号があるときは、手順 3 ~ 8 を繰り返す。

10 すべての EL 番号の設定が終わったら、メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

[工場出荷時の階メッセージの設定]

番号	名称
1	地下 1 階
2	地下 2 階
3	地下 3 階
4	地下 4 階
5	地下 5 階
6	1 階
7	2 階
8	3 階
9	4 階
10	5 階
11	6 階
12	7 階
13	8 階
14	9 階
15	10 階
16	11 階
17	12 階
18	13 階
19	14 階
20	15 階
21	16 階
22	17 階
23	18 階
24	19 階
25	20 階
26	21 階
27	22 階
28	23 階
29	24 階
30	25 階

番号	名称
31	26 階
32	27 階
33	28 階
34	29 階
35	30 階
36	屋上
37	駐車場
38	地下駐車場
39	屋上駐車場
40	バックヤード
41	エントランスホール
42	体育館
43	体育館 1 階
44	体育館 2 階
45	講堂
46	階段
47	東階段
48	西階段
49	南階段
50	北階段
51	中央階段
52	塔屋
53	エスカレーター
54	エレベーター
55	エレベーターシャフト
56	エレベーター機械室
57	機械室
58	風除室
59	本館地下 1 階
60	本館 1 階

番号	名称
61	本館 2 階
62	本館 3 階
63	本館 4 階
64	本館 5 階
65	本館 6 階
66	本館屋上
67	本館塔屋
68	本館階段
69	本館エレベーター
70	新館地下 1 階
71	新館 1 階
72	新館 2 階
73	新館 3 階
74	新館 4 階
75	新館 5 階
76	新館 6 階
77	新館屋上
78	新館塔屋
79	新館階段
80	新館エレベーター

※ 番号：階メッセージ番号
名称：階名称

● 出火階連動系統の設定 (1-4-5)

階別信号入力端子がメイクされた非常系統（出火系統）に連動して選択される非常系統（連動系統）を設定します。

[出火階連動系統の設定のしかた]

1 非常動作設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「5 ヒジ ヨウレント ウケイトウ」を選択する。

2 確定キーを押す。

出火階連動系統設定画面が表示されます。

3 出火系統番号を設定する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

4 確定キーを押す。

連動系統追加／削除画面が表示されます。手順3で設定された出火系統は、「●」マークが表示されています。

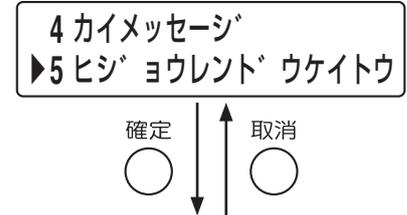
5 連動系統の追加／削除を行う。

左右シフトキーで系統を選択し、上下シフトキーで追加／削除を行う。画面で「0」は追加、「x」は削除を表しています。

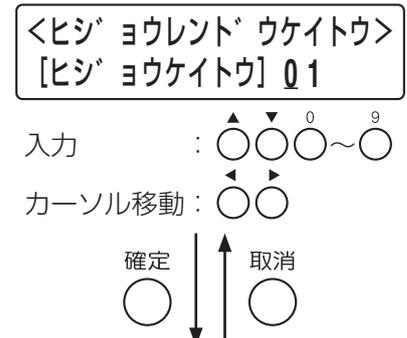
6 確定キーを押す。

次に追加／削除する系統があるときとないときで、表示される画面が異なります。(次ページ参照)

非常動作設定メニュー画面



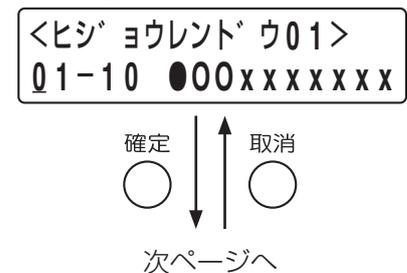
出火階連動系統設定画面



連動系統追加／削除画面



(設定例)



前ページから



6-1 次に追加／削除する系統があるとき

11～20 系統または 21～30 系統の連動系統追加／削除画面が表示されます。

➡ 手順 5～6 を繰り返してください。

(次に追加／削除する系統があるとき)

連動系統追加／削除画面

<ヒジ ヨウレント ウ01>
11-20 XXXXXXXXXXXX

または

<ヒジ ヨウレント ウ01>
21-30 XXXXXXXXXXXX

手順 5～6 を繰り返す。

6-2 次に追加／削除する系統がないとき

手順 3 (前ページ) の出火階連動系統設定画面に戻ります。

➡ 手順 3～6 を繰り返して、すべての出火系統番号に連動系統を設定してください。

(次に追加／削除する系統がないとき)

出火階連動系統設定画面

<ヒジ ヨウレント ウケイトウ>
[ヒジ ヨウケイトウ] 01

手順 3～6 を繰り返す。

7 すべての出火系統番号の連動設定が終わったら、メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

(すべての出火系統番号の連動系統設定が完了したとき)

メニュー



システム設定メニュー画面

▶ 1 ショキセッテイ
2 キキコウセイセッテイ

ご注意

以下の場合における連動系統設定については、自治体により異なります。所轄消防署にご確認のうえ、設定を行ってください。

- (1) 地下階から起動があったときの1階への連動
- (2) 各階から起動があったときのエレベーター、階段への連動
- (3) エレベーター、階段から起動があったときの連動

■ 業務動作設定 (1-5)

各放送の優先度や連動チャイムの設定など、業務放送について設定します。
設定項目は以下のとおりです。

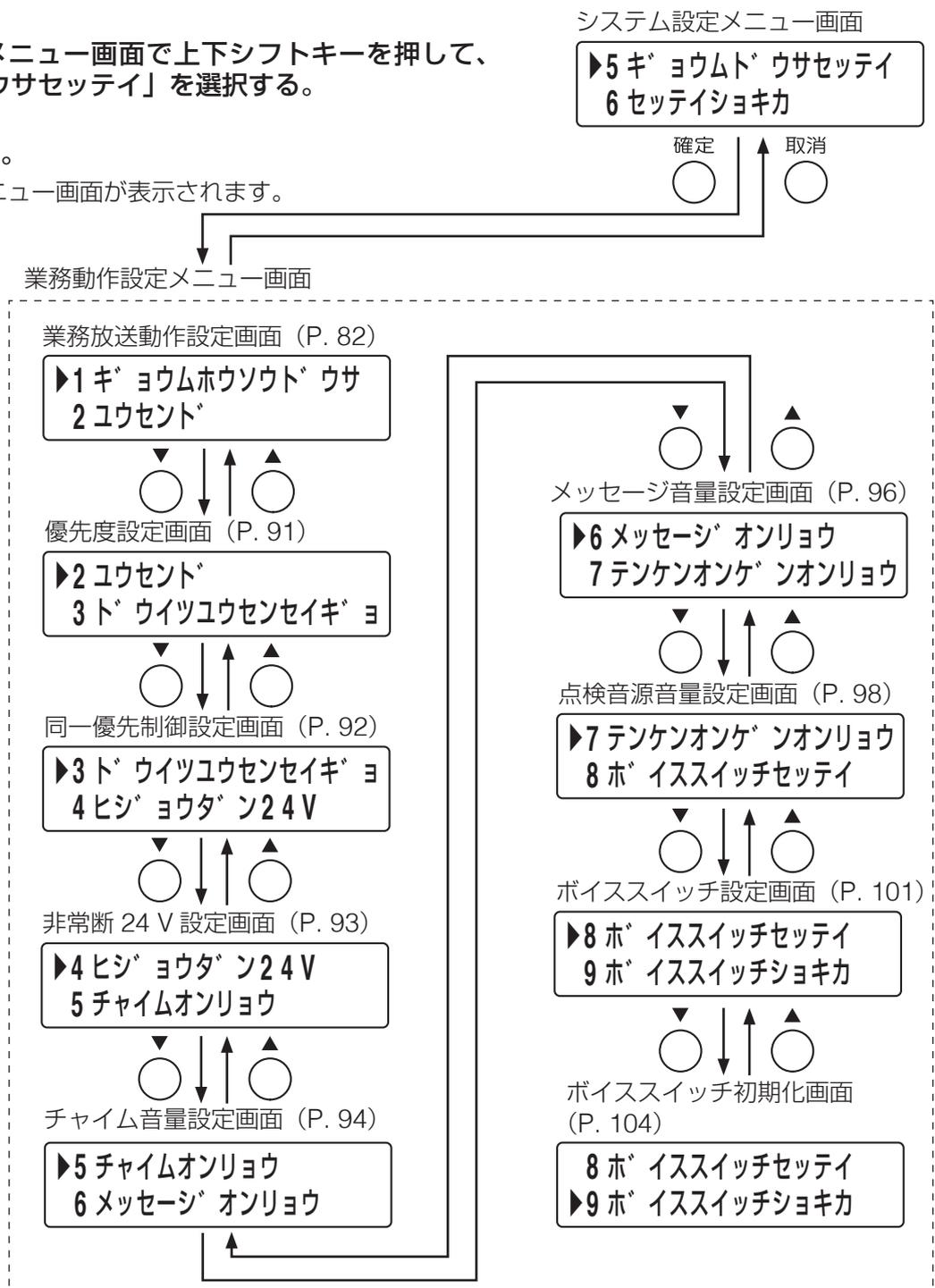
- 業務放送動作 : BGM 制御設定および連動チャイムの設定をします。
- 優先度 : 放送の優先度を設定します。
- 同一優先制御 : 同じ優先度の放送が複数同時に行われたときの動作を設定します。
- 非常断 24 V : 非常断 24 V 出力端子の業務放送中の動作を設定します。
- チャイム音量 : 内蔵のチャイム音源の音量を調節します。
- メッセージ音量 : 内蔵の緊急メッセージ音源の音量を調節します。
- 点検音源音量 : 動作確認モードで使用する点検音源の音量を調節します。
- ボイススイッチ設定 : BGM 制御を行うボイススイッチの設定をします。
- ボイススイッチ初期化 : BGM 制御を行うボイススイッチの設定を工場出荷時の設定に戻します。

【業務動作設定の開始のしかた】

1 システム設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「5 ギョウムドウサセッテイ」を選択する。

2 確定キーを押す。

業務動作設定メニュー画面が表示されます。



● 業務放送動作の設定 (1-5-1)

放送動作の種類を選択し、各放送に対してBGM制御設定および連動チャイムを設定、または作動表示灯のモードを設定します。設定項目は以下のとおりです。

種類 : 放送動作の種類を選択します。

BGM 制御 : 各放送とBGM放送が同時に行われたときに、BGM放送をどのように制御するかを設定します。

開始チャイム : 放送を開始するときに鳴らすチャイム音源を設定します。

終了チャイム : 放送を終了するときに鳴らすチャイム音源を設定します。

モード : 作動表示灯の点灯方法を設定します。(「種類」で「作動表示灯」を設定したときこの項目のみ)

[業務放送動作設定の開始のしかた]

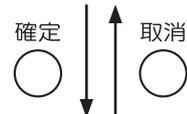
1 業務動作設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「1 ギョウムハウソウドウサ」を選択する。

2 確定キーを押す。

放送動作の種類選択画面が表示されます。

業務動作設定メニュー画面

▶1 ギョウムハウソウドウサ
2 ユウセント



下記「放送動作の種類選択のしかた」へ

◎ 放送動作の種類選択

放送動作の種類を選択します。
選択項目は以下のとおりです。

本体放送 : FS-1000 本体からの放送を設定します。

非常 RM1 ~ 4 : 非常用リモートマイクからの放送を設定します。

業務 RM1 ~ 4 : 業務用リモートマイクからの放送を設定します。

接点 RM : 接点式リモートマイクからの放送を設定します。

タイマー : タイマー起動による放送を設定します。

電話 PG : 電話ページングを設定します。

EX マイク : 外部マイクによる放送を設定します。

作動表示灯 : 放送階選択スイッチの作動表示灯の点灯方法を設定します。

[放送動作の種類選択のしかた]

3 放送動作の種類選択画面で上下シフトキーを押して、放送動作の種類を選択する。

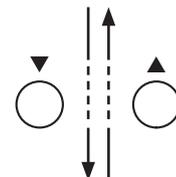
選択できる放送動作の種類は、上記のとおりです。

放送動作の種類選択画面

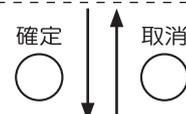
<ギョウムハウソウドウサ>
[シュルイ] ホンタイ



<ギョウムハウソウドウサ>
[シュルイ] ヒジ ヨウRM1



<ギョウムハウソウドウサ>
[シュルイ] ヒョウジ トウ



P. 88 「BGM 制御設定のしかた」または P. 90 「作動表示灯のモード設定のしかた」へ

4 確定キーを押す。

「本体放送」～「EX マイク」までを選択したときは、BGM 制御設定画面が表示されます。

「作動表示灯」を選択したときは、モード設定画面が表示されます。

○ BGM 制御設定

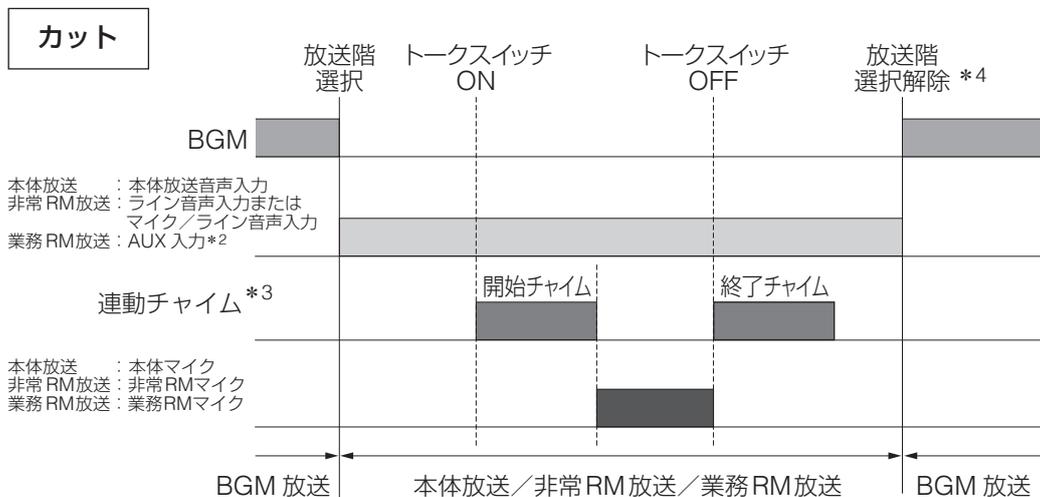
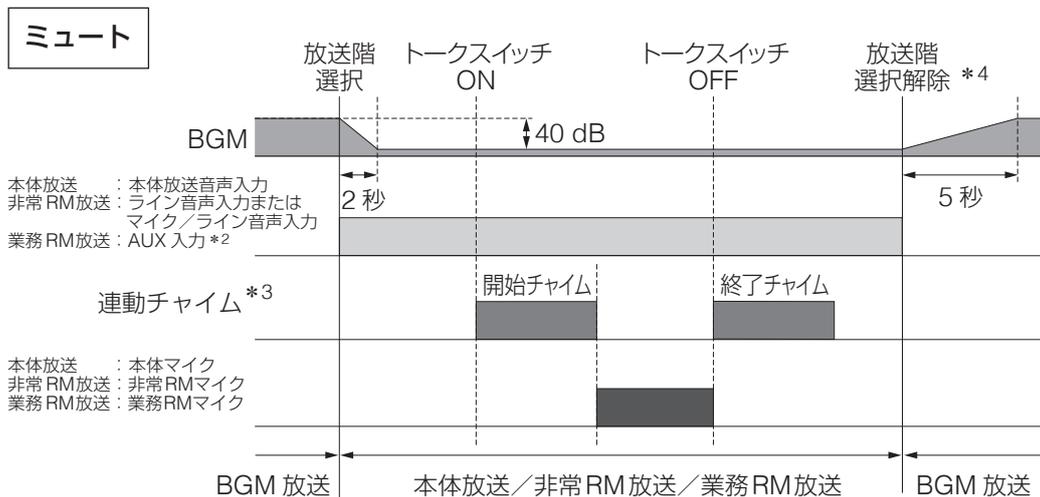
BGM 放送には優先度の設定がありません。各音源に対して設定できるBGM制御の種類は、下表のとおりです。

音源	BGM 制御の種類					参照ページ
	ミュート	カット	制御なし	アナキーパ	ボイススイッチ	
本体放送	○	○	○	○	○	下記
非常 RM 放送	○	○	○	○	○	
業務 RM 放送	○	○	○	○	—	
外部マイク放送	○	○	○	—	○	P. 85
接点式 RM 放送	○	○	○	—	—	P. 86
タイマー放送	○	○	○	—	—	
電話ページング放送	○	○	○	—	—	
緊急放送	—	○	—	—	—	P. 87

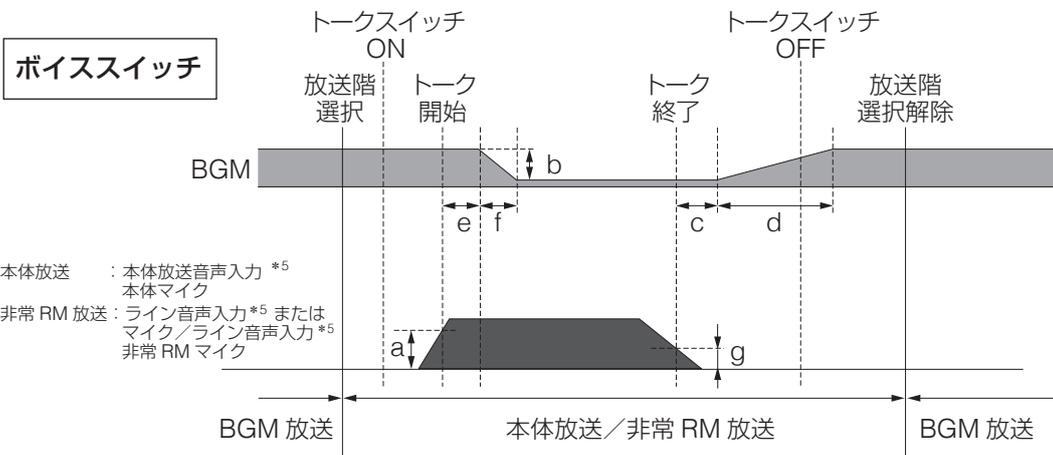
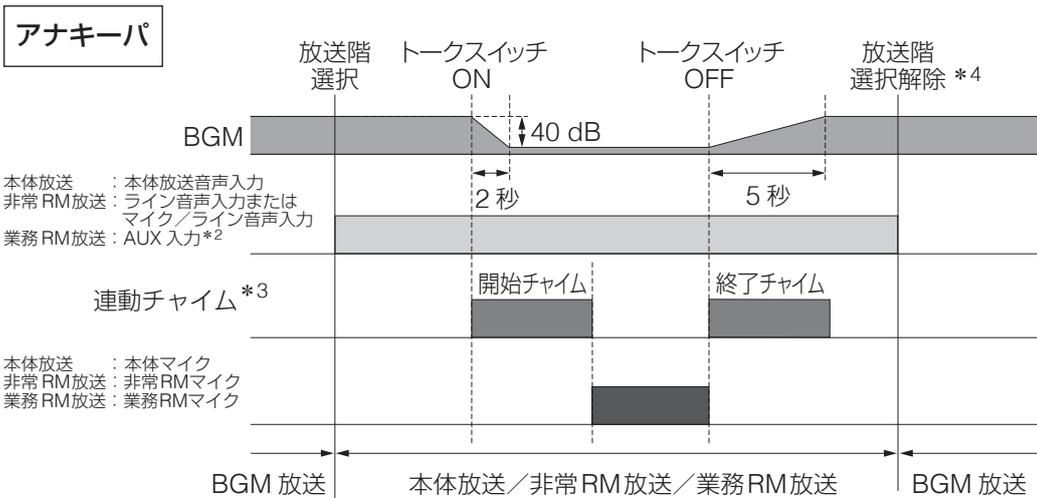
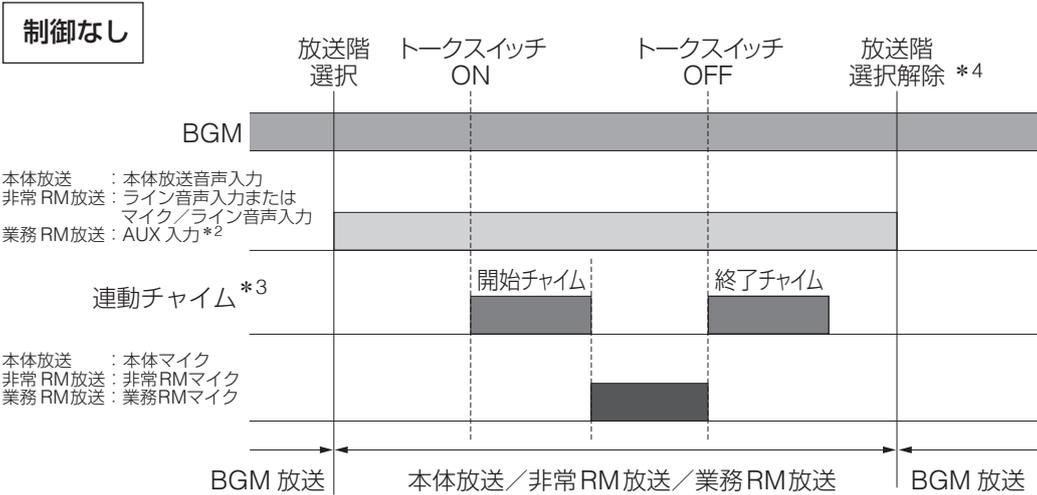
(1) 本体放送、非常 RM 放送、業務 RM 放送の場合

制御の種類は以下のとおりです。ただし、業務 RM 放送には「ボイススイッチ」はありません。

- ・ミュート*1
- ・カット
- ・制御なし（設定画面上は「カットナシ」）
- ・アナキーパ*1
- ・ボイススイッチ（設定画面上は「ボイス SW」）



※ 脚注 (*1 ~ *4) については P. 87 を参照してください。



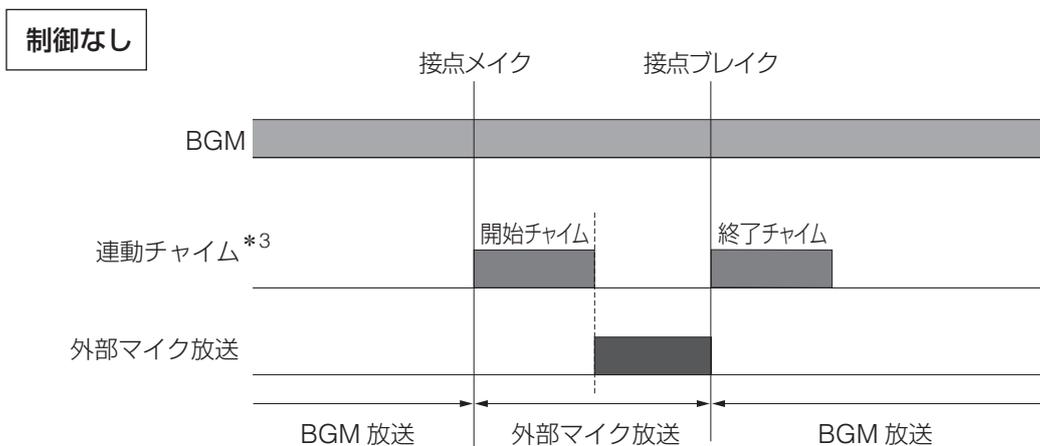
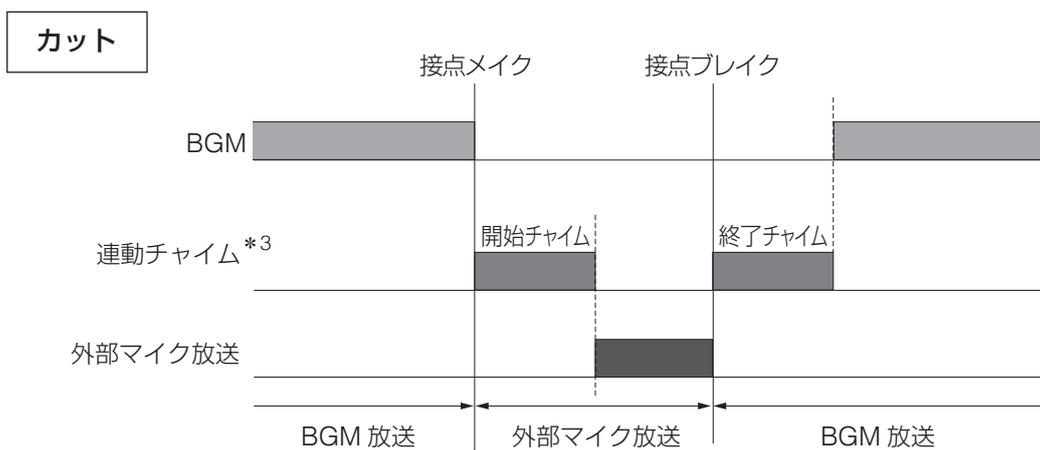
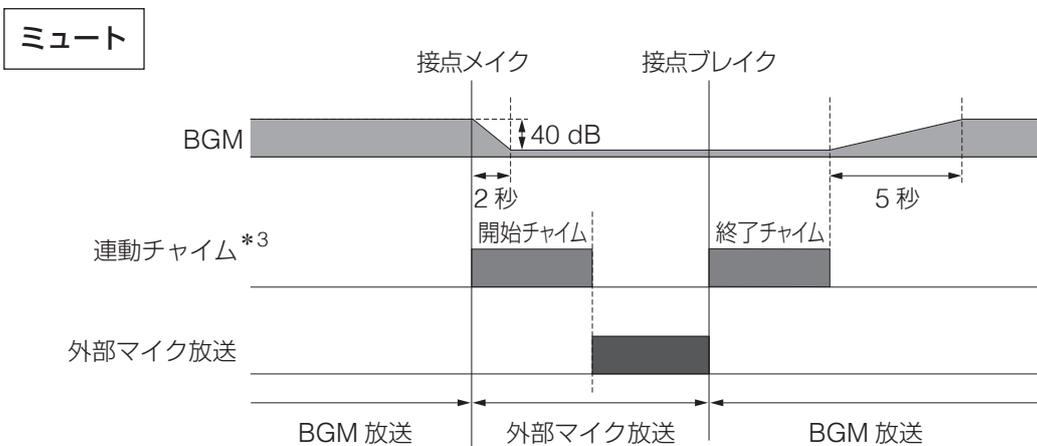
	パラメーター	設定範囲	初期値
a	感度	-40 ~ -1 dB	-30 dB
b	減衰方法	ミュート、カット	ミュート
	BGM 減衰量	減衰方法がミュートの場合 : -50 ~ -10 dB 減衰方法がカットの場合 : -∞ (固定)	-40 dB —
c	ホールド時間	1 ~ 10 秒	2 秒
d	BGM 復帰時間	0 ~ 10 秒	1 秒
e	減衰開始時間	0 ~ 10 秒	0 秒
f	減衰時間	0 ~ 10 秒	0 秒
g	復帰開始感度	-50 ~ 0 dB	-40 dB

※ ボイススイッチには連動チャイムはありません。
 連動チャイムを使用する場合は、アナキーパを利用してください。

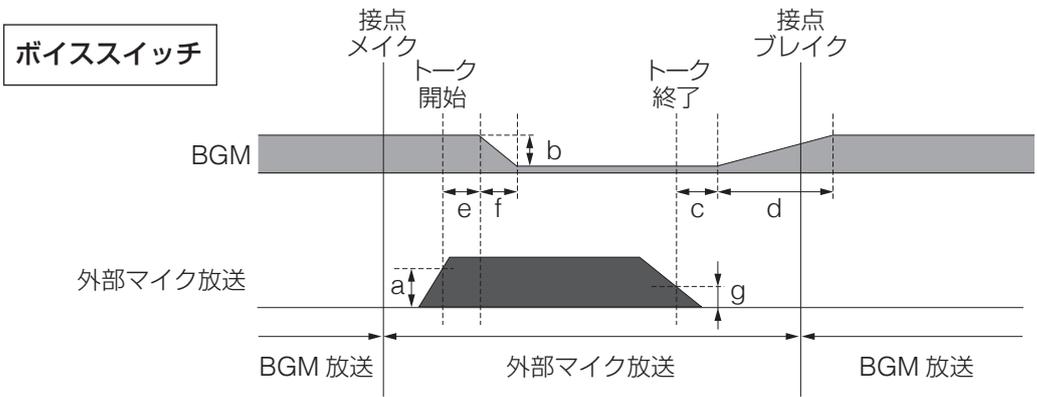
※ 脚注 (*3 ~ *5) については P. 87 を参照してください。

(2) 外部マイク放送の場合
 制御の種類は以下のとおりです。

- ・ミュート*1
- ・カット
- ・制御なし（設定画面上は「カットナシ」）
- ・ボイススイッチ（設定画面上は「ボイス SW」）



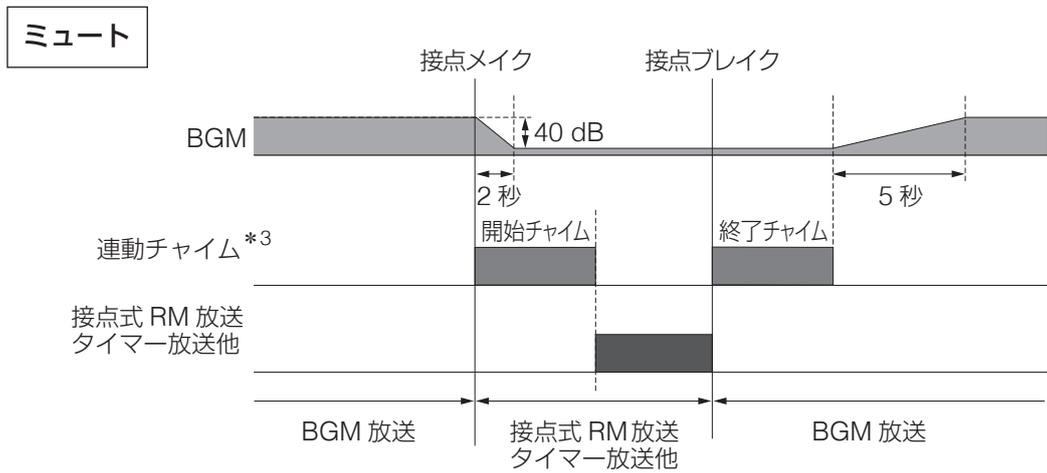
※ 脚注 (*1、*3) については P. 87 を参照してください。



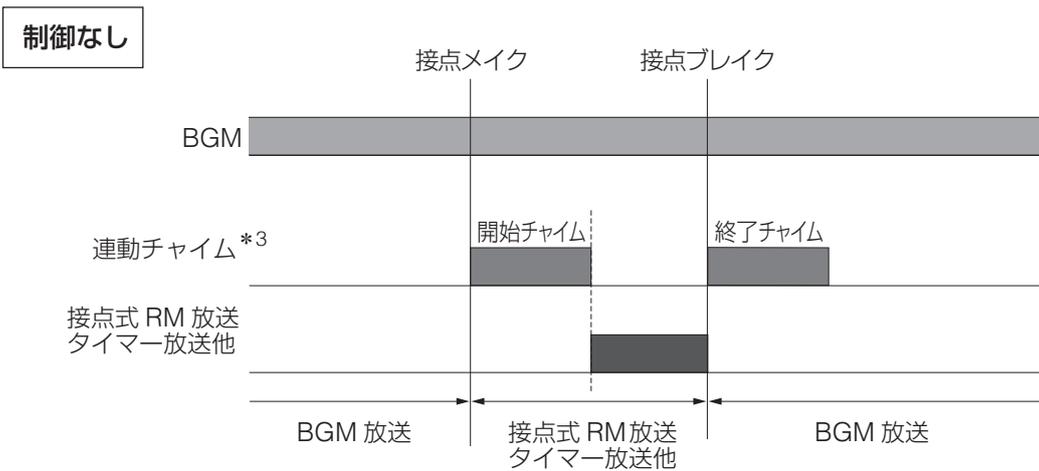
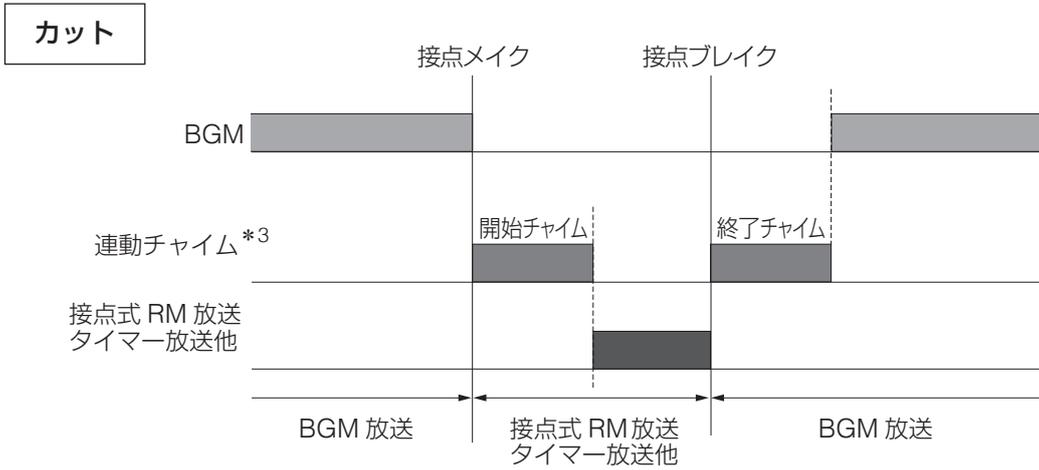
	パラメーター	設定範囲	初期値
a	感度	-40 ~ -1 dB	-30 dB
b	減衰方法	ミュート、カット	ミュート
	BGM 減衰量	減衰方法がミュートの場合：-50 ~ -10 dB 減衰方法がカットの場合：-∞ (固定)	-40 dB —
c	ホールド時間	1 ~ 10 秒	2 秒
d	BGM 復帰時間	0 ~ 10 秒	1 秒
e	減衰開始時間	0 ~ 10 秒	0 秒
f	減衰時間	0 ~ 10 秒	0 秒
g	復帰開始感度	-50 ~ 0 dB	-40 dB

※ ボイススイッチには連動チャイムはありません。
連動チャイムを使用する場合は、アナキーパを利用してください。

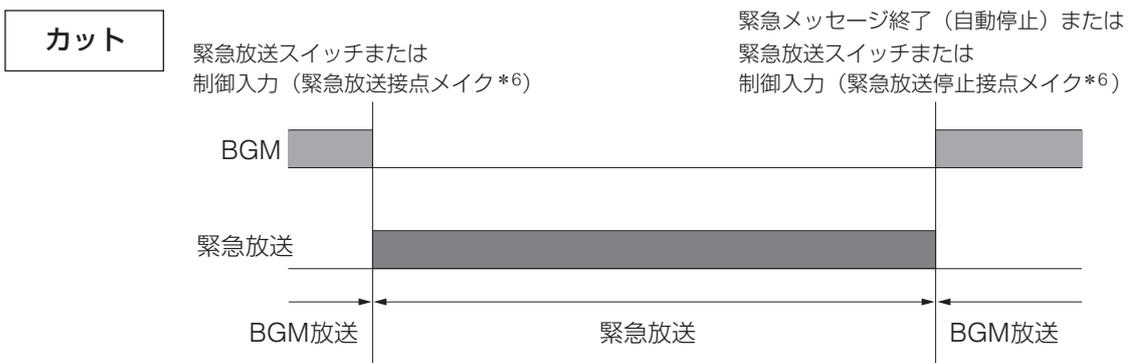
- (3) 接点式 RM 放送、タイマー放送、電話ページング放送の場合
制御の種類は以下のとおりです。
- ・ミュート*¹
 - ・カット
 - ・制御なし（設定画面上は「カットナシ」）



※ 脚注 (*¹、*³) については次ページを参照してください。



- (4) 緊急放送の場合
「カット」で固定となります。
緊急放送には連動チャイムはありません。



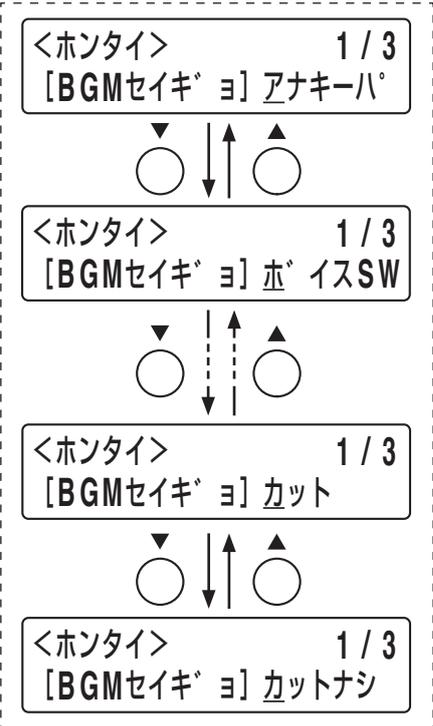
- *1 減衰 (2 秒)・復旧時間 (5 秒)・減衰量 (-40 dB) は固定です。
- *2 RM-200F で AUX 入力を使用する場合。
- *3 開始/終了チャイムを「未使用」に設定しているときは、トークスイッチ ON/OFF 時または接点メイク/ブレイク時にチャイム音を鳴らしません。
- *4 以下の場合、業務用リモコンのマイク放送を終了すると、自動的に放送階選択が解除されます。
 - RM-200F の AUX 入力未使用の場合
 - RM-200FW の場合
- *5 あらかじめ音声が入力されている場合は、放送階選択が行われた時点でボイススイッチ機能が働きます。
- *6 接点ブレイク時は変化ありません。

[BGM 制御設定のしかた]

5 BGM 制御設定画面で上下シフトキーを押して、BGM の制御方法を設定する。

設定できる制御方法は、放送の種類により異なります。
(P. 83 の表参照。)

BGM 制御設定画面



(「ボイス SW」を選択した場合)

手順 3 (P. 82) へ

(「ボイス SW」以外を選択した場合)

次ページ「開始・終了チャイムの設定のしかた」へ

6 確定キーを押す。

6-1 「ボイス SW」を選択した場合

手順 3 (P. 82) に戻ります。

6-2 「ボイス SW」以外を選択した場合

開始チャイム選択画面が表示されます。

○ 開始・終了チャイムの設定

放送を開始または終了するときに鳴らすチャイム音源を設定します。
使用しない放送については、この設定は不要です。
チャイムの音源と音源番号は以下のとおりです。

- 0：未使用
- 1：上り4音
- 2：下り4音
- 3：2音
- 4：ゴング

[開始・終了チャイムの設定のしかた]

7 開始チャイム設定画面で、チャイム音源（番号）を設定する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力します。
チャイムの音源番号は、上記のとおりです。

8 確定キーを押す。

終了チャイム設定画面が表示されます。

9 開始チャイムと同様に、チャイム音源を設定する。

10 確定キーを押す。

手順3（P. 82）の放送動作の種類選択画面に戻ります。

11 手順3～10を繰り返して、すべての放送動作について設定をする。

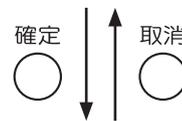
12 すべての放送動作について設定が終わったら、メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

開始チャイム設定画面

<ホンタイ> 2 / 3
[カインチャイム] 1

入力： ⁰ ~ ⁴



終了チャイム設定画面

<ホンタイ> 3 / 3
[シュウリョウチャイム] 1

入力： ⁰ ~ ⁴



放送動作の種類選択画面

<ギョウムハウソウトウサ>
[シュルイ] ホンタイ

(次に設定する放送動作の種類があるとき)

手順3～10を繰り返す。

(次に設定する放送動作の種類がないとき)



システム設定メニュー画面

▶ 1 ショキセッテイ
2 キキコウセイセッテイ

○ 作動表示灯のモード設定

FS-1000 本体や非常用リモコンの放送階選択スイッチの作動表示灯の点灯方法を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

- 通常 : 本体以外の機器や制御入力などによる放送中も作動表示灯が点灯または点滅します。
自機放送中のみ : 自機放送中の作動表示灯のみ点灯します。
回線動作中 : 本体以外の機器や制御入力などによる放送中も作動表示灯が点灯します。

※ 表示モードの設定による具体的な動作の違いについては、別冊の操作説明書「作動表示灯の表示」をお読みください。

[作動表示灯のモード設定のしかた]

5 モード設定画面で上下シフトキーを押して、作動表示灯の点灯方法を設定する。
「ツウジョウ」「ジキノミ」「カイセンドウサ」から選択します。

モード設定画面

<サト^ド ウヒョウジ^ト トウ>1/1
[モード] ツウジ^{ョウ}

入力: ○○

↓ 確定 ○

放送動作の種類選択画面

<ギ^{ョウ} ムホウソウト^ウ サ>
[シュルイ] ヒョウジ^ト

(次に設定する放送動作の種類があるとき)

手順3～10を繰り返す。

(次に設定する放送動作の種類がないとき)

↓ メニュー ○

システム設定メニュー画面

▶1 ショキセッテイ
2 キキコウセイセッテイ

6 確定キーを押す。
手順3 (P. 82) の放送動作の種類選択画面に戻ります。

7 手順3～10を繰り返して、すべての放送動作について設定をする。

8 すべての放送動作について設定が終わったら、メニューキーを押す。
システム設定メニュー画面に戻ります。

● 優先度設定 (1-5-2)

各放送 (BGM 放送、RM-1100 同士の放送を除く) について放送の優先度を設定します。
優先度は Lv.1 (優先度高) ~ Lv.20 (優先度低) の範囲で設定可能です。
複数の放送の優先度を同じに設定することも可能です。
優先度についての詳細は、別冊の操作説明書「放送の優先度」をお読みください。

ご注意

- BGM 放送には優先度はありません。BGM 制御設定に従います。
(別冊の操作説明書「BGM 制御設定」)
- RM-1100 同士の優先度については、別冊の設置説明書「複数台接続時の優先順位の設定」をお読みください。

【優先度の設定のしかた】

1 業務動作設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「2 ユウセント」を選択する。

2 確定キーを押す。
放送の種類選択画面が表示されます。

3 上下シフトキーを押して、優先度を設定する放送の種類を選択する。

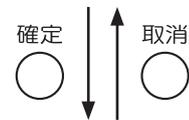
4 確定キーを押す。
手順 3 で選択した放送の優先度設定画面が表示されます。

5 優先度を設定する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。
設定できる優先度は 01 (優先度高) ~ 20 (優先度低) です。

6 確定キーを押す。
手順 3 の放送の種類選択画面に戻ります。

業務動作設定メニュー画面

▶2 ユウセント
3 トウイツユウセンセイギョ

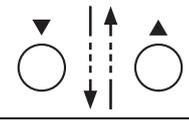


放送の種類選択画面

<ユウセント>
[シュルイ] ホンタイ



<ユウセント>
[シュルイ] ヒジ ヨウ RM1



<ユウセント>
[シュルイ] キンキュウホウソウ1



(例) 本体放送優先度設定画面

<ホンタイ> 1 / 1
[ユウセント] 01

入力 : ○○⁰○⁰~○⁹

カーソル移動 : ○○



放送の種類選択画面

<ユウセント>
[シュルイ] ホンタイ

7 手順 3～6 を繰り返して、すべての放送について設定をする。

(次に設定する放送の種類があるとき)

手順 3～6 を繰り返す。

8 すべての放送について設定が終わったら、メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

(次に設定する放送の種類がないとき)



▶ 1 ショキセットイ
2 キキコウセイセットイ

● 同一優先度制御設定 (1-5-3)

同じ優先度の放送が複数同時に行われたときの動作を設定します。複数の放送を同じ優先度に設定していないときは、この設定は不要です。

設定項目は以下のとおりです。

後取り優先：後に起動した方の放送が優先されます。

先取り優先：先に起動した方の放送が優先されます。

先に始めた放送が終了するまで、他の同一優先度の音源は放送できません。

[同一優先度制御の設定のしかた]

1 業務動作設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「3 ドウイツユウセンセイギョ」を選択する。

業務動作設定メニュー画面

▶ 3 ドウイツユウセンセイギョ
4 ヒジ ヨウダ ン24V

2 確定キーを押す。

同一優先度制御設定画面が表示されます。



同一優先度制御設定画面

<ドウイツユウセンセイギョ>
[ユウセント] 20

3 優先度を設定する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

入力 : ○ ○ ○ ~ ○ ○

カーソル移動 : ○ ○

4 確定キーを押す。

優先制御設定画面が表示されます。



優先制御設定画面

<ユウセント 01>
[ユウセンセイギョ] アトドリ

5 上下シフトキーを押して、「アトドリ」または「サキドリ」を選択する。



<ユウセント 01>
[ユウセンセイギョ] サキドリ

6 確定キーを押す。

手順 3 の同一優先度制御設定画面に戻ります。

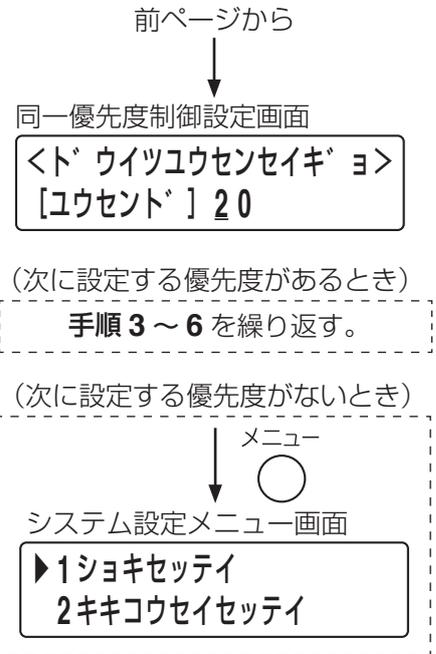
確定



次ページへ

7 手順 3 ~ 6 を繰り返して、設定が必要なすべての優先度について設定をする。

8 すべての同一優先度の制御設定が終わったら、メニューキーを押す。
システム設定メニュー画面に戻ります。



● 非常断 24 V 出力設定 (1-5-4)

非常断 24 V 出力端子の業務放送時* の動作を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

継続 : 業務放送中でも継続して DC24 V を供給します。

カット : 業務放送中に DC24 V の供給を遮断します。

緊急カット : 通常放送モードの業務放送時は DC24 V を供給、業務緊急モードの業務放送時は DC24 V の供給を遮断します。

* 非常放送中は「カット」、停電待機中は「継続」で固定となります。

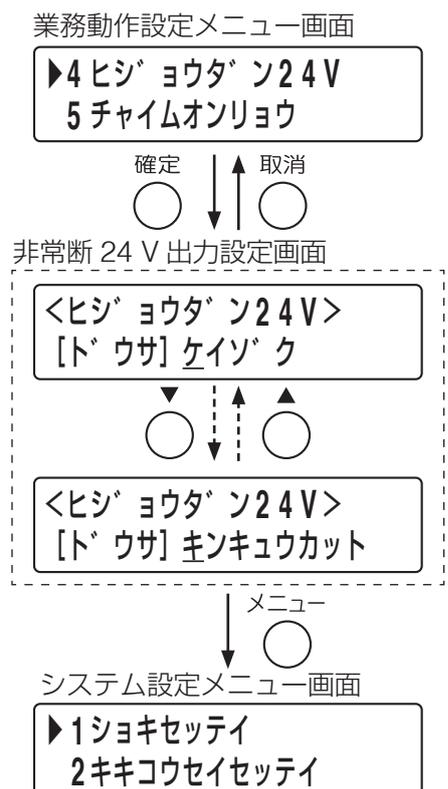
[非常断 24 V 出力の設定のしかた]

1 業務動作設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「4 ヒジヨウダン 24 V」を選択する。

2 確定キーを押す。
非常断 24 V 出力設定画面が表示されます。

3 上下シフトキーで「ケイゾク」「カット」または「キンキュウカット」を選択する。

4 メニューキーを押す。
システム設定メニュー画面に戻ります。



● チャイム音量の設定 (1-5-5)

本体に内蔵されているチャイム音源の再生時の音量を設定します。
設定項目は次のとおりです。

- チャイム 1：上り 4 音
- チャイム 2：下り 4 音
- チャイム 3：2 音
- チャイム 4：ゴング

チャイム 1～4 の音量を個別または一括で設定できます。
音量の設定範囲は -30 ～ 0 dB です。
音量を設定した後に、モニタースピーカーで試聴することもできます。

[チャイム音量の設定のしかた]

1 業務動作設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「5 チャイムオンリョウ」を選択する。

2 確定キーを押す。

チャイムの種類選択画面が表示されます。

3 上下キーを押して、音量設定するチャイムの種類を選択する。

選択できるチャイムの種類は、「イッカツ」または「チャイム 1」～「チャイム 4」のいずれか 1 つです。「イッカツ」を選択したときはチャイム 1～4 のすべての音量が同じレベルに設定できます。

4 確定キーを押す。

チャイム音量設定画面が表示されます。

5 音量を設定する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

6 確定キーを押す。

試聴画面が表示されます。

業務動作設定メニュー画面

▶5 チャイムオンリョウ
6 メッセージ オンリョウ

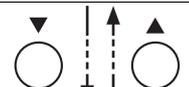


チャイムの種類選択画面

<チャイムオンリョウ>
[シュルイ] イッカツ



<チャイムオンリョウ>
[シュルイ] チャイム1



<チャイムオンリョウ>
[シュルイ] チャイム4



チャイム音量設定画面

<イッカツ>
[オンリョウ] -10dB

入力 : ○○⁰~⁹○

カーソル移動 : ○○



試聴画面

シチョウ?
Y→カクテイ N→トリケシ

↓
次ページへ

6-1 試聴する場合

確定キーを押します。
 選択しているチャイムの再生が開始され、モニタースピーカーで試聴できます。

メ モ

- チャイム種類で一括を選択しているときはチャイム1が再生されます。
- 再生中のチャイムを停止するときは取消キーを押します。

6-2 試聴が終わったときと試聴しない場合

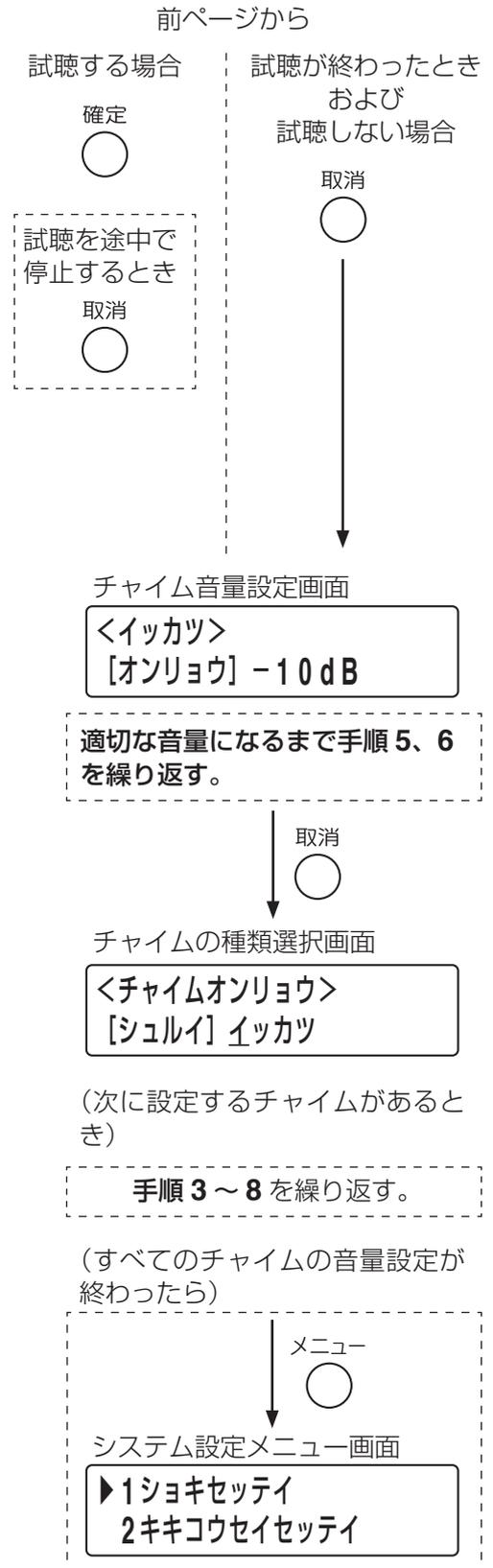
取消キーを押します。チャイム音量設定画面に戻ります。

7 手順5、6を繰り返して音量の設定を確定する。

8 取消キーを押す。
 チャイムの種類選択画面に戻ります。

9 手順3～8を繰り返して、すべてのチャイムについて設定をする。

10 すべてのチャイムの設定が終わったら、メニューキーを押す。
 システム設定メニュー画面に戻ります。



● メッセージ音量の設定 (1-5-6)

本体に内蔵されている緊急メッセージ音源の再生時の音量を設定します。
 メッセージ 1 ~ 10 の音量を個別または一括で設定できます。
 メッセージの内容は P. 56 の「工場出荷時の緊急メッセージ一覧」をお読みください。
 音量の設定範囲は -30 ~ 0 dB です。
 音量を設定した後に、モニタースピーカーで試聴することもできます。

[メッセージ音量の設定のしかた]

1 業務動作設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「6 メッセージオンリョウ」を選択する。

2 確定キーを押す。

メッセージの種類選択画面が表示されます。

3 上下キーを押して、音量設定するメッセージの種類を選択する。

選択できるメッセージの種類は、「イッカツ」または「メッセージ 1」 ~ 「メッセージ 10」のいずれか 1 つです。「イッカツ」を選択したときはメッセージ 1 ~ 10 のすべての音量が同じレベルに設定できます。

4 確定キーを押す。

メッセージ音量設定画面が表示されます。

5 音量を設定する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

6 確定キーを押す。

試聴画面が表示されます。

業務動作設定メニュー画面

▶6 メッセージ オンリョウ
7 テンケンオンゲ ンオンリョウ

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

メッセージの種類選択画面

<メッセージ オンリョウ>
[シュルイ] イッカツ

▼ ↑ ▲
○ ↓ ○

<メッセージ オンリョウ>
[シュルイ] メッセージ 1

▼ ↑ ▲
○ ↓ ○

<メッセージ オンリョウ>
[シュルイ] メッセージ 10

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

メッセージ音量設定画面

<イッカツ>
[オンリョウ] -10 dB

入力 : ○[▲]○[▼]○⁰~○⁹

カーソル移動 : ○[▲]○[▼]

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

試聴画面

シチョウ?
Y→カクテイ N→トリケシ

↓
次ページへ

6-1 試聴する場合

確定キーを押します。
 選択しているメッセージの再生が開始され、モニター
 スピーカーで試聴できます。

メモ

- メッセージ種類で一括を選択しているときはメッ
 セージ1が再生されます。
- 再生中のメッセージを停止するときは取消キーを押
 します。

6-2 試聴が終わったときと試聴しない場合

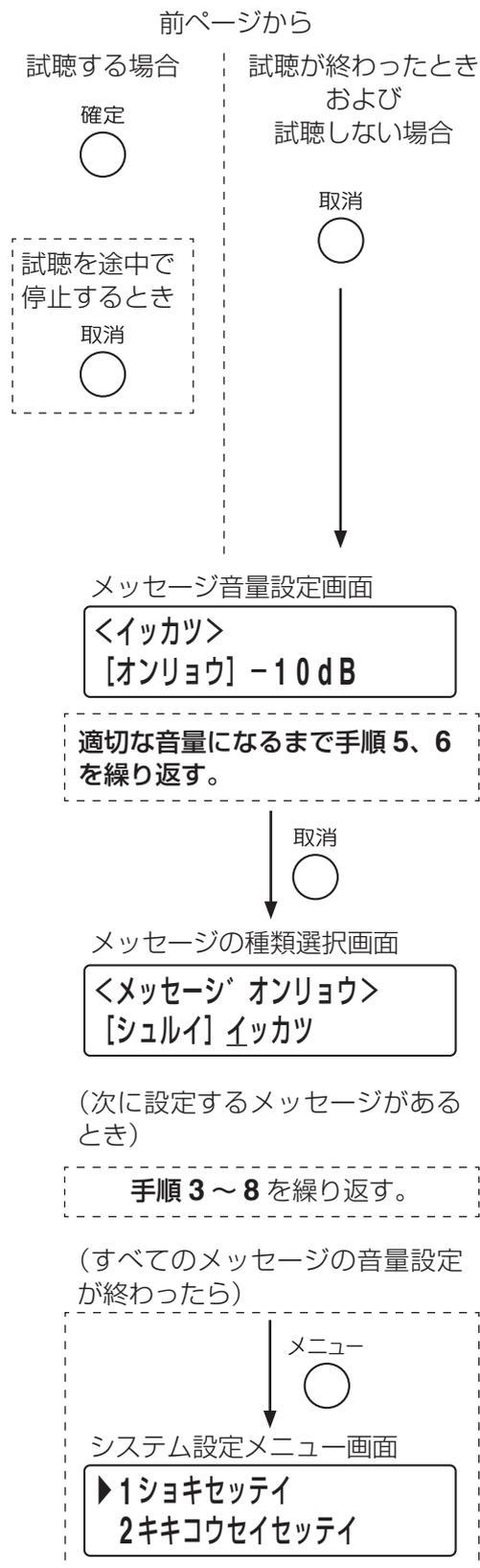
取消キーを押します。メッセージ音量設定画面に戻
 ります。

7 手順5、6を繰り返して音量の設定を確定する。

8 取消キーを押す。
 メッセージの種類選択画面に戻ります。

9 手順3～8を繰り返して、すべてのメッセージ
 について設定をする。

10 すべてのメッセージの設定が終わったら、メ
 ニューキーを押す。
 システム設定メニュー画面に戻ります。



● 点検音源音量の設定 (1-5-7)

本体に内蔵されている点検音源の再生時の音量を設定します。
 点検開始または点検中の音源の音量を個別または一括で設定できます。
 音量の設定範囲は次のとおりです。
 点検開始音源（アナウンス）：-20～0 dB
 点検中音源（環境音）：-30～0 dB
 音量を設定した後に、モニタースピーカーで試聴することもできます。

[点検音源音量の設定のしかた]

- 1** 業務動作設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「7 テンケンオンゲ^ン オンリョウ
8 ホ^ウ イススイッチセツテイ」を選択する。
- 2** 確定キーを押す。
点検音源の種類選択画面が表示されます。
- 3** 上下キーを押して、設定する点検音源の種類を選択する。
選択できる点検音源の種類は、「イッカツ」、「テンケンカイシ」
または「テンケンチュウ」のいずれか1つです。
「イッカツ」を選択したときは点検開始と点検中の音源の両方が
同じ音量に設定できます。
- 4** 確定キーを押す。
点検音源音量設定画面が表示されます。
- 5** 音量を設定する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキー
でカーソルを移動します。
設定範囲は上記のとおりです。
[× 毛]
「イッカツ」を選択したときの設定範囲は -20～0 dB です。
- 6** 確定キーを押す。
試聴画面が表示されます。

業務動作設定メニュー画面

▶7 テンケンオンゲ^ン オンリョウ
8 ホ^ウ イススイッチセツテイ

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

点検音源の種類選択画面

<テンケンオンゲ^ン オンリョウ>
[シュルイ] イッカツ

▼ ↑
○ ↓ ○

<テンケンオンゲ^ン オンリョウ>
[シュルイ] テンケンカイシ

▼ ↑
○ ↓ ○

<テンケンオンゲ^ン オンリョウ>
[シュルイ] テンケンチュウ

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

点検音源音量設定画面

<イッカツ>
[オンリョウ] -10 dB

入力 : ○[△] ○[▽] ○⁰ ~ ○⁹

カーソル移動 : ○[←] ○[→]

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

試聴画面

シチョウ?
Y→カクテイ N→トリケシ

↓
次ページへ

6-1 試聴する場合

確定キーを押します。
 選択している点検音源の再生が開始され、モニタースピーカーで試聴できます。

☒ モ

- 点検音源種類で一括を選択しているときは点検開始の音源が再生されます。
- 再生中の点検音源を停止するときは取消キーを押します。

6-2 試聴が終わったときと試聴しない場合

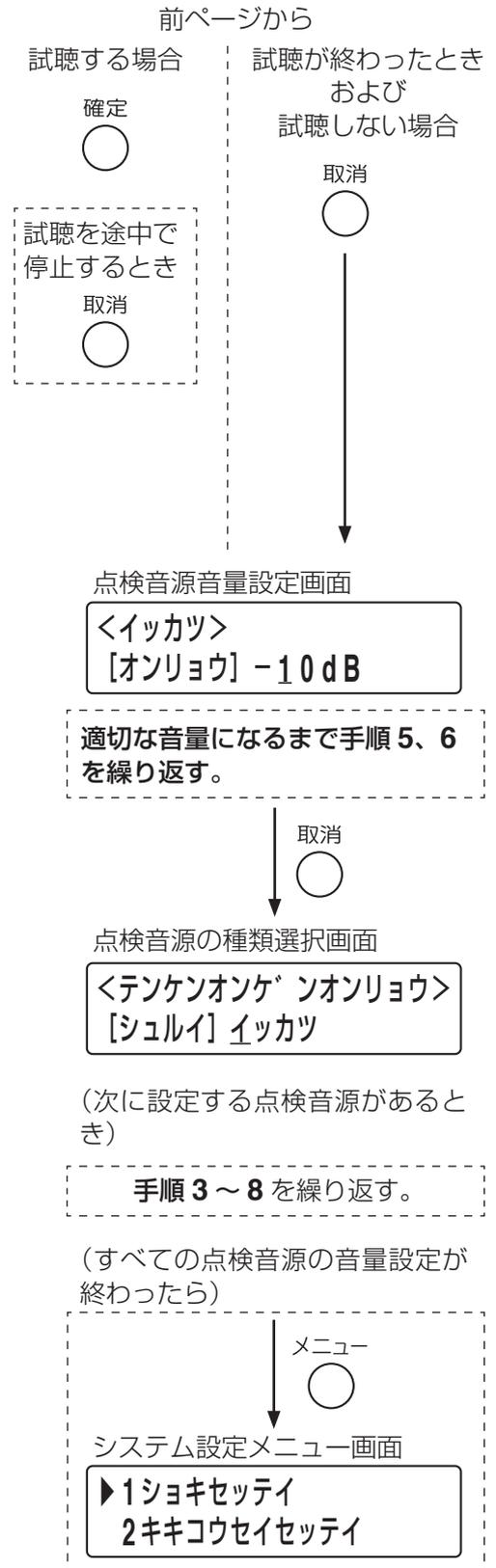
取消キーを押します。点検音源音量設定画面に戻ります。

7 手順 5、6 を繰り返して音量の設定を確定する。

8 取消キーを押す。
 点検音源の種類選択画面に戻ります。

9 手順 3～8 を繰り返して、すべての点検音源について設定をする。

10 すべての点検音源の設定が終わったら、メニューキーを押す。
 システム設定メニュー画面に戻ります。

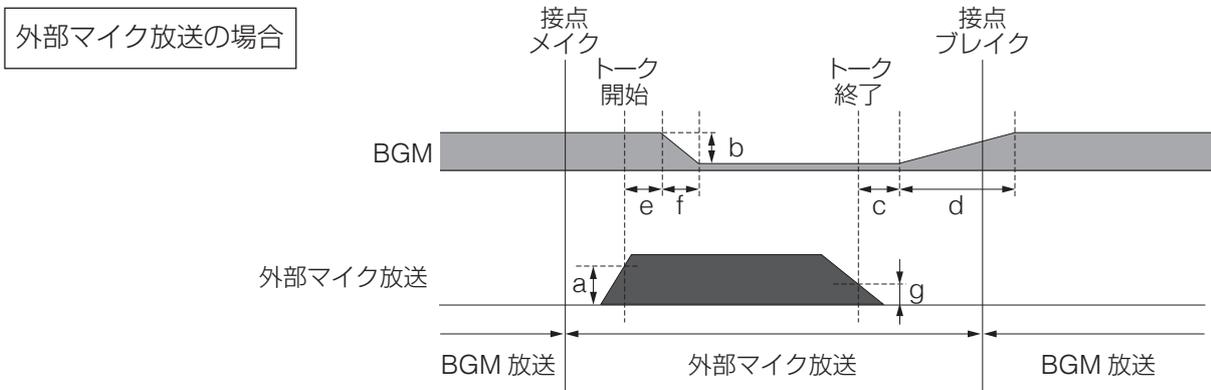
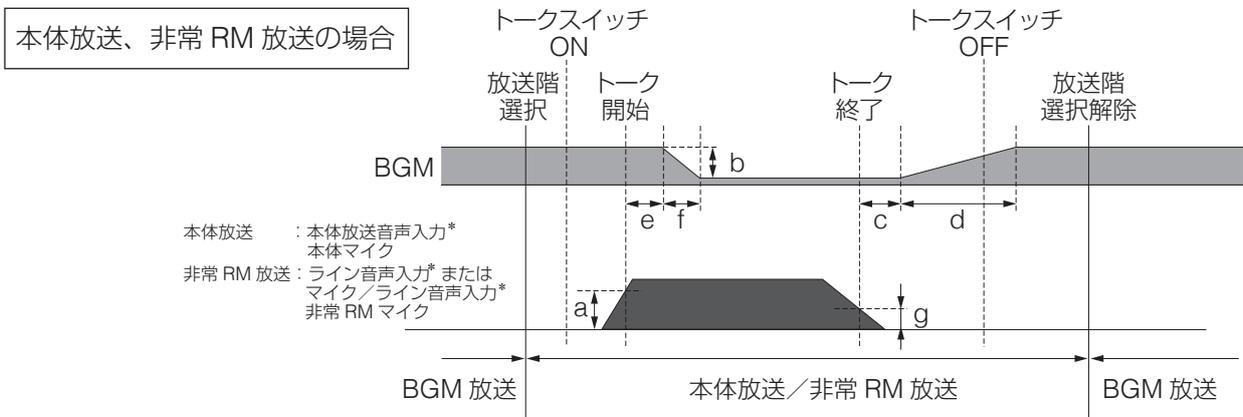


● ボイススイッチ設定 (1-5-8)

BGM 制御を行うボイススイッチの動作を設定します。
 本体放送と非常 RM 放送について個別に設定できます。
 設定項目は次のとおりです。

- 種類 : 放送の種類を選択します。
- 感度 : ボイススイッチが機能する入力信号のレベルを設定します。
- 減衰方法 : BGM を減衰させる方法を設定します。
- BGM 減衰量 : ボイススイッチが機能したときの BGM の減衰量を設定します。
- ホールド時間 : 入力信号がなくなった後に BGM が元のレベルへ復帰開始するまでの時間を設定します。
- BGM 復帰時間 : BGM が元のレベルへ復帰するまでの時間を設定します。
- 減衰開始待ち時間 : トーク開始から減衰が始まるまでの時間を設定します。
- 減衰時間 : 元のレベルから BGM 減衰量で設定されたレベルに低下するまでの時間を設定します。
- 復帰開始感度 : ボイススイッチを終了する入力信号のレベルを設定します。

ボイススイッチの動作は下図のとおりです。



	パラメーター	設定範囲	初期値
a	感度	-40 ~ -1 dB	-30 dB
b	減衰方法	ミュート、カット	ミュート
	BGM 減衰量	減衰方法がミュートの場合 : -50 ~ -10 dB 減衰方法がカットの場合 : -∞ (固定)	-40 dB —
c	ホールド時間	1 ~ 10 秒	2 秒
d	BGM 復帰時間	0 ~ 10 秒	1 秒
e	減衰開始待ち時間	0 ~ 10 秒	0 秒
f	減衰時間	0 ~ 10 秒	0 秒
g	復帰開始感度	-50 ~ 0 dB	-40 dB

※「ボイススイッチ」には連動チャイムはありません。
 連動チャイムを使用する場合は、BGM 制御設定を「アナキーパ」にしてください。

* あらかじめ音声が入力されている場合は、放送階選択が行われた時点でボイススイッチ機能が働きます。

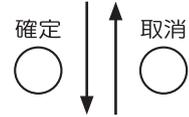
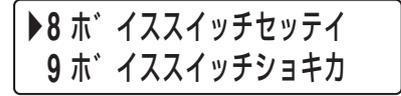
[ボイススイッチ設定のしかた]

× モ

ボイススイッチの各設定項目（以下の手順 6、10、12、14）は、数値変更後に確定キーを押し、次の設定項目に移った時点で音声に反映されます。実際に放送を行いながら設定することができます。

1 業務動作設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「8 ボイススイッチセッテイ」を選択する。

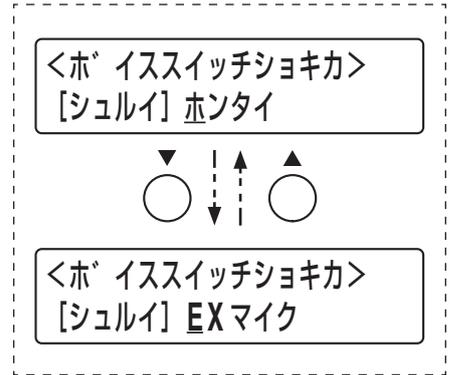
業務動作設定メニュー画面



2 確定キーを押す。

放送の種類選択画面が表示されます。

放送の種類選択画面

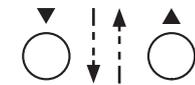


3 上下シフトキーを押してボイススイッチの設定をする放送の種類を選択する。

選択できる放送の種類は「ホンタイ」、「ヒジョウ RM1」～「ヒジョウ RM4」、または「EX マイク」です。

× モ

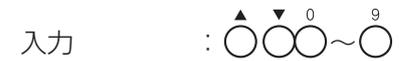
非常RMは、本体構成で設定している台数の範囲で選択できます。



4 確定キーを押す。

感度設定画面が表示されます。

感度設定画面



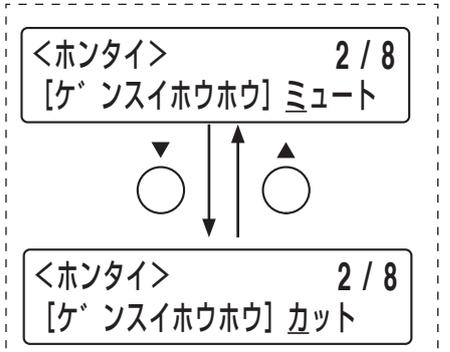
5 感度を設定する。

感度は -40 ~ -1 dB の範囲で設定できます。上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

6 確定キーを押す。

減衰方法設定画面が表示されます。

減衰方法設定画面



7 上下シフトキーを押して、減衰方法を「ミュート」または「カット」から選択する。

8 確定キーを押す。

8-1 減衰方法を「ミュート」に設定した場合

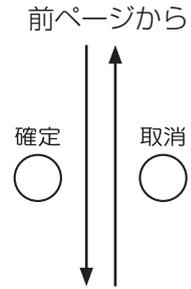
BGM 減衰量設定画面が表示されます。➡ 手順 9 に進んでください。

8-2 減衰方法を「カット」に設定した場合

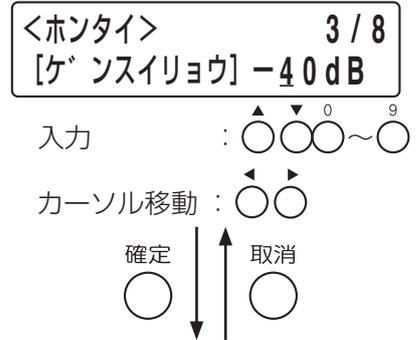
ホールド時間設定画面が表示されます。➡ 手順 11 に進んでください。

9 BGM 減衰量を設定する。

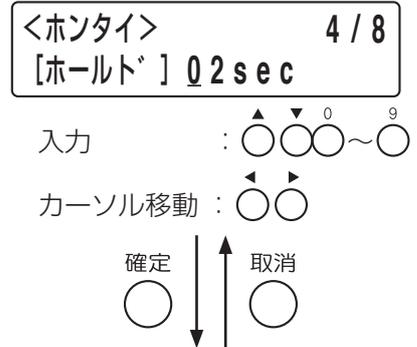
BGM 減衰量は -50 ~ -10 dB の範囲で設定できます。上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。



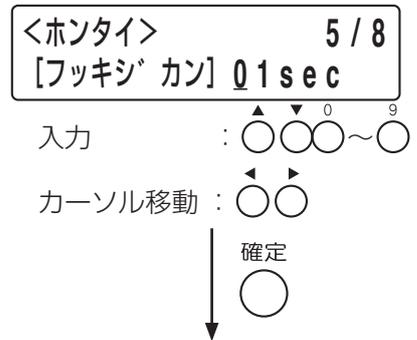
BGM 減衰量設定画面



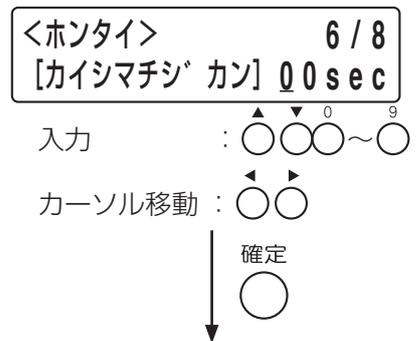
ホールド時間設定画面



BGM 復帰時間設定画面



減衰待ち開始時間設定画面



次ページへ

10 確定キーを押す。

ホールド時間設定画面が表示されます。

11 ホールド時間を設定する。

ホールド時間は 1 秒 ~ 10 秒の範囲で設定できます。上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

12 確定キーを押す。

BGM 復帰時間設定画面が表示されます。

13 BGM 復帰時間を設定する。

BGM 復帰時間は 0 秒 ~ 10 秒の範囲で設定できます。上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

14 確定キーを押す。

減衰待ち開始時間設定画面が表示されます。

15 減衰開始待ち時間を設定する。

減衰待ち開始時間は 0 秒 ~ 10 秒の範囲で設定できます。上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

16 確定キーを押す。

減衰時間設定画面が表示されます。

17 減衰時間を設定する。

減衰時間は0秒～10秒の範囲で設定できます。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

18 確定キーを押す。

復帰開始感度設定画面が表示されます。

19 復帰開始感度を設定する。

復帰開始感度は-50～0 dBの範囲で設定できます。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

☒ ☒

ボイススイッチを継続して機能させるために、通常、「復帰開始感度」は「感度」(P. 101の**手順5**の設定)よりも低い値に設定します。

20 確定キーを押す。

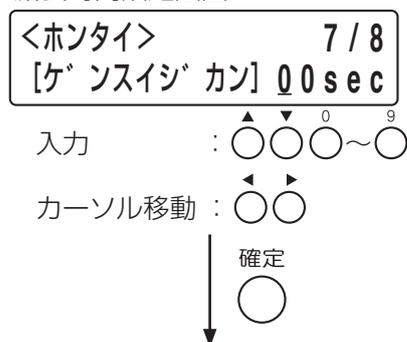
手順3 (P. 101) の放送の種類選択画面に戻ります。

21 他に設定する放送がある場合は、**手順3～20**を繰り返してすべての放送について設定する。

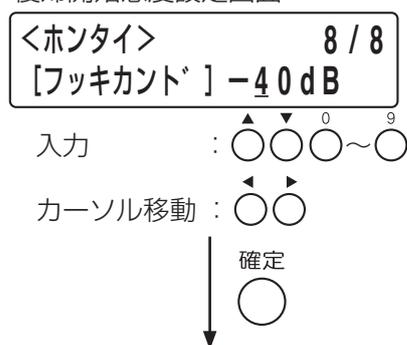
22 すべての設定が終わったら、メニューキーを押す。

システム設定メニュー画面に戻ります。

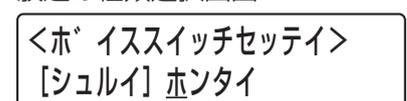
減衰時間設定画面



復帰開始感度設定画面



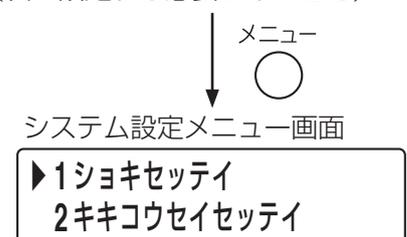
放送の種類選択画面



(他の放送についても設定する場合は)

手順3～20を繰り返す。

(次に設定する必要がないとき)



● ボイススイッチ初期化 (1-5-9)

BGM 制御を行うボイススイッチの設定を工場出荷時の設定に戻します。
 本体放送、非常 RM 放送、外部マイク放送について個別に初期化できます。
 工場出荷時の設定は以下のとおりです。

感度 : -30 dB
 減衰方法 : ミュート
 BGM 減衰量 : -40 dB
 ホールド時間 : 2 秒
 BGM 復帰時間 : 1 秒
 減衰開始時間 : 0 秒
 減衰時間 : 0 秒
 復帰開始感度 : -40 dB

[ボイススイッチ初期化のしかた]

- 1** 業務動作設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「9 ボイススイッチショキカ」を選択する。
- 2** 確定キーを押す。
放送の種類選択画面が表示されます。
- 3** 上下シフトキーを押してボイススイッチの設定を初期化する放送の種類を選択する。
 選択できる放送の種類は「ホンタイ」、「ヒジョウ RM1」～「ヒジョウ RM4」、または「EX マイク」です。
× モ
 非常 RM は、本体構成で設定している台数のみ選択できます。
- 4** 確定キーを押す。
確認画面が表示されます。
- 5** 確認の上、確定キーを押す。
ボイススイッチの設定値が初期化されます。
初期化が終了すると、放送の種類選択画面が表示されます。
- 6** 他に初期化する放送がある場合は、手順 3～5 を繰り返し初期化する。
- 7** すべての設定の初期化が終わったら、メニューキーを押す。
システム設定メニュー画面に戻ります。

業務動作設定メニュー画面

8 ボイススイッチセッテイ
 ▶ 9 ボイススイッチショキカ

確定 ↑ ↓ 取消

放送の種類選択画面

< ボイススイッチショキカ >
 [シュルイ] ホンタイ

▼ ↑

< ボイススイッチショキカ >
 [シュルイ] EX マイク

確定 ↑ ↓ 取消

確認画面

ボイススイッチショキカ?
 Y→カクテイ N→トリケシ

確定 ↓

放送の種類選択画面

< ボイススイッチショキカ >
 [シュルイ] ホンタイ

(他の放送についても初期化する場合は)

手順 3～5 を繰り返す。

(次に初期化する必要がないとき)

メニュー ↓

システム設定メニュー画面

▶ 1 ショキセッテイ
 2 キキコウセイセッテイ

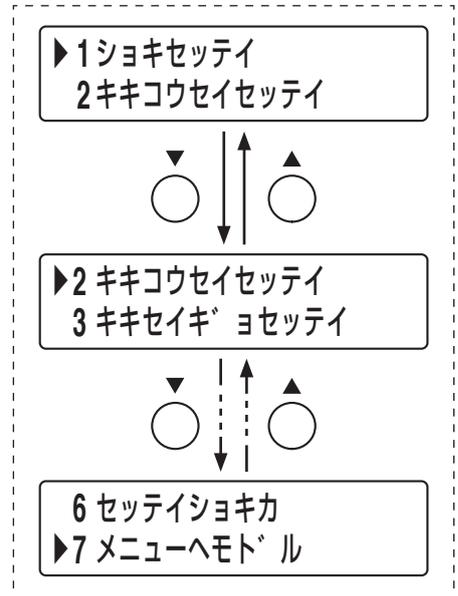
■ システム設定の終了 (1-7)

システム設定が完了したら「メニューへモデル」を選択し、設定した内容を保存して終了します。

[システム設定の終了のしかた]

1 システム設定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「7 メニューへモデル」を選択する。

システム設定メニュー画面



2 確定キーを押す。

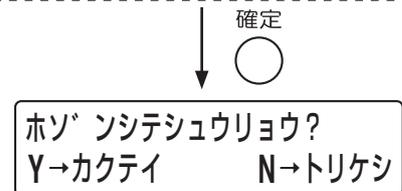
設定データを保存して終了する画面が表示されます。

メ モ

保存しないで終了するときは、取消キーを押してください。

保存せずに終了する画面が表示されます。

ホゾ ンセス ニシュウリョウ?
Y→カクテイ N→トリケシ

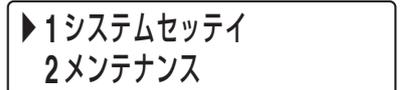


3 もう一度、確定キーを押す。

動作選択メニュー画面に戻ります。



動作選択メニュー画面



※ 設定が終わったら、「設定データ保存」(P. 120) を行い、FS-1000 本体に挿入された CF カードに FS-1000 本体の設定データ、音源設定データ、音源データを保存してください。

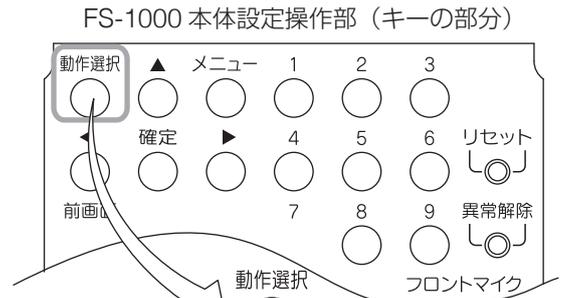
メンテナンス

メンテナンスモードで実施できる内容は以下のとおりです。

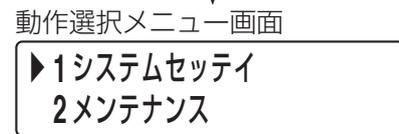
- 回線インピーダンス測定：FS-1000 本体に接続されている各スピーカー回線のインピーダンスを測定します。
- 動作確認モード：通常放送時に近い状態でシステムを動作させて、システム設定が正しくできているかを確認します。
- 自己診断：機器の接続確認やアンプ点検など、1日1回の定期点検で行う内容を個別に確認できます。また、定期点検の開始時刻を設定します。
- CF カード：CF カードを使って各種データの読み込みまたは、保存を行います。また、本体とCF カード間での設定データの内容を比較します。

【メンテナンスモードの開始のしかた】

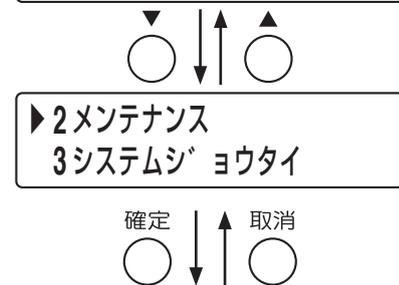
- 1 設定操作部の動作選択キーを押す。
動作選択メニュー画面が表示されます。



- 2 上下シフトキーを押して、「2 メンテナンス」を選択する。



- 3 確定キーを押す。
パスワード入力画面が表示されます。



- 4 数字キーで4桁のパスワードを入力する。
メンテナンスメニュー画面が表示されます。

メ モ

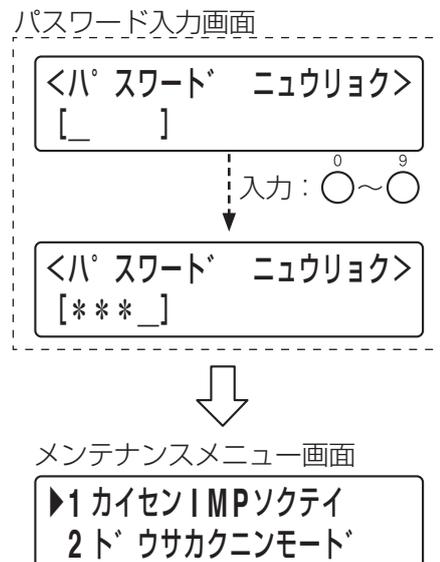
- 工場出荷時には、パスワードは「5555」に設定されています。
- パスワードの変更はシステム設定の「初期設定」で行います。(P. 14)

【注意】

誤ったパスワードを入力すると、以下の画面が表示されます。

パスワード NG
サイニュウリョク→カクテイ

確定キーを押すと、パスワード入力画面に戻るので、もう一度正しいパスワードを入力してください。



■ 回線インピーダンスの測定 (2-1)

FS-1000 本体端子部に接続されている各スピーカー回線のインピーダンスを測定します。
この値が正常／異常を判断するための基準値となります。
基準値は手動で入力することもできます。(P. 110)

[回線インピーダンスの測定開始のしかた]

- 1** メンテナンスメニュー画面で上下シフトキーを押して、「1 カイセンIMPソクテイ」を選択する。
- 2** 確定キーを押す。
回線インピーダンス測定メニュー画面が表示されます。

メンテナンスメニュー画面

▶1 カイセンIMPソクテイ
2 トウサカクニンモード



回線インピーダンス測定メニュー画面

回線インピーダンス表示画面 (次ページ)

▶1 カイセンIMPヒョウジ
2 カイセンIMPソクテイ



回線インピーダンス測定画面 (P. 109)

▶2 カイセンIMPソクテイ
3 カイセンIMPヘンシュウ



回線インピーダンス編集画面 (P. 110)

▶3 カイセンIMPヘンシュウ
4 カイセンIMPショウキョ



回線インピーダンス消去画面 (P. 111)

3 カイセンIMPヘンシュウ
▶4 カイセンIMPショウキョ

● 回線インピーダンスの表示 (2-1-1)

自動で測定した値または手動で入力した値が表示されます。

[回線インピーダンスの表示のしかた]

1 回線インピーダンス測定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「1 カイセン IMP ヒョウジ」を選択する。

2 確定キーを押す。

回線インピーダンス表示画面が表示されます。

3 インピーダンスを表示させたい回線番号を選択する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

選択された回線のインピーダンスが表示されます。回線が正常な場合と異常な場合の表示例は右の画面のとおりです。

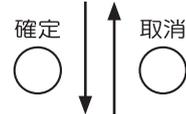
同様に、他の確認したい回線の回線番号を選択して、インピーダンスを表示させます。

4 メニューキーを押す。

メンテナンスメニュー画面に戻ります。

回線インピーダンス測定
メニュー画面

▶1 カイセン IMP ヒョウジ
2 カイセン IMP ソクテイ



回線インピーダンス表示画面

<カイセン IMP ヒョウジ >
[カイセンNo] 01 100W

入力 : ○[▲]○[▼]○⁰~○⁹

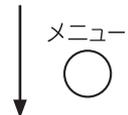
カーソル移動 : ○[◀]○[▶]

(回線がオープンの際の表示例)

<カイセン IMP ヒョウジ >
[カイセンNo] 01 ---W

(回線が過負荷の際の表示例)

<カイセン IMP ヒョウジ >
[カイセンNo] 01 OVER



メンテナンスメニュー画面

▶1 カイセン IMP ソクテイ
2 トウサカクニンモード

● 回線インピーダンスの測定 (2-1-2)

アンプに接続されたスピーカーから実際に音を出して、回線インピーダンスの値を自動で測定します。

[回線インピーダンスの測定のしかた]

1 回線インピーダンス測定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「2 カイセンIMPソクテイ」を選択する。

2 確定キーを押す。
回線インピーダンス測定開始画面が表示されます。

3 もう一度、確定キーを押す。
インピーダンスの測定が開始され、順次表示されます。

ご注意

測定中はすべてのキー操作ができません。

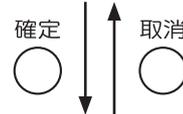
すべての回線のインピーダンス測定が終わったら、インピーダンス測定完了画面が表示されます。

4 もう一度、確定キーを押す。
インピーダンス測定メニュー画面に戻ります。

5 メニューキーを押す。
メンテナンスメニュー画面に戻ります。

回線インピーダンス測定
メニュー画面

▶2カイセンIMPソクテイ
3カイセンIMPヘンシュウ



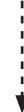
回線インピーダンス測定開始画面

カイセンIMPソクテイ カイシ?
Y→カクテイ N→トリケシ



回線インピーダンス測定中画面

<カイセンIMPソクテイ>
[カイセンNo] 01 100W



回線インピーダンス測定完了画面

<カイセンIMPソクテイ>
カンリョウ トジ ル→カクテイ



回線インピーダンス測定
メニュー画面

▶2カイセンIMPソクテイ
3カイセンIMPヘンシュウ



メンテナンスメニュー画面

▶1カイセンIMPソクテイ
2トウサカクニンモード

● 回線インピーダンスの基準値の設定 (2-1-3)

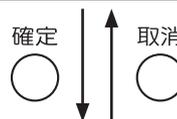
正常／異常を判断するための回線インピーダンスの基準値を手動で変更することができます。
この方法を使えば、実際にスピーカーから音を出す必要がありません。

[回線インピーダンスの編集のしかた]

1 回線インピーダンス測定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「3 カイセン IMP ヘンシュウ」を選択する。

回線インピーダンス測定
メニュー画面

▶3カイセンIMPヘンシュウ
4カイセンIMPショウキョ



回線選択画面

<カイセンIMPヘンシュウ>
[カイセンNo] 01 001W

入力 : ○[▲]○[▼]○⁰~○⁹

カーソル移動 : ○[▲]○[▼]



回線インピーダンス入力画面

<カイセンIMPニューリョク>
[カイセンNo] 01 001W

入力 : ○[▲]○[▼]○⁰~○⁹

カーソル移動 : ○[▲]○[▼]



回線選択画面

<カイセンIMPヘンシュウ>
[カイセンNo] 01 100W

(次に編集する回線があるとき)

手順3～6を繰り返す。

(次に編集する回線がないとき)



メンテナンスメニュー画面

▶1カイセンIMPソクテイ
2トウサカクニンモード

2 確定キーを押す。

回線選択画面が表示されます。

3 編集したい回線番号を選択する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

4 確定キーを押す。

手順3の回線インピーダンス入力画面が表示されます。

5 インピーダンスを編集する。

上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

6 確定キーを押す。

回線選択画面に戻ります。

✕ 毛

定格出力を超える値を入力したときは、以下の画面が表示されます。

そのときは、確定キーを押して回線インピーダンス入力画面に戻り、入力し直してください。

<カイセンIMPニューリョク>
テイクシュツリョク オーバ -

7 次に編集する回線があるときは、手順3～6を繰り返す。

8 すべての回線の編集が終わったら、メニューキーを押す。
メンテナンスメニュー画面に戻ります。

● 回線インピーダンスの消去 (2-1-4)

測定または手動で設定したすべての回線インピーダンスの基準値を消去することができます。

[回線インピーダンスの消去のしかた]

1 回線インピーダンス測定メニュー画面で上下シフトキーを押して、「4 カイセン IMP ショウキョ」を選択する。

2 確定キーを押す。
確認画面が表示されます。

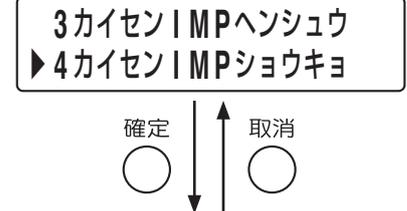
3 もう一度、確定キーを押す。
回線インピーダンスの値が消去されます。

全回線のインピーダンスの値が消去されたら、完了画面が表示されます。

4 もう一度、確定キーを押す。
回線インピーダンス測定メニュー画面に戻ります。

5 メニューキーを押す。
メンテナンスメニュー画面に戻ります。

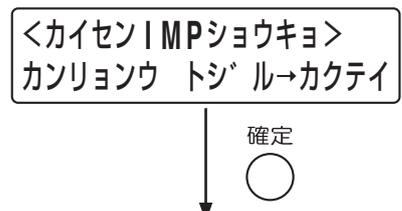
回線インピーダンス測定
メニュー画面



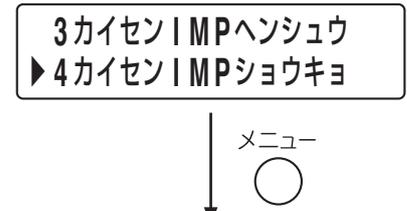
確認画面



完了画面



回線インピーダンス測定
メニュー画面



メンテナンスメニュー画面



■ システム動作確認 (2-2)

通常放送時に近い状態でシステムを動作させて、システム設定が正しくできているかを確認します。
通常放送時とは、以下の項目を設定できる点が異なります。

- スピーカ : 実際にスピーカから音声を出力するかどうかを設定します。
- 24 V カット : 非常断 24 V 出力端子からの出力を遮断するかどうかを設定します。
- 接点 : 状態出力および非常接点出力を出力するかどうかを設定します。
- 音源 : 非常放送時に実際の音声警報メッセージを使用するか、動作確認用のメッセージを使用するかを設定します。

[システム動作確認の開始のしかた]

1 メンテナンスメニュー画面で上下シフトキーを押して、「2 トウサカクニンモード」を選択する。

2 確定キーを押す。
システム動作確認画面が表示されます。

3 もう一度、確定キーを押す。
動作設定画面が表示されます。

4 動作確認モード時の各項目の状態を設定する。

確認キーまたは取消キーで設定したい項目を表示させ、上下シフトキーで設定を行います。
設定項目と設定内容は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	工場出荷時の設定
スピーカ	出力しない／出力する	出力しない
24 V カット	カットしない／カットする	カットしない
接点	制御しない／制御する	制御しない
音源	確認音源／音声警報	確認音源

メンテナンスメニュー画面

▶ 2 トウサカクニンモード
3 ジョウシンタン

確定 ↑ ↓ 取消
○ ○

システム動作確認画面

▶ 1 トウサカクニン セッテイ
2 トウサカクニン カイシ

確定 ↑ ↓ 取消
○ ○

< トウサカクニン > 1 / 4
[スピーカ] シュツリョクシナイ

選択: ○ ○
確定 ↑ ↓ 取消
○ ○

< トウサカクニン > 2 / 4
[24Vカット] カットシナイ

選択: ○ ○
確定 ↑ ↓ 取消
○ ○

< トウサカクニン > 3 / 4
[セッテン] セイギ ヨシナイ

選択: ○ ○
確定 ↑ ↓ 取消
○ ○

< トウサカクニン > 4 / 4
[オンゲン] カクニンオンゲン

動作設定画面

↓
次ページへ

5 確定キーを押す。
手順3（前ページ）のシステム動作確認画面に戻ります。

6 上下シフトキーを押して、「2 ドウサカクニン カイシ」を選択する。

7 確定キーを押す。
動作確認開始画面が表示されます。

8 もう一度、確定キーを押す。
確認モードになります。

9 システムの動作を確認する。
このとき画面は、通常動作時と同じ表示になりますが、右上に「TEST」と常に表示されます。

ご注意

- システム動作確認状態のまま放置すると、通常の放送ができません。
- 無操作状態で15分経過すると、システム動作確認モードの終了画面が点滅で表示されます。さらに15分経過すると、自動的に動作確認モードを終了します。

無操作状態

15分経過

トウサカクニン モード
マモナク シュウリョウ シマス 点滅表示

15分経過

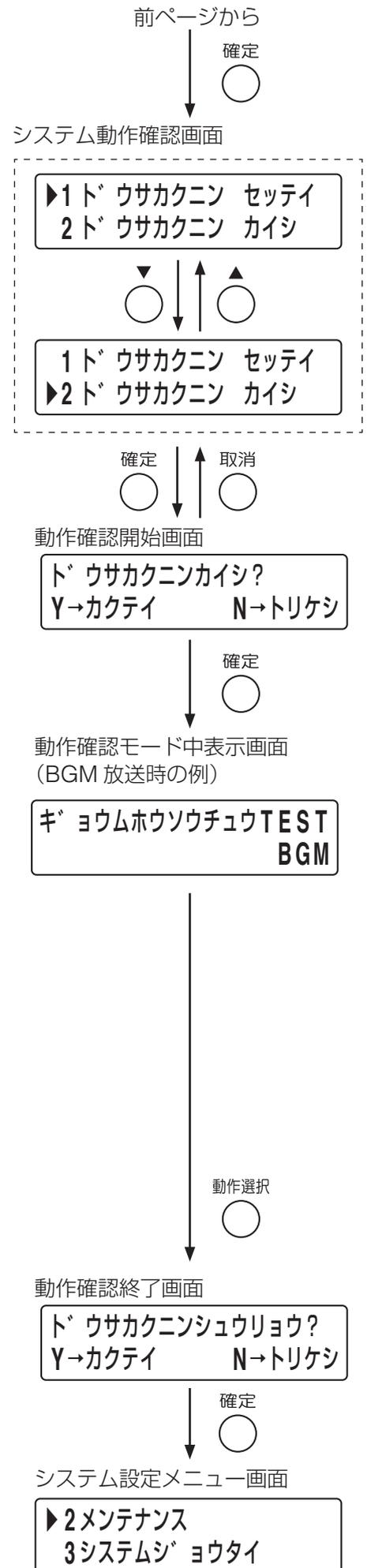
トウサカクニン モード
シュウリョウ シマシタ

3秒後

通常動作表示

10 動作確認モードを解除したいときは、動作選択キーを押す。
動作確認終了画面が表示されます。

11 確定キーを押す。
システム設定メニュー画面に戻ります。



■ 自己診断 (2-3)

自己診断では、機器の接続確認やアンブ点検など、1日1回の定期点検で行う内容を個別に確認できます。また、定期点検の開始時刻を設定します。

● 自己診断機能による点検

点検項目は以下のとおりです。

- 全体確認 : システムに異常がないことを確認します。
- 接続確認 : 機器の接続が正常に行われていることを確認します。
- アンブ点検 : アンブに異常がないことを確認します。
- 点検開始時刻 : 設定された時刻に、点検を行います。

[点検のしかた]

- 1** メンテナンスメニュー画面で上下シフトキーを押して、「3 ジコシンダンモード」を選択する。
- 2** 確定キーを押す。
自己診断画面が表示されます。
- 3** 上下シフトキーを押して、点検したい項目を選択する。
※「4 テンケン カイシジコク」を選択したときの設定のしかたは、P. 116 をお読みください。

- 4** 確定キーを押す。
自己診断の結果／開始画面が表示されます。
画面には、前回の診断結果が表示されています。

【で注意】

業務放送中のときは以下の画面が表示されます。
そのときは、確定キーを押して自己診断画面に戻り、業務放送が終了してから、再度、確定キーを押してください。

ギョウムホウソウチュウ
テンケンデキマセン

メンテナンスメニュー画面

▶3 ジコシンダンモード
4 CFカード



自己診断画面

▶1 センタイカクニン
2 セツゾクカクニン



▶2 セツゾクカクニン
3 アンブテンケン



▶3 アンブテンケン
4 テンケンカイシジコク



3 アンブテンケン
▶4 テンケンカイシジコク



次ページへ

前ページから



結果／開始画面

(「アンブ テンケン」選択時の表示例)

<アンブ° テンケン>
ケッカ：-- カイシ→カクテイ



点検中表示画面

<アンブ° テンケン>
BUSY チュウシ→トリケシ



<アンブ° テンケン>
ケッカ：NG カイシ→カクテイ



メンテナンスメニュー画面

▶1 カイセンIMPソクテイ
2 ト° ウサカクニンモード

5 もう一度、確定キーを押す。

点検が自動的に行われ、点検が終了すると、結果が「OK」（正常）または「NG」（異常）で表示されます。

※ 右の画面表示は、アンブ点検時の例ですが、他の点検項目についても、同様に表示されます。

6 メニューキーを押す。

メンテナンスメニュー画面に戻ります。

[異常があったとき]

- 点検の結果、異常があったときは異常表示灯が点滅し、異常警告音が鳴ります。
- CPU に異常があったときは RUN 表示灯の点滅が停止し、点灯または消灯します。
- 異常警告音を停止させるには、異常受理スイッチを押します。
- 異常受理スイッチを押すと、異常表示灯の点滅が停止し、液晶画面に異常の内容が表示されます。
- 異常表示が複数ページにわたるときは、異常受理スイッチを押してページを切り換えます。
- 最後のページが表示されているときに異常受理スイッチを押すと、異常表示画面が閉じます。
- 異常表示については別冊の操作説明書「異常表示の一覧」をお読みください。

重要

万一のときに機器が正常に動作するように、点検を必ず実施してください。
異常が発生したときは、直ちに販売店または保守契約店にご連絡ください。

ご注意

蓄電池の寿命は4年です。使用状態にかかわらず、これを過ぎると停電中の放送に問題を起す恐れがあります。点検時のエラー発生の有無にかかわらず、速やかに販売店または保守契約店へ連絡してください。
蓄電池の交換およびリサイクルについては別冊の設置説明書または操作説明書の「ニカド電池の交換について」「ニカド電池のリサイクルについて」をお読みください。

● 定期点検の開始時刻の設定

1日1回行う定期点検の開始時刻を設定します。

ご注意

時刻設定（1-1-1）で、時刻を正しく設定してください。

【開始時刻の設定のしかた】

1 メンテナンスメニュー画面で上下シフトキーを押して、「3 ジコシندانモード」を選択する。

2 確定キーを押す。
自己診断画面が表示されます。

3 上下シフトキーを押して、「4 テンケン カイシジコク」を選択する。

4 確定キーを押す。
時刻入力画面が表示されます。

5 定期点検の開始時刻を入力する。
上下シフトキーまたは数字キーで数値を入力、左右シフトキーでカーソルを移動します。

× モ

1分単位で設定可能です。
初期値は00:00です。

6 確定キーを押す。
入力した時刻が設定され、手順3の自己診断画面に戻ります。

× モ

入力に問題があった場合は、以下の画面が表示されますので、確定キーを押して時刻入力画面に戻り、入力し直してください。

<テンケン カイシジ コク>
ニウリヨク イジ ヨウ

7 メニューキーを押す。
メンテナンスメニュー画面に戻ります。

メンテナンスメニュー画面

▶3 ジコシندانモード
4 CFカード

確定 ↑ ↓ 取消
○ ○

自己診断画面

▶1 センタイ カクニン
2 セツゾク カクニン

▼ ↑ ▲
○ ○

3 アンブ テンケン
▶4 テンケン カイシジ コク

確定 ↑ ↓ 取消
○ ○

時刻入力画面

<テンケン カイシジ コク>
[カイシジ コク] 23:59

入力 : ○ ○ ○ ~ ○

カーソル移動 : ○ ○

確定
○

自己診断画面

3 アンブ テンケン
▶4 テンケン カイシジ コク

メニュー
○

メンテナンスメニュー画面

▶1 カイセンIMPソクテイ
2 トウサカクニンモード

■ CFカード (2-4)

CFカードを使用して各種データの読み込み／保存を行います。また、本体とCFカード間での設定データの内容を比較します。

※ CFカードの取り付け／取り外しの方法については、別冊の「FS-1000 設置説明書」をお読みください。

実施できる項目は以下のとおりです。

設定データ更新：CFカードからFS-1000本体へ設定データと音源設定データを読み込みます。

音源データ更新：CFカードからFS-1000本体へ音源データを読み込みます。

設定データ保存：FS-1000本体の設定データと音源設定データをCFカードに保存します。CFカードに音源データが1つも保存されていない場合は、FS-1000本体の音源データも同時に保存します。

履歴データ保存：FS-1000本体の履歴データをCFカードに保存します。

設定データ比較：FS-1000本体とCFカードの設定データと音源設定データの内容を比較します。

[CFカードの開始のしかた]

1 メンテナンスメニュー画面で上下シフトキーを押して、「4 CFカード」を選択する。

2 確定キーを押す。

CFカードメニュー画面が表示されます。
実施できる項目は上記のとおりです。

メンテナンスメニュー画面

▶4 CFカード
5 メニューへモドル



CFカードメニュー画面

設定データ更新画面 (P. 118)

▶1 セッテイデータコウシン
2 オンゲンデータコウシン



音声データ更新画面 (P. 119)

▶2 オンゲンデータコウシン
3 セッテイデータホゾン



設定データ保存画面 (P. 120)

▶3 セッテイデータホゾン
4 リレキデータホゾン



履歴データ保存画面 (P. 121)

▶4 リレキデータホゾン
5 セッテイデータヒカク



設定データ比較画面 (P. 123)

4 リレキデータホゾン
▶5 セッテイデータヒカク

ご注意

- CFカード内には本操作で扱う以外のデータは保存しないでください。容量不足となる恐れがあります。
- CFカードのアクセス中にリセットやCFカードの抜き差しをしないでください。故障の原因となる恐れがあります。
- CFカードを抜いている間の履歴は保存されません。
- 付属のCFカードを使用してください。

● 設定データ更新 (2-4-1)

CF カード内から FS-1000 本体へ設定データと音源設定データを読み込みます。

[設定データの更新のしかた]

1 CF カードメニュー画面で上下シフトキーを押して、「1 セッテイデータコウシン」を選択する。

2 確定キーを押す。

設定データ更新確認画面が表示されます。

3 確定キーを押す。

放送停止確認画面が表示されます。

4 確定キーを押す。

CF カード内の設定データと音源設定データが FS-1000 本体に読み込まれます。

読み込み中は設定データ更新中画面が表示され、進捗状況が示されます。

読み込みが完了すると、設定データ更新完了表示画面が表示されます。

✕ モ

エラーの場合、以下のいずれかの画面が表示されます。

カードが ハイッテイマセン
トジ ル→カクテイ

カード ヨミコミ エラー
トジ ル→カクテイ

カード ナイ データフソク
トジ ル→カクテイ

サホートガイ データアリ
トジ ル→カクテイ

確定キーを押すと、手順 1 の設定データ更新画面に戻ります。

5 確定キーを押す。

手順 1 の設定データ更新画面に戻ります。

6 メニューキーを押す。

メンテナンスメニュー画面に戻ります。

設定データ更新画面

▶1 セッテイデータコウシン
2 オンゲントデータコウシン

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

設定データ更新確認画面

セッテイデータ コウシン?
Y→カクテイ N→トリケシ

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

放送停止確認画面

ホウソウガ テイシ シマス
Y→カクテイ N→トリケシ

確定
○

設定データ更新中画面

<セッテイデータコウシン>
■.....



設定データ更新完了表示画面

<セッテイデータコウシン>
カンリョウ トジ ル→カクテイ

確定
○

設定データ更新画面

▶1 セッテイデータコウシン
2 オンゲントデータコウシン

メニュー
○

メンテナンスメニュー画面

▶1 カイセンIMPソクテイ
2 トウサカクニンモード

● 音源データ更新 (2-4-2)

CF カード内から FS-1000 本体へ音源データを読み込みます。

[音源データの更新のしかた]

1 CF カードメニュー画面で上下シフトキーを押して、「2 オンゲ ンデ ータコウシン」を選択する。

2 確定キーを押す。

音源データ更新確認画面が表示されます。

3 確定キーを押す。

放送停止確認画面が表示されます。

4 確定キーを押す。

CF カード内の音源データが FS-1000 本体に読み込まれます。読み込み中は音源データ更新中画面が表示され、進捗状況が示されます。

読み込みが完了すると、音源データ更新完了表示画面が表示されます。

× モ

エラーの場合、以下のいずれかの画面が表示されます。

カード が ハイッテイマセン
トジ ル→カクテイ

カード ヨミコミ エラー
トジ ル→カクテイ

確定キーを押すと、手順 1 の音源データ更新画面に戻ります。

5 確定キーを押す。

手順 1 の音源データ更新画面に戻ります。

6 メニューキーを押す。

メンテナンスメニュー画面に戻ります。

音源データ更新画面

▶2 オンゲ ンデ ータコウシン
3 セッテイデ ータホゾ ン

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

音源データ更新確認画面

オンゲ ンデ ータ コウシン?
Y→カクテイ N→トリケシ

確定 ↑ 取消
○ ↓ ○

放送停止確認画面

ハウソウガ テイシ シマス
Y→カクテイ N→トリケシ

確定
○

音源データ更新中画面

<オンゲ ンデ ータコウシン>
■.....



音源データ更新完了表示画面

<オンゲ ンデ ータコウシン>
カンリョウ トジ ル→カクテイ

確定
○

音源データ更新画面

▶2 オンゲ ンデ ータコウシン
3 セッテイデ ータホゾ ン

メニュー
○

メンテナンスメニュー画面

▶1 カイセンIMPソクテイ
2 ト ウサカクニンモード

● 設定データ保存 (2-4-3)

FS-1000 本体の設定データと音源設定データを CF カードに保存します。
CF カードに音源データが 1 つも保存されていない場合は、FS-1000 本体の音源データも同時に保存します。
設置時には以下の操作を行い、CF カードに設定データ、音源設定データ、音源データを保存してください。

[設定データの保存のしかた]

1 CF カードメニュー画面で上下シフトキーを押して、「3 セッテイデータホゾン」を選択する。

2 確定キーを押す。

設定データ保存確認画面が表示されます。

3 確定キーを押す。

放送停止確認画面または設定データ保存中画面が表示されます。

4 放送停止確認画面が表示された場合は、確認の上、もう一度確定キーを押す。

FS-1000 本体の設定データと音源設定データが CF カードに保存されます。CF カードに音源データが 1 つも保存されていない場合は、FS-1000 本体の音源データも同時に保存されます。保存中は設定データ保存中画面が表示され、進捗状況が示されます。

【ご注意】

保存には 10 分程度かかる場合があります。

保存が完了すると、設定データ保存完了表示画面が表示されます。

✕ モ

エラーの場合、以下のいずれかの画面が表示されます。

カードが ハイッテイマセン
トジ ル→カクテイ

カード ヨミコミ エラー
トジ ル→カクテイ

カード カキコミ エラー
トジ ル→カクテイ

確定キーを押すと、手順 1 の設定データ保存画面に戻ります。

5 確定キーを押す。

手順 1 の設定データ保存画面に戻ります。

6 メニューキーを押す。

メンテナンスメニュー画面に戻ります。

設定データ保存画面

▶3 セッテイデータホゾン
4 リレキデータホゾン

確定 ↑ ↓ 取消
○ ○

設定データ保存確認画面

セッテイ データ ホゾン?
Y→カクテイ N→トリケシ

(CF カードに音源データがない場合のみ)

確定 ↑ ↓ 取消
○ ○

放送停止確認画面

ハウソウガ テイシ シマス
Y→カクテイ N→トリケシ

確定
○

設定データ保存中画面

<セッテイデータホゾン>
■.....



設定データ保存完了表示画面

<セッテイデータホゾン>
カンリョウ トジ ル→カクテイ

確定
○

設定データ保存画面

▶3 セッテイデータホゾン
4 リレキデータホゾン

メニュー
○

メンテナンスメニュー画面

▶1 カイセンIMPソクテイ
2 トウサカクニンモード

● 履歴データ保存 (2-4-4)

FS-1000 本体の履歴データを CF カードに保存します。

メニューから行う方法と設定スイッチで行う方法があります。

[履歴データの保存のしかた：メニューから行う場合]

1 CF カードメニュー画面で上下シフトキーを押して、「4 リレキデータホゾン」を選択する。

2 確定キーを押す。

履歴データ保存確認画面が表示されます。

3 確定キーを押す。

FS-1000 本体の履歴データが CF カードに保存されます。保存中は履歴データ保存中画面が表示され、進捗状況が示されます。

保存が完了すると、履歴データ保存完了表示画面が表示されます。

メ モ

エラーの場合、以下のいずれかの画面が表示されます。

カードが ハイッテイマセン
トジ ル→カクテイ

カード ヨミコミ エラー
トジ ル→カクテイ

カード カキコミ エラー
トジ ル→カクテイ

確定キーを押すと、手順 1 の履歴データ保存画面に戻ります。

4 確定キーを押す。

手順 1 の履歴データ保存画面に戻ります。

5 メニューキーを押す。

メンテナンスメニュー画面に戻ります。

履歴データ保存画面

▶4 リレキデータホゾン
5 セッテイデータヒカク

確定 ↑ ↓ 取消
○ ○

履歴データ保存確認画面

リレキ データ ホゾン?
Y→カクテイ N→トリケシ

確定
○

履歴データ保存中画面

<リレキデータホゾン>
■.....



履歴データ保存完了表示画面

<リレキデータホゾン>
カンリョウ トジ ル→カクテイ

確定
○

履歴データ保存画面

▶4 リレキデータホゾン
5 セッテイデータヒカク

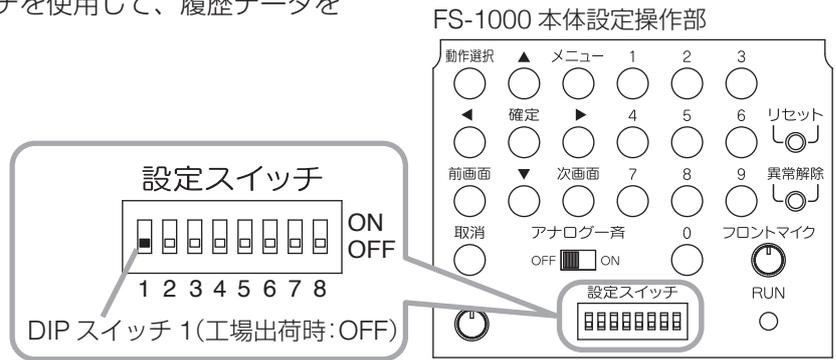
メニュー
○

メンテナンスメニュー画面

▶1 カイセンIMPソクテイ
2 トウサカクニンモード

【履歴データの保存のしかた：設定スイッチで行う場合】

FS-1000 本体設定操作部の設定スイッチを使用して、履歴データを CF カードに保存することができます。

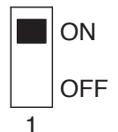


1 設定スイッチの DIP スイッチ 1 を ON にする。

このタイミングで履歴データが CF カードに保存されます。

メモ

設定スイッチが電源起動時に ON の状態であった場合は、保存されません。この場合は、一度 OFF にして再度 ON にしたタイミングで保存されます。



履歴データ保存中画面が表示されます。

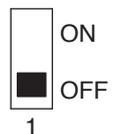
履歴データ保存中画面

リレキデータホゾンチュウ

2 履歴データ保存中画面が消えてから、設定スイッチの DIP スイッチ 1 を OFF に戻す。

ご注意

履歴データを保存した後は、必ず DIP スイッチ 1 を OFF に戻してください。



● 設定データ比較 (2-4-5)

FS-1000 本体と CF カードの設定データと音源設定データの内容を比較します。

[設定データの比較のしかた]

1 CF カードメニュー画面で上下シフトキーを押して、「5 セッテイデータヒカク」を選択する。

2 確定キーを押す。
設定データ比較確認画面が表示されます。

3 確定キーを押す。
FS-1000 本体と CF カード内の設定データおよび音源設定データの比較が行われます。
比較中は設定データ比較中画面が表示され、進捗状況が示されます。比較が完了すると、設定データ比較結果表示画面が表示されます。

メモ

エラーの場合、以下のいずれかの画面が表示されます。

カードが ハイッテイマセン
トジ ル→カクテイ

カード ヨミコミ エラー
トジ ル→カクテイ

セッテイデータ イジ ヨウ
トジ ル→カクテイ

確定キーを押すと、手順 1 の設定データ比較画面に戻ります。

4 確定キーを押す。
手順 1 の設定データ比較画面に戻ります。

5 メニューキーを押す。
メンテナンスメニュー画面に戻ります。

設定データ比較画面

4 リレキデータホゾン
▶5 セッテイデータヒカク

確定 ↑ ↓ 取消
○ ○

設定データ比較確認画面

セッテイ データ ヒカク?
Y→カクテイ N→トリケシ

確定
↓
○

設定データ比較中画面

<セッテイデータヒカク>

■.....



設定データ比較結果表示画面

(データ一致の場合)

<セッテイデータヒカク>
ケッカ: OK トジ ル→カクテイ

または

(データ不一致の場合)

<セッテイデータヒカク>
ケッカ: NG トジ ル→カクテイ

確定
↓
○

設定データ比較画面

4 リレキデータホゾン
▶5 セッテイデータヒカク

メニュー
↓
○

メンテナンスメニュー画面

▶1 カイセンIMPソクテイ
2 トウサカクニンモード

■ メンテナンスの終了 (2-5)

メンテナンスモードを終了するとき、「メニューへモデル」を選択します。

[メンテナンスモードの終了のしかた]

- 1 メンテナンスメニュー画面で上下シフトキーを押して「5 メニューへモデル」を選択する。

メンテナンスメニュー画面



確定



動作選択メニュー画面



- 2 確定キーを押す。

動作選択メニュー画面に戻ります。

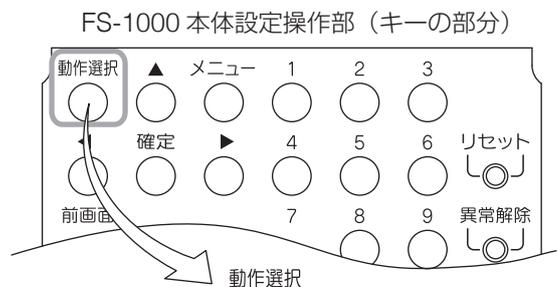
システム状態確認

動作履歴や故障履歴の確認やユニットのバージョン確認など、システムの状態を確認することができます。確認できる項目は以下のとおりです。(確認中でも放送は可能です。)

- 動作履歴 : システムの動作履歴を確認します。
- 異常履歴 : 検出された異常の履歴を確認します。
- ユニットバージョン : FS-1000 本体、非常用リモコン、および業務用リモコンのファームウェアのバージョンを確認します。
- 接続状態 : 機器の接続状態を確認します。
- 制御入力 : FS-1000 本体の各制御入力端子について、現在の状態 (メイク / ブレイク) を確認します。

[システム状態確認モードの開始のしかた]

- 1 FS-1000 本体設定操作部の動作選択キーを押す。

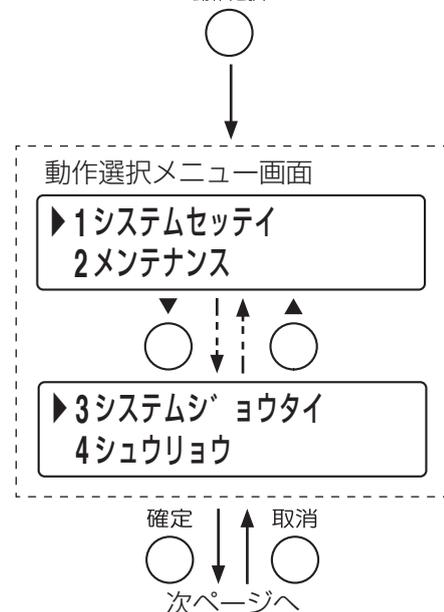


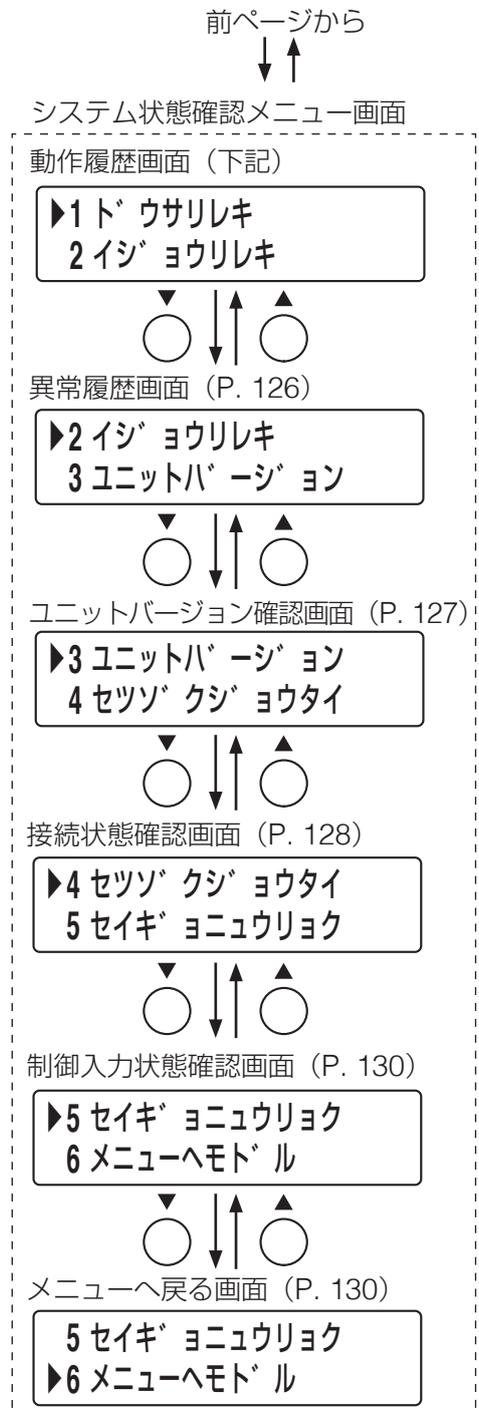
動作選択メニュー画面が表示されます。

- 2 上下シフトキーを押して、「3 システムジョウタイ」を選択する。

- 3 確定キーを押す。

システム状態確認メニュー画面が表示されます。確認できる項目は上記のとおりです。



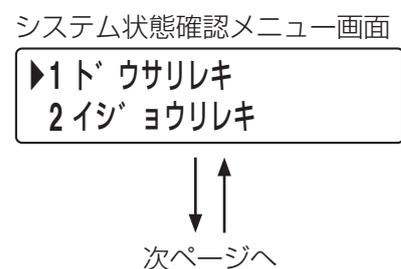


■ 動作履歴の確認（3-1）

システムの動作履歴を確認することができます。履歴は 10000 件まで保存できます。履歴が 10000 件を超えた場合、古い履歴から上書きされていきます。

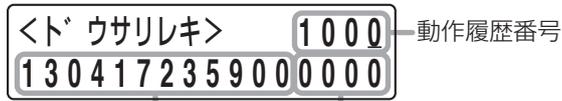
【動作履歴の確認のしかた】

- 1 システム状態確認メニュー画面で上下シフトキーを押して、「1 ドウサリレキ」を選択する。



2 確定キーを押す。

動作履歴表示画面が表示されます。
画面には、最新のデータが表示されます。
この画面では、動作履歴コードは先頭の4桁のみ閲覧できます。



時刻：年(西暦の下2桁)月日時分秒 動作履歴コード(20桁)

3 上下シフトキーを押して、履歴表示をスクロールさせる。

下シフトキーで古いデータ、上シフトキーで新しいデータにスクロールします。
動作履歴番号を指定してデータを表示させることもできます。数字キーで番号を入力、左右シフトキーでカーソルを移動させます。

4 確定キーを押す。

動作内容表示画面が表示されます。

5 左右シフトキーを押して、2行目の表示を左右にスクロールさせ、動作履歴コードを確認する。

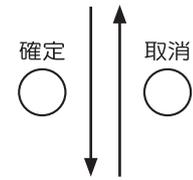
右シフトキーを押すごとに、動作履歴コードが1文字左にスクロールします。同様に、左シフトキーで右にスクロールします。

※ 動作履歴コードの番号と動作内容の対応については、当社営業所にお問い合わせください。

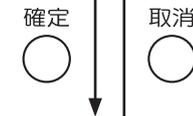
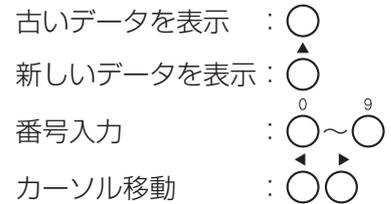
6 メニューキーを押す。

システム状態確認メニュー画面に戻ります。

前ページから



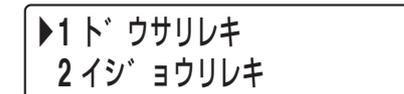
動作履歴表示画面



動作内容表示画面



システム状態確認メニュー画面

**■ 異常履歴の確認 (3-2)**

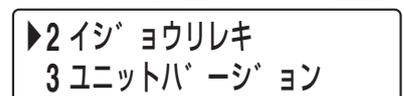
FS-1000 本体の CPU によって検出されたシステムの異常履歴を確認することができます。
履歴は 10000 件まで保存できます。
履歴が 10000 件を超えた場合、古い履歴から上書きされていきます。

【注意】

FS-1000 本体で確認できるのは、電源投入後からの履歴のみです。
電源投入前の履歴を確認したいときは、設定支援ソフトウェアを使用してください。

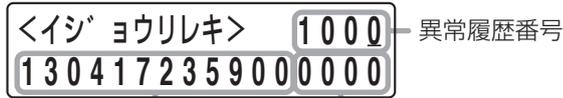
[異常履歴の確認のしかた]**1 システム状態確認メニュー画面で上下シフトキーを押して、「2 イジ ヨウリレキ」を選択する。**

システム状態確認メニュー画面



2 確定キーを押す。

異常履歴表示画面が表示されます。
画面には、最新のデータが表示されます。



時刻：年(西暦の下2桁) 月日時分秒 異常履歴コード(20桁)

3 上下シフトキーを押して、履歴表示をスクロールさせる。

下シフトキーで古いデータ、上シフトキーで新しいデータにスクロールします。
異常履歴番号を指定してデータを表示させることもできます。数字キーで番号を入力、左右シフトキーでカーソルを移動させます。

4 確定キーを押す。

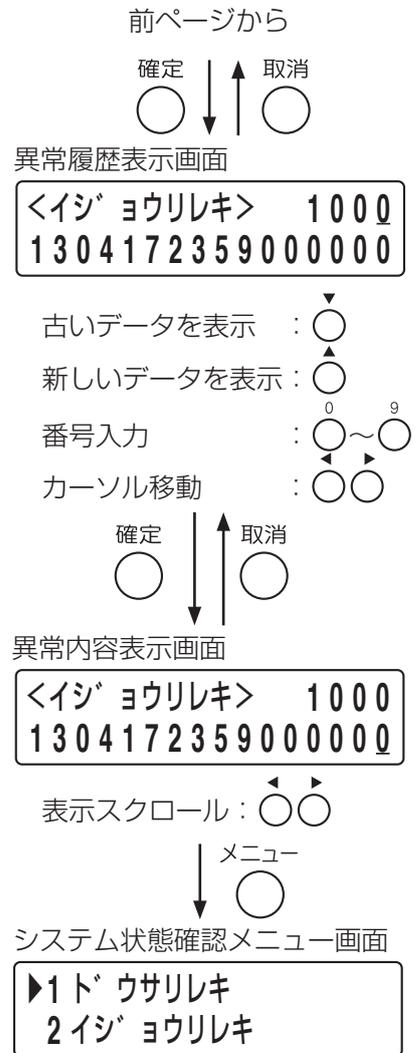
異常内容表示画面が表示されます。

5 左右シフトキーを押して、2行目の表示を左右にスクロールさせ、異常履歴コードを確認する。

右シフトキーを押すごとに、異常履歴コードが1文字左にスクロールします。同様に、左シフトキーで右にスクロールします。
※ 異常履歴コードの番号と異常内容の対応については、当社営業所にお問い合わせください。

6 メニューキーを押す。

システム状態確認メニュー画面に戻ります。



■ ユニットバージョンの確認 (3-3)

FS-1000 本体、非常用リモコン、および業務用リモコンのファームウェアのバージョンを確認します。

[ユニットバージョンの確認のしかた]

1 システム状態確認メニュー画面で上下シフトキーを押して、「3 ユニットバージョン」を選択する。

2 確定キーを押す。

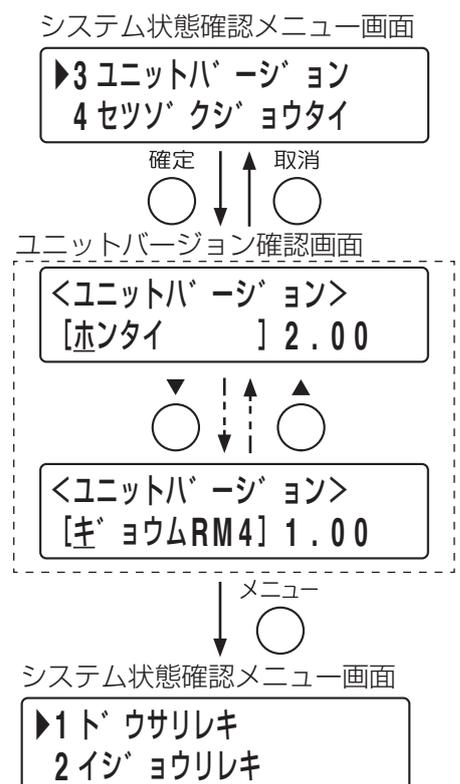
ユニットバージョン確認画面(各機種のファームウェアバージョン)が表示されます。

3 上下シフトキーを押して、機器を選択する。

選択された機器のファームウェアバージョンが表示されます。

4 メニューキーを押す。

システム状態確認メニュー画面に戻ります。



■ 機器接続状態 (3-4)

機器の接続状態を確認します。

[機器接続状態の確認のしかた]

- 1 システム状態確認メニュー画面で上下シフトキーを押して、「4 セツゾクジ ヨウタイ」を選択する。
- 2 確定キーを押す。
接続状態確認の機器選択画面が表示されます。
- 3 上下シフトキーを押して、接続状態を確認したい機器を選択する。
- 4 確定キーを押す。
選択された機器の接続状態が表示されます。
画面の表示は、機器により以下ようになります。

[FS-1000 本体]

```
<ホンタイ>
F:OK P:OK G:--
```

F: FS-1000 本体、P: デジタルパワーアンプユニット
G: 業務用電源ユニット

接続状態表示	状態	
OK	正常	
NG	Fの場合	FS-1000 本体の内部配線の異常（ケーブルが抜けている、など）
	P、Gの場合	FS-1000 本体との接続異常
--	未接続	

[業務用リモコン、非常用リモコン]

```
<ギ ヨウムRM1>
R:OK E:NG
```

```
<ヒジ ヨウRM1> 1 / 2
R:OK E:NG
```

R: リモコン本体、E: 拡張ユニット

接続状態表示	状態	
OK	正常	
NG	Rの場合	FS-1000 本体との接続異常
	Eの場合	リモコン本体との接続異常
--	未接続	

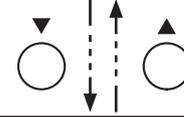
システム状態確認メニュー画面

```
▶4 セツゾクジ ヨウタイ
5 セイギ ヨニューリョク
```

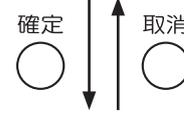


機器選択画面

```
<セツゾクジ ヨウタイ>
[ユニット] ホンタイ
```



```
<セツゾクジ ヨウタイ>
[ユニット] ギ ヨウムRM4
```



(「ホンタイ」または「ギヨウム RM」
選択時)

表示例

```
<ホンタイ>
F:OK P:OK G:--
```

または

```
<ギ ヨウムRM1>
R:OK E:NG
```

確定
○
(手順 6)

(「ヒジヨウ RM」 選択時)

表示例

```
<ヒジ ヨウRM1> 1 / 2
R:OK E:NG
```



(手順 5)

```
<ヒジ ヨウRM1> 2 / 2
D1:NG D2:NG
```

確定
○
(手順 6)

5 非常用リモコンを選択したときは、もう一度確定キーを押す。

非常用電源パネルの接続状態が以下のように表示されます。

<ヒジ ヨウRM1>	2 / 2
D1:NG D2:NG	

D1：非常用電源パネル（アドレス 00）、D2：非常用電源パネル（アドレス 01）

接続状態表示	状態	
OK	正常	
NG	D1の場合	FS-2000RM との接続異常
	D2の場合	非常用電源パネル（アドレス 00）との接続異常
---	未接続	

6 確定キーを押す。

手順 3（前ページ）の機器選択画面に戻ります。

7 手順 3～6 を繰り返して、他の機器の接続状態を確認する。

8 接続状態の確認が終わったら、メニューキーを押す。

システム状態確認メニュー画面に戻ります。

機器選択画面

<セツゾ クジ ヨウタイ> [ユニット] ホンタイ

メニュー



システム状態確認メニュー画面

▶1 トウサリレキ 2 イジ ヨウリレキ

■ 制御入力状態の確認 (3-5)

FS-1000 本体の各制御入力端子および RM-500 の制御入力端子について、現在の状態（メイク／ブレイク）を確認します。

【制御入力状態の確認のしかた】

1 システム状態確認メニュー画面で上下シフトキーを押して、「5 セイギョニュウリョク」を選択する。

2 確定キーを押す。
制御入力状態表示画面が表示されます。

3 上下シフトキーを押して、確認したい制御入力を選択する。
選択できる制御入力は以下のとおりです。

ハンヨウ 01 ~ 10	(制御入力 1 ~ 10 * ¹)
セッテン RM01 ~ 10	(接点式 RM1 ~ 10 * ¹)
セッテンイッセイ	(接点式 RM 一斉 * ¹)
セッテンチャイム 1 / 2	(接点式 RM チャイム 1、2 * ¹)
キンキュウジシン	(緊急地震 * ¹)
デンワ PG	(電話ページング * ¹)
タイマー	
EX マイク	(外部マイク * ¹)
ギョウム RM1 ~ 4	(業務 RM1 ~ 4 * ²)

*¹ FS-1000 本体の制御入力の名称

*² RM-500 の制御入力

接点の状態は、「ブレイク」または「メイク」で表示されます。

メモ

各制御入力端子に対する機能の設定は「制御入力の設定 (1-3-6)」(P. 58) で行います。

4 メニューキーを押す。
システム状態確認メニュー画面に戻ります。

システム状態確認メニュー画面

▶5 セイギョニュウリョク
6 メニューヘモドル



制御入力状態表示画面

<セイギョニュウリョク>
[ハンヨウ01] ブレイク



<セイギョニュウリョク>
[ハンヨウ02] ブレイク



<セイギョニュウリョク>
[ギョウムRM4] ブレイク



システム状態確認メニュー画面

▶1 トウサリレキ
2 イジヨウリレキ

■ システム状態確認の終了 (3-6)

システム状態確認モードを終了するときは、「メニューヘモドル」を選択します。

【システム状態確認の終了のしかた】

1 システム状態確認メニュー画面で上下シフトキーを押して、「6 メニューヘモドル」を選択する。

2 確定キーを押す。
動作選択メニュー画面が表示されます。

システム状態確認メニュー画面

▶1 トウサリレキ
2 イジヨウリレキ



5 セイギョニュウリョク
▶6 メニューヘモドル



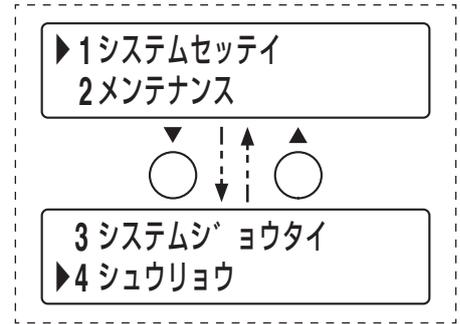
動作選択メニュー画面

▶3 システムジヨウタイ
4 シュウリョウ

通常動作画面への戻りかた

1 動作選択メニュー画面で上下シフトキーを押して、「4 シュウリョウ」を選択する。

動作選択メニュー画面



確定



通常動作画面（例）

キ ヨウムハウソウチュウ

BGM

2 確定キーを押す。
通常動作画面に戻ります。

記名カードの取り付け

FS-1000 本体に、放送階選択スイッチおよびグループ選択スイッチの名称を記入した記名カードを取り付けます。

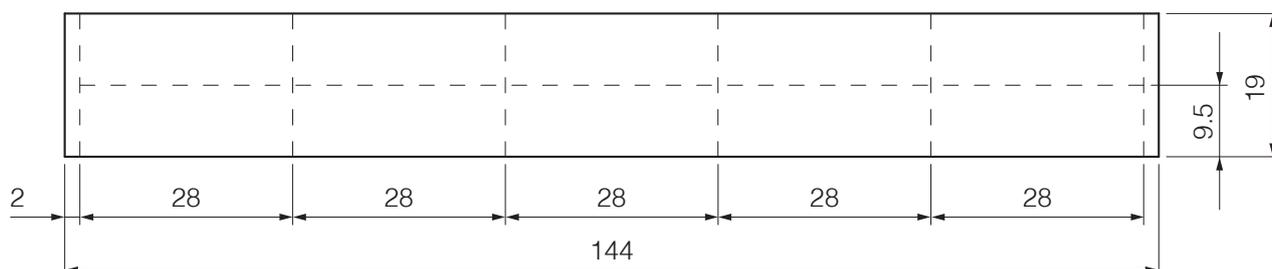
● 記名カードの作成

記名カードの作成方法は次の 5 通りあります。

- (1) FS-1000 本体に取り付けられている記名カードを使用する。
FS-1000 本体から記名カードを取り出して、名称を記入します。
- (2) 寸法図を基に、記名カードを作成する。
下図を基に記名カードを作成します。
厚さ 0.2 mm 以下の紙をご使用ください。
印刷後、はさみで切り取ってご使用ください。

単位：mm

[寸法図]



- (3) 次ページの「手書き用コピー台紙 (実寸)」をコピーする。
放送階選択スイッチに割り当てた名称を手書きします。
厚さ 0.2 mm 以下の紙をご使用ください。
はさみで切り取ってご使用ください。
- (4) FS-1000 設定支援ソフトウェアを使用する。
FS-1000 設定支援ソフトウェアを使用して選択スイッチの名称を印刷します。
厚さ 0.2 mm 以下の紙をご使用ください。
印刷後、はさみで切り取ってご使用ください。

【ご注意】

パソコンの設定環境によっては、記名カードが正しい寸法で印刷されないことがあります。

- (5) ラベルプリンターで記名カードを作成する。
ラベルプリンターで名称を印刷して貼り付けます。幅 9 mm 以下のテープを使用し、長さ 27 mm 以内でラベルを作成してください。

[手書き用コピー台紙 (FS-1000 本体専用)]

記名カード (FS-1000 本体専用)

記名カード (FS-1000 本体専用)

記名カード (FS-1000 本体専用)

記名カード (FS-1000 本体専用)

記名カード (FS-1000 本体専用)

記名カード (FS-1000 本体専用)

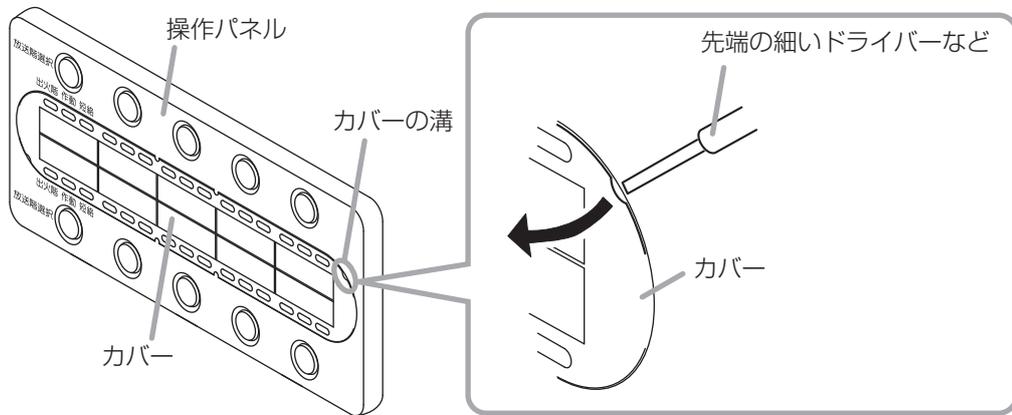
記名カード (FS-1000 本体専用)

● 記名カードの取り付け

記名カードを FS-1000 本体に取り付けます。

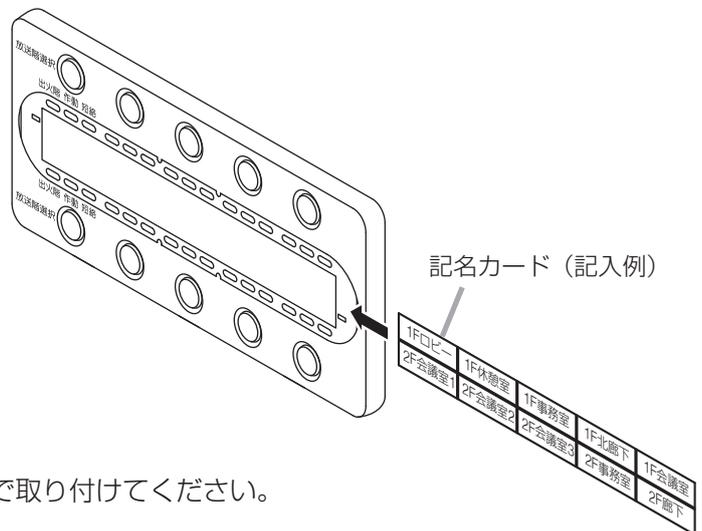
1 操作パネルのカバーを外す。

カバーをたわませて取り外します。カバーの溝にドライバーなどを入れて外すと、作業が容易に行えます。



2 記名カードを取り付ける。

作成した記名カードを操作パネルにはめ込みます。

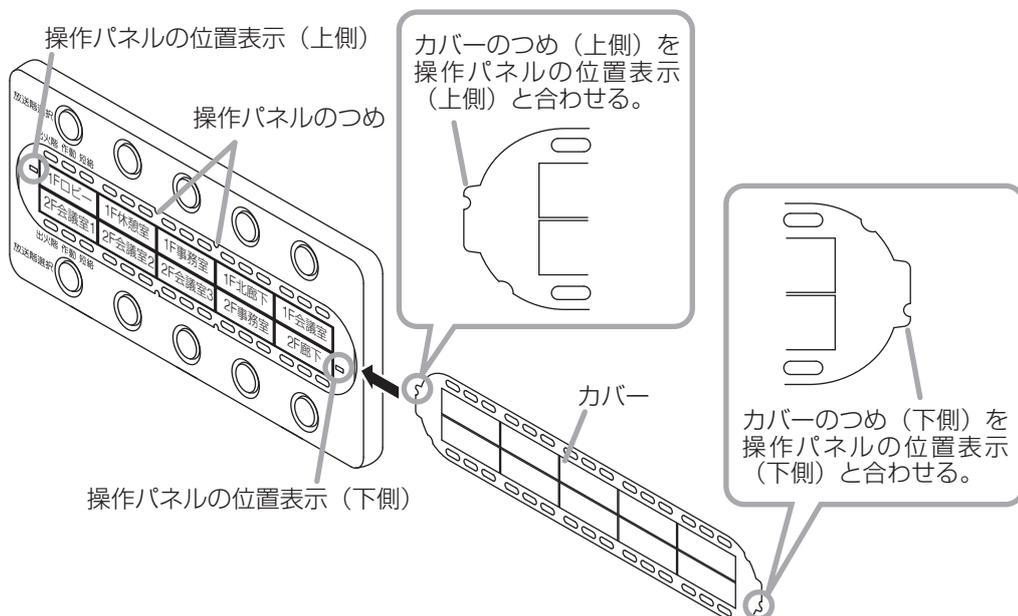


3 カバーを操作パネルに取り付ける。

カバーを操作パネルのつめの内側に差し込んで取り付けてください。

【ご注意】

カバーは左右どちらからでも操作パネルに挿入できます。ただし、カバーには表裏がありますので、表裏を合わせるために、下図のようにカバー左右のつめ部分を操作パネルの位置表示と合わせて取り付けてください。



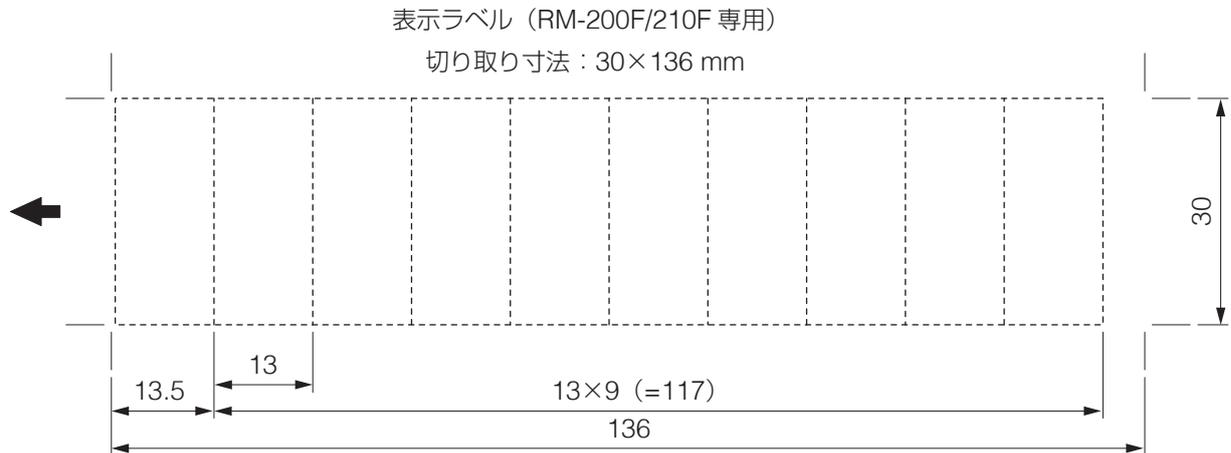
業務用リモコンの表示ラベルの取り付け

● RM-200F/210F の場合

1 次のいずれかの方法で RM-200F/210F 専用の表示ラベルを作成する。

いずれの場合も、厚さ 0.2 mm 以下の紙を使用し、印刷またはコピーした紙をガイドラインに合わせて切り取ってください。

1-1 下記の寸法図を基にパソコンなどで作成する。



1-2 次ページの「手書き用コピー台紙 (実寸)」をコピーする。

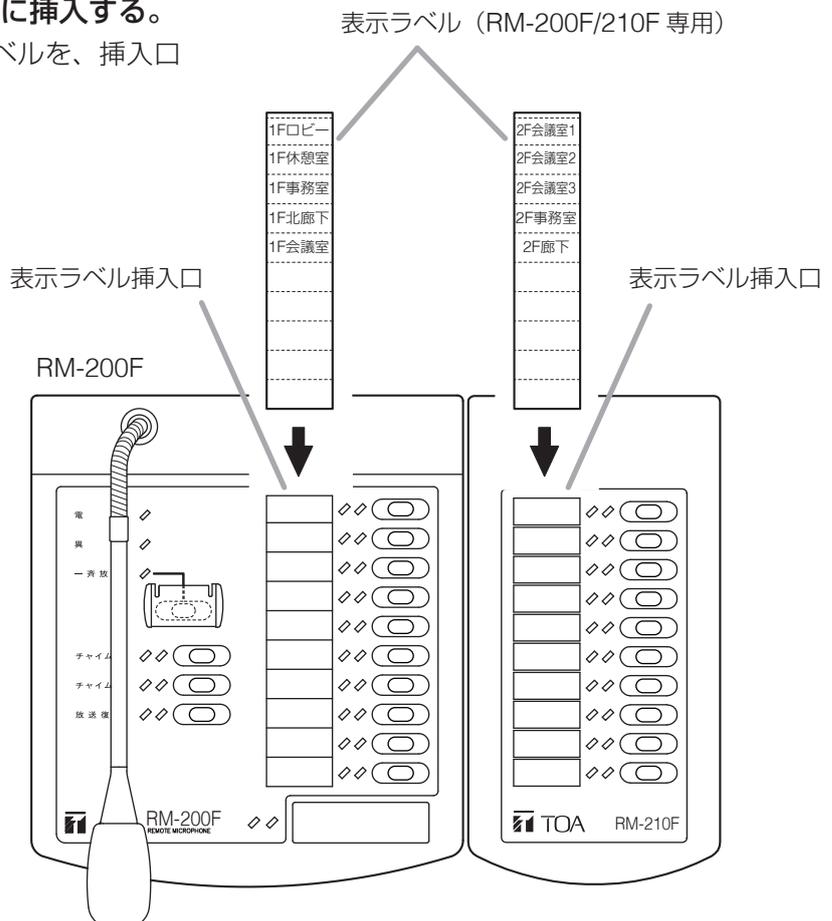
機能キーに割り当てた名称を手書きします。

1-3 FS-1000 設定支援ソフトウェアを使用する。

RM-200F と RM-210F の機能キーに割り当てた名称を印刷できます。

2 表示ラベルを RM-200F/210F に挿入する。

指定のサイズに切り取った表示ラベルを、挿入口からしっかりと差し込みます。



[手書き用コピー台紙 (RM-200F/210F 専用)]

表示ラベル (RM-200F/210F 専用)



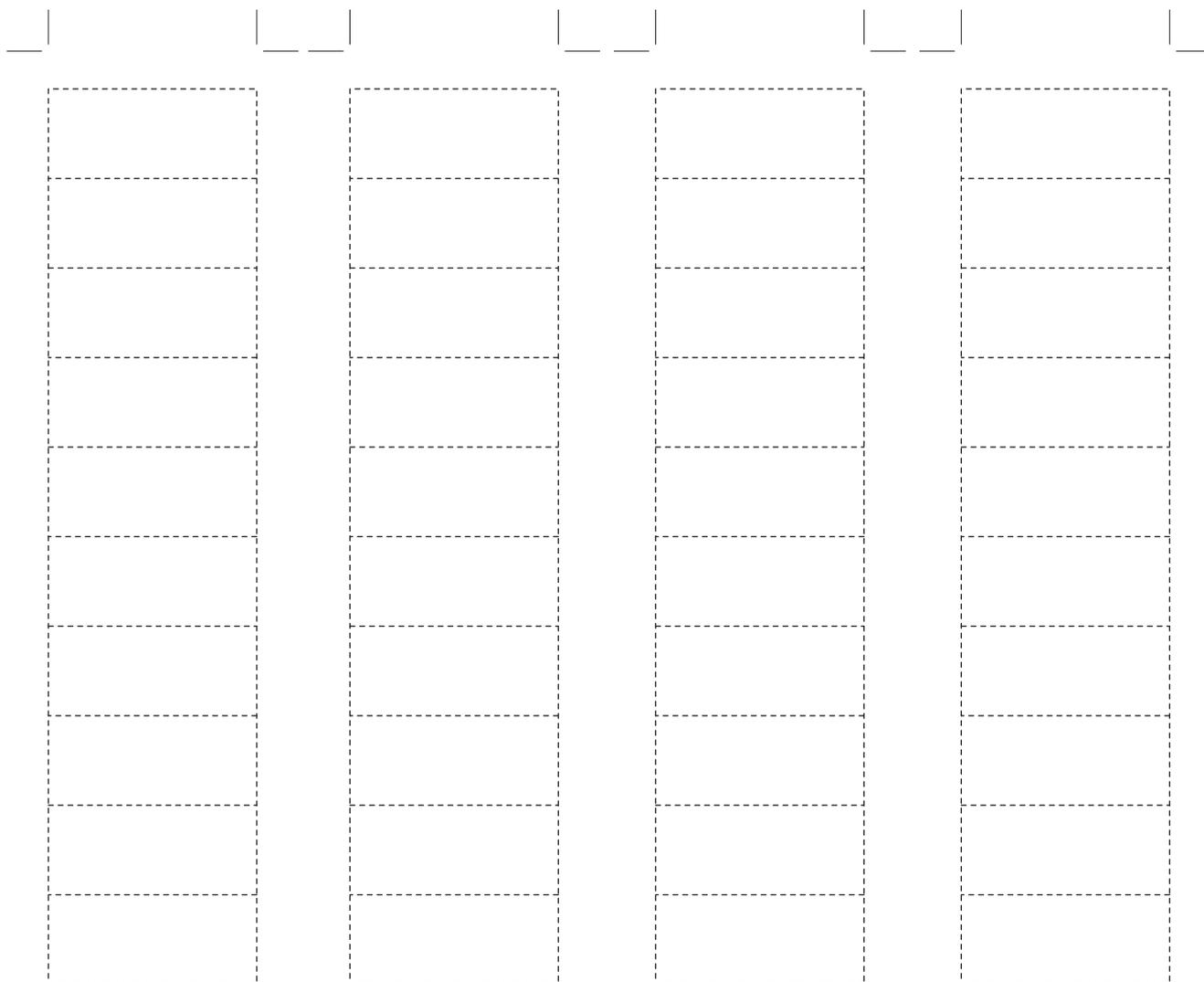
実寸

表示ラベル
(RM-200F/210F 専用)

表示ラベル
(RM-200F/210F 専用)

表示ラベル
(RM-200F/210F 専用)

表示ラベル
(RM-200F/210F 専用)



挿入方向

ガイドライン

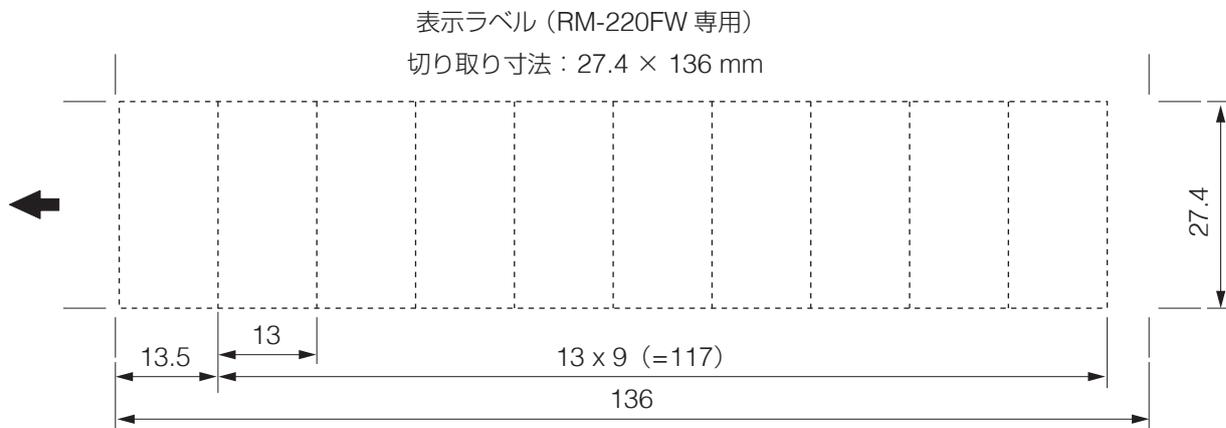
実寸

● RM-220FW の場合

1 次のいずれかの方法で RM-220FW 専用の表示ラベルを作成する。

いずれの場合も、厚さ 0.2 mm 以下の紙を使用し、印刷またはコピーした紙をガイドラインに合わせて切り取ってください。

1-1 下記の寸法図を基にパソコンなどで作成する。



1-2 次ページの「手書き用コピー台紙 (実寸)」をコピーする。

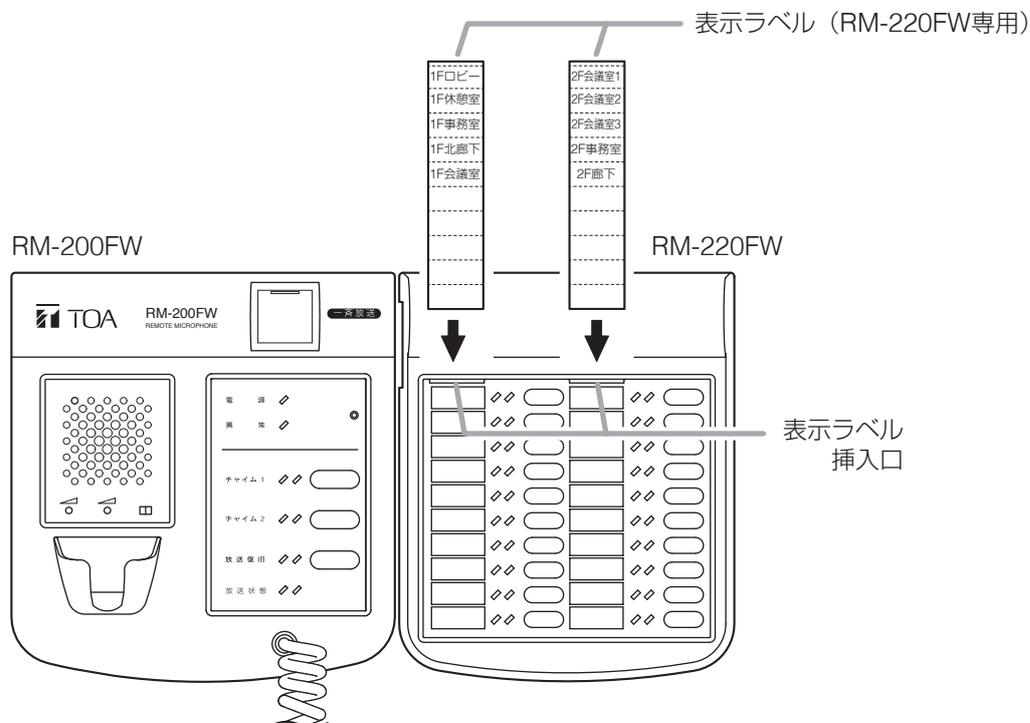
機能キーに割り当てた名称を手書きします。

1-3 FS-1000 設定支援ソフトウェアを使用する。

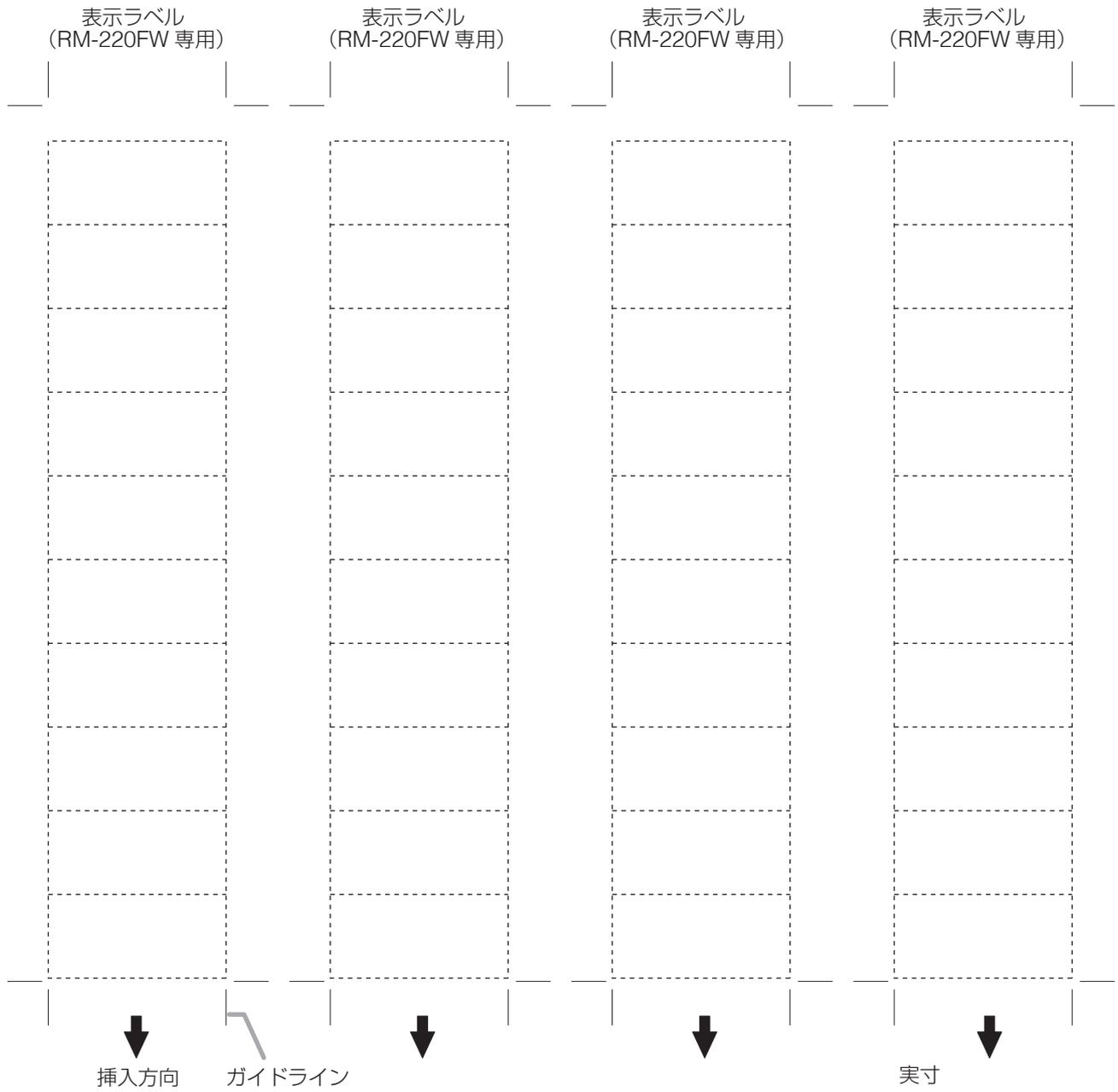
RM-220FW の機能キーに割り当てた名称を印刷できます。

2 表示ラベルを RM-220FW に挿入する。

指定のサイズに切り取った表示ラベルを、挿入口からしっかりと差し込みます。



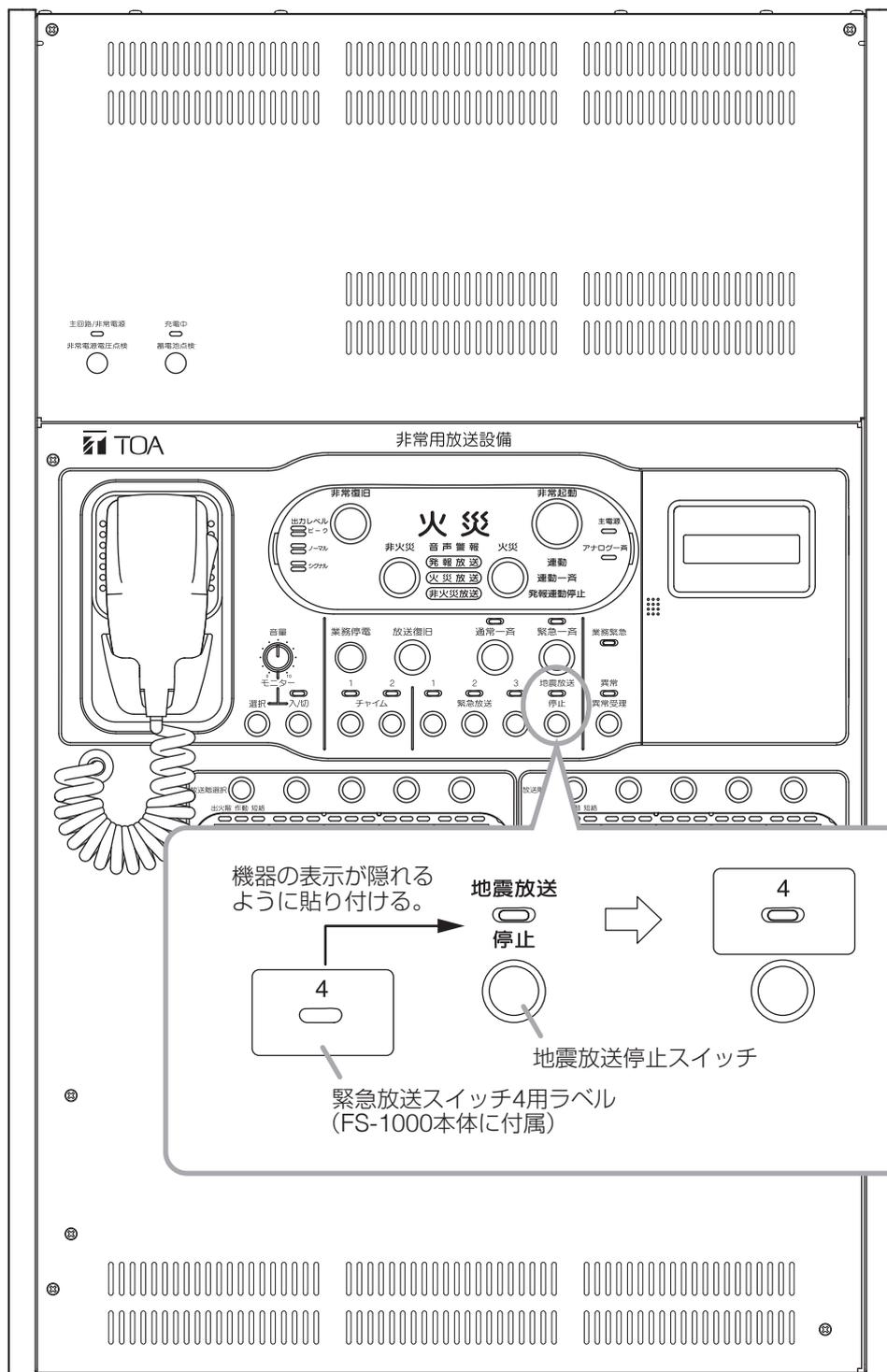
[手書き用コピー台紙 (RM-220FW 専用)]



緊急放送スイッチ 4 用ラベルの取り付け

緊急地震放送を行わず、FS-1000 本体の地震放送停止スイッチの用途を緊急放送に設定している場合は、FS-1000 本体に付属の緊急放送スイッチ 4 用ラベルを以下の場所に貼り付けてください。
 (P. 54 「緊急放送スイッチの設定 (1-3-5)」)

FS-1000操作部



データの初期化

FS-1000 本体の設定データを初期状態（工場出荷時の設定）に戻します。（ 次ページ「設定データの初期値」）

【初期化のしかた】

1 設定操作部の動作選択キーを押す。
動作選択メニュー画面が表示されます。

2 「1 システムセッテイ」を選択し、確定キーを押す。
パスワード入力画面が表示されます。

3 数字キーで4桁のパスワードを入力する。
システム設定メニュー画面が表示されます。

× モ

- 工場出荷時には、パスワードは「5555」に登録されています。
- パスワードの登録はシステム設定の「初期設定」で行います。（ P. 14）

【ご注意】

誤ったパスワードを入力すると、以下の画面が表示されます。

ハ° スワート° NG
サイニュウリヨク→カクテイ

確定キーを押すと、手順2のパスワード入力画面に戻るので、もう一度正しいパスワードを入力してください。

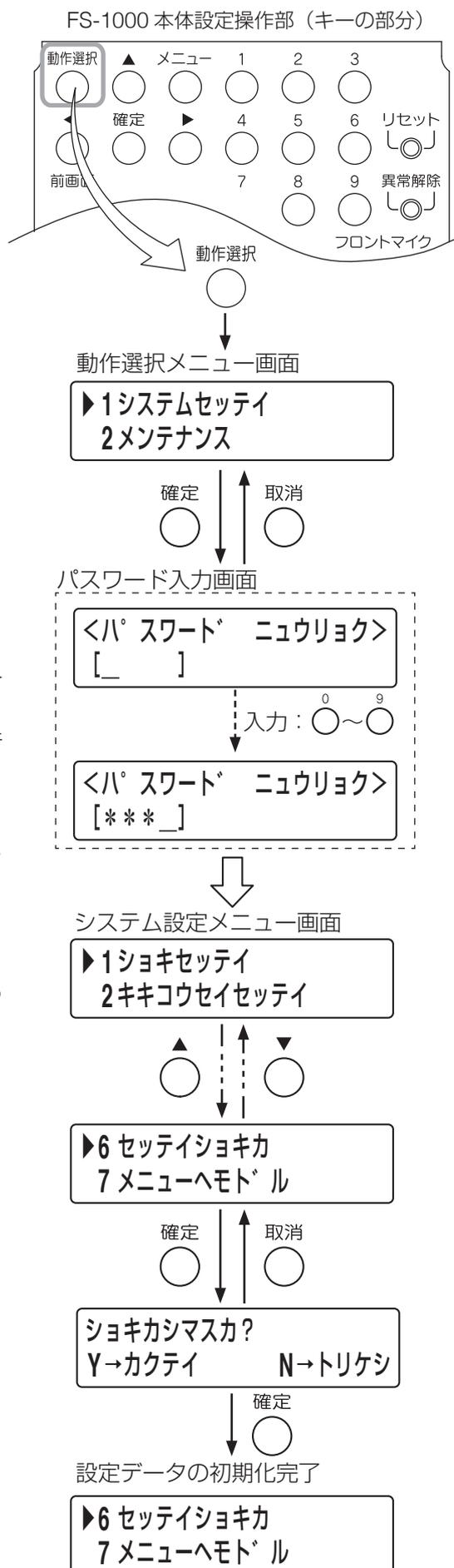
4 上下シフトキーで「6 セッテイシヨキカ」を選択し、確定キーを押す。

確認画面が表示されます。

5 確認の上、確定キーを押す。
設定データが初期化されます。

× モ

時刻、動作履歴・故障履歴は初期化されません。
パスワードは初期化されます。



設定データの初期値

各設定データの初期値（工場出荷時の状態）は、以下のように設定されています。

● 機器構成設定（1-2）

◎ 本体設定（1-2-1）

パワーアンプユニット	<input checked="" type="radio"/> 90 W / <input type="radio"/> 180 W / <input type="radio"/> 270 W / <input type="radio"/> 400 W
業務停電	あり <input checked="" type="radio"/> なし
非常用リモコン	台 <input checked="" type="radio"/> なし
業務用リモコン	台 <input checked="" type="radio"/> なし

● 機器制御設定（1-3）

◎ 回線グループ設定（1-3-1）

回線グループ設定の初期値は、以下のように設定されています。

グループ番号 1～30 : 回線 1～30

グループ番号 31～99 : 設定なし

グループ番号 100 : 全回線

[回線グループ設定]

グループ 番号	回線 1 回線	回線 2 回線	回線 3 回線	・	・	・	回線 20 回線	・	・	・	回線 30 回線
1	<input type="radio"/>										
2		<input type="radio"/>									
3			<input type="radio"/>								
・				・							
・					・						
20							<input type="radio"/>				
・								・			
・									・		
30											<input type="radio"/>
・											
・											
99											
100	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・	・	・	<input type="radio"/>				

※ 機種により回線数が異なります。上の表は 30 局の場合の例です。

10 局の場合は、グループ番号 11～99 までが設定なし、20 局の場合はグループ番号 21～99 までが設定なしになります。

◎ 本体 SW 設定 (1-3-2)

[一斉放送スイッチ・放送階選択スイッチ設定]

	名称	用途					緊急	個別／グループ	回線／グループ番号	非常系統番号
		非常	業務	兼用	BGM	未使用				
通常一斉放送スイッチ	通常一斉			-			なし	グループ	100	-
緊急一斉放送スイッチ	緊急一斉			-			あり	グループ	100	-
放送選択スイッチ 1	スイッチ 1			○			なし	グループ	1	1
・	・			○			なし	グループ	・	・
・	・			○			なし	グループ	・	・
・	・			○			なし	グループ	・	・
10	スイッチ 10			○			なし	グループ	10	10
11	スイッチ 11			○			なし	個別	1	1
12	スイッチ 12			○			なし	個別	2	2
・	・			○			なし	個別	・	・
・	・			○			なし	個別	・	・
・	・			○			なし	個別	・	・
38	スイッチ 38			○			なし	個別	28	28
39	スイッチ 39			○			なし	個別	29	29
40	スイッチ 40			○			なし	個別	30	30

[チャイムスイッチ設定]

	音源番号			
	1：上り4音	2：下り4音	3：2音	4：ゴング
チャイムスイッチ 1	○			
チャイムスイッチ 2		○		

◎ 非常 RM SW 設定 (1-3-3)

本体設定で非常用リモコンの台数を 1～4 台に設定した場合、非常 RM 番号 1～4 とともに FS-1000 本体と同じように設定されています。

◎ 業務 RM SW 設定 (1-3-4)

本体設定で業務用リモコンの台数を 1～4 台に設定した場合、業務 RM 番号 1～4 とともに以下のように設定されています。

[業務用リモコン動作設定]

機種	RM-500	RM-200F	RM-200FW
PTT/LOCK	PTT (LOCK)	PTT (LOCK)	PTT (固定)
タイムアウト	分 / 連続		
チャイム音量	-6 dB		
待ち時間	—	0 秒	
AUX	使用する / 使用しない		

[一斉放送スイッチ・回線選択スイッチ設定]

	用途		緊急	個別／グループ	回線／グループ番号
	業務	未使用			
一斉放送スイッチ	○		なし	グループ	100
回線選択スイッチ 1	○		なし	個別	1
2	○		なし	個別	2
・	○		なし	個別	・
・	○		なし	個別	・
・	○		なし	個別	・
40	○		なし	個別	40

※ 拡張ユニットの局数を最大に設定した場合

[チャイムスイッチ設定]

	音源番号			
	1: 上り 4 音	2: 下り 4 音	3: 2 音	4: ゴング
チャイムスイッチ 1	○			
チャイムスイッチ 2		○		

◎ 緊急放送 SW 設定 (1-3-5)

[緊急放送スイッチ設定]

	用途			音源番号	緊急	個別/ グループ	回線/ グループ番号
	緊急放送	地震放送停止	未使用				
緊急放送スイッチ 1			○	-	-	-	-
2			○	-	-	-	-
3			○	-	-	-	-
4		○		-	-	-	-

◎ 制御入力設定 (1-3-6)

[制御入力設定]

FS-1000 本体 制御入力端子	用途									番号	緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号
	電話ペー ジング放送	タイマ ー放送	外部マイ ク放送	接点式 RM 放送	BGM 放 送	接点式 RM チャ イム	緊急地 震放送	緊急放 送	緊急放 送停止				
制御入力 1									○	-	-	-	-
制御入力 2									○	-	-	-	-
制御入力 3									○	-	-	-	-
制御入力 4									○	-	-	-	-
制御入力 5									○	-	-	-	-
制御入力 6									○	-	-	-	-
制御入力 7									○	-	-	-	-
制御入力 8									○	-	-	-	-
制御入力 9									○	-	-	-	-
制御入力 10									○	-	-	-	-
接点式 RM1				○						-	なし	個別	1
接点式 RM2				○						-	なし	個別	2
接点式 RM3				○						-	なし	個別	3
接点式 RM4				○						-	なし	個別	4
接点式 RM5				○						-	なし	個別	5
接点式 RM6				○						-	なし	個別	6
接点式 RM7				○						-	なし	個別	7
接点式 RM8				○						-	なし	個別	8
接点式 RM9				○						-	なし	個別	9
接点式 RM10				○						-	なし	個別	10
接点式 RM 一斉				○						-	なし	グループ	100
接点式 RM チャイム 1					○					3	-	-	-
接点式 RM チャイム 2									○	-	-	-	-
緊急地震放送入力						○				1	あり	グループ	100
電話ペー ジング入力	○									-	なし	グループ	100
タイマ ー入力		○								-	あり	グループ	100
外部マイ ク入力			○							-	なし	グループ	100

RM-500 制御入力端子	用途				番号	緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号
	回線選択	AUX 放送	AUX スイッチ	未使用				
業務 RM1 制御入力 1				○	-	-	-	-
業務 RM2 制御入力 1				○	-	-	-	-
業務 RM3 制御入力 1				○	-	-	-	-
業務 RM4 制御入力 1				○	-	-	-	-

◎ 制御出力設定 (1-3-7)

[制御出力設定]

接点番号	用途												
	音声警報出力中	発報放送中	火災放送中	非火災放送中	火災一斉移行	非常マイク放送中	緊急地震放送中	放送中	業務放送中	業務緊急放送中	保守点検中	異常発生中	未使用
制御出力 1	○												
制御出力 2		○											
制御出力 3			○										
制御出力 4				○									
制御出力 5					○								
制御出力 6						○							
制御出力 7							○						
制御出力 8								○					
制御出力 9									○				
制御出力 10										○			
制御出力 11											○		
業務 RM1 制御出力 1													○
業務 RM2 制御出力 1													○
業務 RM3 制御出力 1													○
業務 RM4 制御出力 1													○

● 非常放送設定 (1-4)

◎ 音声警報設定 (1-4-1)

[音声警報設定]

手動・発信器起動	発報/ <u>火災</u>
感知器発報放送	<u>連動</u> /連動停止
発報放送回数	2回
発報放送繰返し設定	<u>なし</u> /繰返し/継続
発報放送間隔	分 秒
警報言語	<u>日本語</u> /二ヶ国語/三ヶ国語/四ヶ国語

◎ 非常タイマー設定 (1-4-2)

[非常タイマー設定]

火災放送移行タイマー	2分 0秒
一斉移行機能	<u>あり</u> /なし
一斉移行タイマー	2分 0秒

◎ 放送階選択方法設定 (1-4-3)

[放送階選択方法設定]

自火報選択連動	<input checked="" type="radio"/> 連動 <input type="radio"/> 一斉
手動階放送連動	<input checked="" type="radio"/> 階別 <input type="radio"/> 連動
二度押し復旧	<input checked="" type="radio"/> 禁止 <input type="radio"/> 許可

◎ 階メッセージ設定 (1-4-4)

[階メッセージ設定]

EL 端子	非常系統		階情報	
	系統番号	非常系統名称	階メッセージ番号	階名称
1	1	非常系統 1	6	1 階
2	2	非常系統 2	7	2 階
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
25	25	非常系統 25	30	25 階
26	26	非常系統 26	31	26 階
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
30	30	非常系統 30	35	30 階

◎ 出火階連動系統設定 (1-4-5)

[出火階連動系統設定]

		連動系統							
		1	2	3	⋮	⋮	⋮	29	30
出火系統	1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>						
	2		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>					
	3			<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	⋮				<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>			
	⋮					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	⋮						<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	29							<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	30								<input checked="" type="radio"/>

☒ 毛 「◎」は出火系統、「○」は連動系統を表します。

● 業務動作設定 (1-5)

◎ 業務放送動作設定 (1-5-1)

[業務放送動作設定]

種類	BGM 制御設定					チャイム連動設定									
						開始チャイム					終了チャイム				
	アナキーパ	ボイススイッチ	ミュート	カット	カットなし	1	2	3	4	未使用	1	2	3	4	未使用
本体放送		○								○					○
非常 RM1 放送		○								○					○
非常 RM2 放送		○								○					○
非常 RM3 放送		○								○					○
非常 RM4 放送		○								○					○
業務 RM1 放送	○									○					○
業務 RM2 放送	○									○					○
業務 RM3 放送	○									○					○
業務 RM4 放送	○									○					○
接点式 RM 放送			○							○					○
タイマー放送			○							○					○
電話ページング放送			○							○					○
外部マイク放送			○							○					○

種類	モード
作動表示灯	<input checked="" type="radio"/> 通常 / <input type="radio"/> 自機放送中のみ / <input type="radio"/> 回線動作中

開始/終了チャイム

1: 上り 4 音 2: 下り 4 音 3: 2 音 4: ゴング

◎ 優先度設定 (1-5-2)

[優先度設定]

業務放送	優先度 (1 ~ 20)
本体放送	2
非常 RM1 放送	3
非常 RM2 放送	4
非常 RM3 放送	5
非常 RM4 放送	6
業務 RM1 放送	7
業務 RM2 放送	8
業務 RM3 放送	9
業務 RM4 放送	10
接点式 RM 放送	11
タイマー放送	1
電話ページング放送	12
外部マイク放送	13
緊急放送 1	1
緊急放送 2	1
緊急放送 3	1
緊急放送 4	1

◎ 同一優先度設定 (1-5-3)

[同一優先度動作設定]

優先度	同一優先度動作
1	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
2	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
3	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
4	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
5	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
6	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
7	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
8	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
9	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
10	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
11	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
12	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
13	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
14	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
15	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
16	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
17	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
18	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
19	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
20	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り

◎ 非常断 24 V 出力設定 (1-5-4)

[非常断 24 V 出力設定]

業務放送時動作
<input checked="" type="radio"/> 継続 / <input type="radio"/> カット / <input type="radio"/> 緊急カット

◎ チャイム音量設定 (1-5-5)

種類	音量
チャイム 1 (上り 4 音)	-10 dB
チャイム 2 (下り 4 音)	-10 dB
チャイム 3 (2 音)	-10 dB
チャイム 4 (ゴング)	-10 dB

◎ 緊急メッセージ音量 (1-5-6)

種類	音量
メッセージ 1	0 dB
メッセージ 2	0 dB
メッセージ 3	0 dB
メッセージ 4	0 dB
メッセージ 5	0 dB
メッセージ 6	0 dB
メッセージ 7	0 dB
メッセージ 8	0 dB
メッセージ 9	0 dB
メッセージ 10	0 dB

◎ 点検音源音量設定 (1-5-7)

音源	音量
点検開始	-10 dB
点検中	-20 dB

◎ ボイススイッチ設定 (1-5-8)

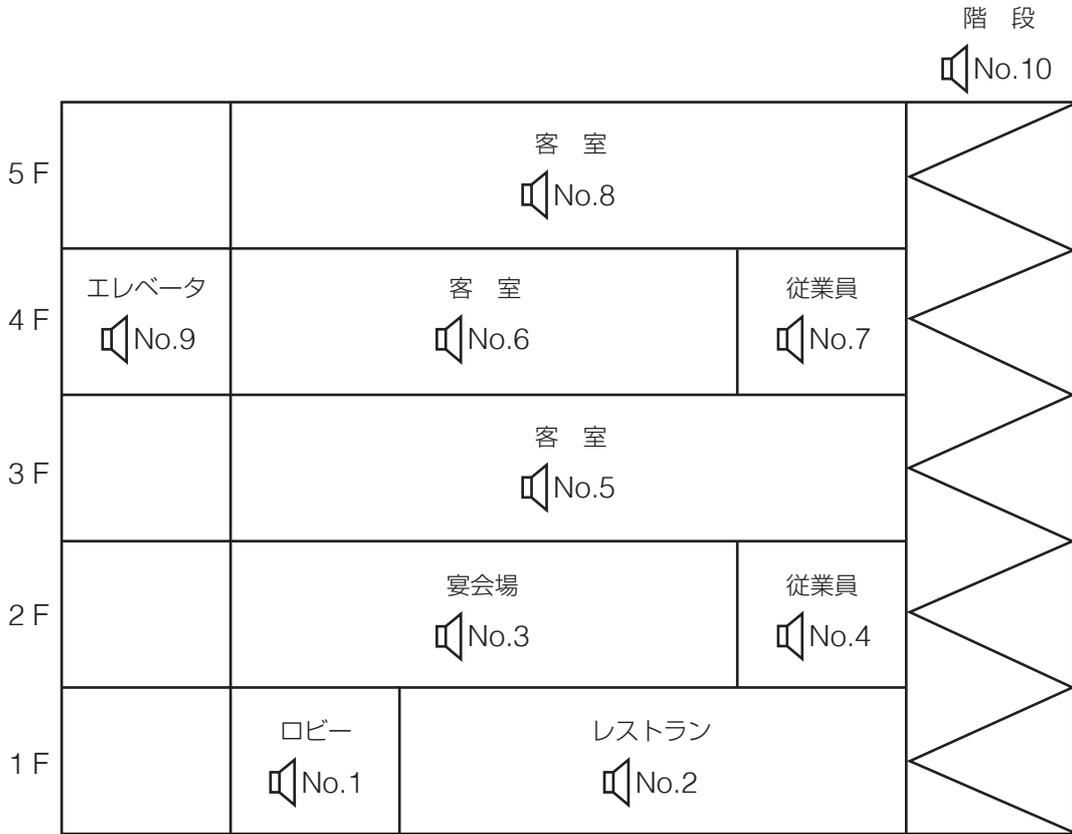
種類	感度	減衰方法	BGM 減衰量	ホールド時間	BGM 復帰時間	減衰開始待ち時間	減衰時間	復帰開始感度
本体放送	-30 dB	ボイススイッチ	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM1 放送	-30 dB	ボイススイッチ	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM2 放送	-30 dB	ボイススイッチ	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM3 放送	-30 dB	ボイススイッチ	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM4 放送	-30 dB	ボイススイッチ	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
外部マイク放送	-30 dB	ミュート	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB

設定表の記入方法

■ スピーカー回線の構成例

本章では、以下のようなホテルを例にあげて、設定表の記入方法を説明します。

[建物の構成]

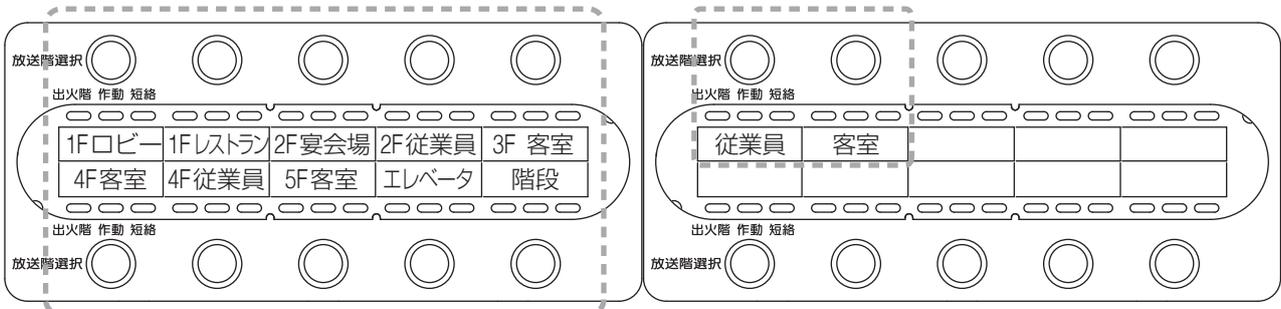


※ No.1 ~ No.10 はスピーカー回線の番号です。

[放送階選択スイッチへの割り当て]

No.1~No.10の各回線に放送

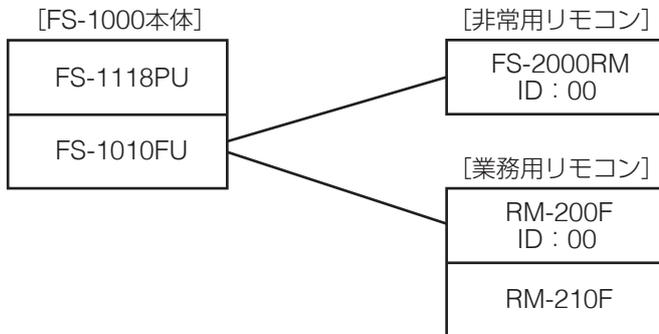
複数の回線にまとめて放送



■ 設定表の記入例

- システム設定を始める前に、設定表に設定内容を記入してください。設定した内容の保存や、設定を容易にするために必ず記入をしてください。
- 本書の最後にある設定表（P. 158）をコピーしてお使いください。
- 決められた機器の仕様に従って記入してください。
- 設定内容についての詳細は、P. 11 「システム設定のしかた」をお読みください。

[システム例]



以下の設定表の記入例は、上図のシステム構成のように設置した場合です。

● 機器構成設定 (1-2)

◎ 本体構成 (1-2-1)

[本体設定] (☞ P. 18 「FS-1000 本体の設定 (1-2-1)」)

パワーアンプユニット	90 W/ <u>180 W</u> /270 W/400 W
業務停電	あり/ <u>なし</u>
非常用リモコン	1 台 / なし
業務用リモコン	1 台 / なし

◎ 非常 RM 構成 (1-2-2)

[非常 RM 構成] (☞ P. 19 「非常用リモコンの設定 (1-2-2)」)

No.	ID	機種	増設操作パネル	電源台数
1	00	FS-2000RM	局/ <u>なし</u>	台/ <u>なし</u>
2	01		局 / なし	台 / なし

◎ 業務 RM 構成 (1-2-3)

[業務 RM 構成] (☞ P. 21 「業務用リモコンの設定 (1-2-3)」)

No.	ID	機種	拡張ユニット
1	00	RM-200F	10 局 / なし
2	01		局 / なし

● 機器制御設定 (1-3)

◎ 回線グループ設定 (1-3-1)

【回線グループ設定】 (☞ P. 24 「回線グループの設定 (1-3-1)」)

グループ 番号	名称	回線1 回線	回線2 回線	回線3 回線	回線4 回線	回線5 回線	回線6 回線	回線7 回線	回線8 回線	回線9 回線	回線10 回線
1	全館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	従業員				○			○			
3	客室					○	○		○		
4											

◎ 本体 SW 設定 (1-3-2)

【一斉放送スイッチ・放送階選択スイッチ設定】 (☞ P. 25 「放送階選択スイッチの設定 (1-3-2-1)」)

(☞ P. 30 「通常／緊急一斉放送スイッチの設定 (1-3-2-2)」)

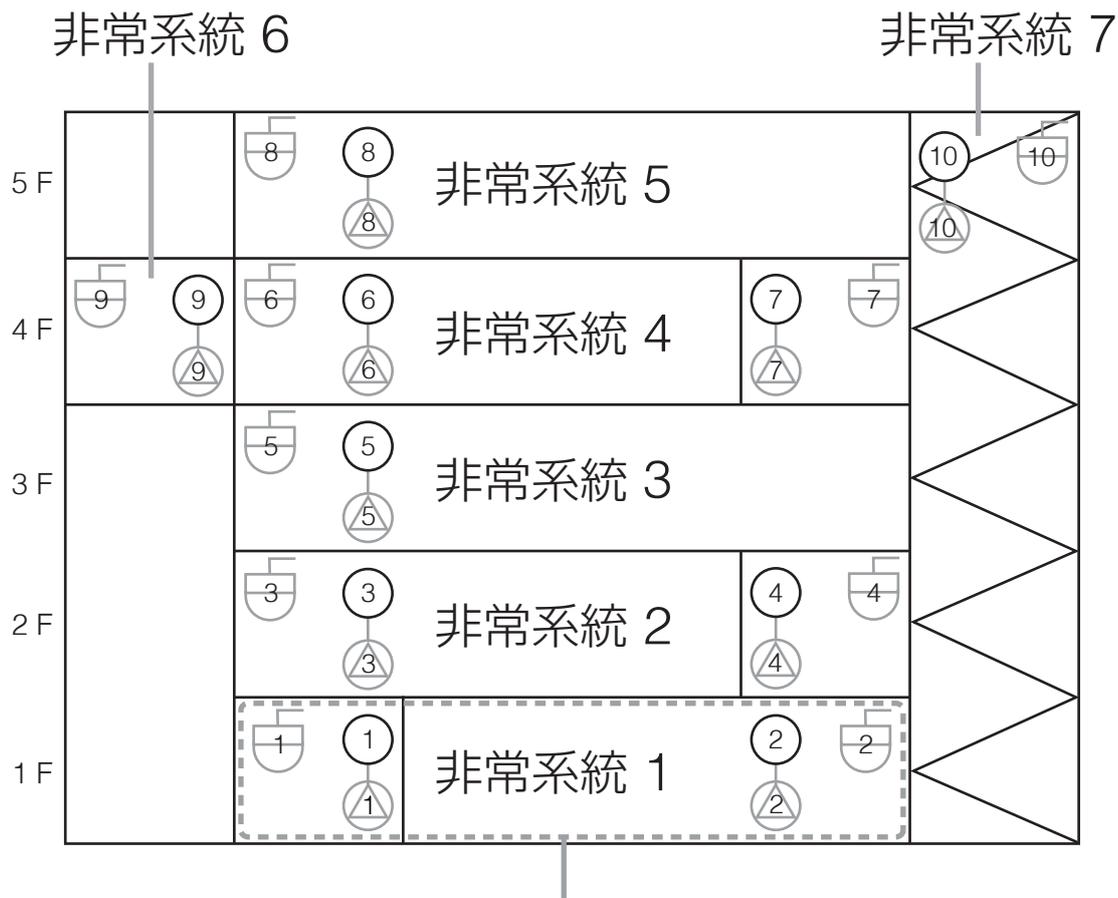
	名称	用途					緊急	個別/ グループ	回線/ グループ	非常系統 番号
		非常	業務	兼用	BGM	未使用				
通常一斉放送スイッチ	全館 (通常)				-		なし	グループ	1	-
緊急一斉放送スイッチ	全館 (緊急)				-		あり	グループ	1	-
放送選択スイッチ 1	1F ロビー			○			なし	個別	1	1
2	1F レストラン			○			なし	個別	2	1
3	2F 宴会場			○			なし	個別	3	2
4	2F 従業員			○			なし	個別	4	2
5	3F 客室			○			なし	個別	5	3
6	4F 客室			○			なし	個別	6	4
7	4F 従業員			○			なし	個別	7	4
8	5F 客室			○			なし	個別	8	5
9	エレベータ			○			なし	個別	9	6
10	階段			○			なし	個別	10	7
11	従業員		○				なし	グループ	2	-
12	客室		○				なし	グループ	3	-
13	未使用					○	-	-	-	-
14	未使用					○	-	-	-	-
15	未使用					○	-	-	-	-
16	未使用					○	-	-	-	-
17	未使用					○	-	-	-	-
18	未使用					○	-	-	-	-
19	未使用					○	-	-	-	-
20	未使用					○	-	-	-	-

☒ ☒ 表の ☐ 部は記入不要 (初期設定のままで固定) です。

※ FS-1000 本体と各非常用リモコンについて、本シートを作成します。

[非常系統の例]

前述の記入例では、放送階選択スイッチに対して以下のように非常系統を設定しています。



例：放送階選択スイッチ1および2で放送するエリアを非常系統1として設定する。

○：放送階選択スイッチ △：スピーカー回線 ㊦：階別信号 (EL)

[チャイムスイッチ設定] (☞ P. 32 「チャイムスイッチの設定 (1-3-2-3)」)

	音源番号			
	1：上り4音	2：下り4音	3：2音	4：ゴング
チャイムスイッチ1	○			
チャイムスイッチ2		○		

※ 非常用リモコンを使用するときは、FS-1000 本体と各非常用リモコンについて、本シートを作成します。

◎ 非常 RM SW 設定 (1-3-3)

非常用リモコンを使用する場合、設定表の記入方法は本体 SW 設定と同様です。

◎ 業務 RM SW 設定 (1-3-4)

[業務用リモコン動作設定] (☞ P. 42 「業務用リモコンの動作の設定 (1-3-4-1)」)

PTT/LOCK	PTT / LOCK
タイムアウト	分 / 連続
チャイム音量	-6 dB
待ち時間	0 秒
AUX	使用する / しない

※ 業務用リモコンを複数台使用するときには、各リモコンについて、本シートを作成します。

[一斉放送スイッチ・回線選択スイッチ設定] (P. 50 「一斉放送キーの設定 (1-3-4-3)」
 (P. 46 「回線選択キーの設定 (1-3-4-2)」)

	名称	用途		緊急	個別/ グループ	回線/ グループ番号
		業務	未使用			
一斉放送スイッチ	全館 (通常)	○		なし	グループ	1
回線選択スイッチ 1	1F ロビー	○		なし	個別	1
2	1F レストラン	○		なし	個別	2
3	2F 宴会場	○		なし	個別	3
4	2F 従業員	○		なし	個別	4
5	3F 客室	○		なし	個別	5
6	4F 客室	○		なし	個別	6
7	4F 従業員	○		なし	個別	7
8	5F 客室	○		なし	個別	8
9	エレベータ	○		なし	個別	9
10	階段	○		なし	個別	10
11	従業員	○		なし	グループ	2
12	客室	○		なし	グループ	3
13	未使用		○	-	-	-
14	未使用		○	-	-	-
15	未使用		○	-	-	-
16	未使用		○	-	-	-
17	未使用		○	-	-	-
18	未使用		○	-	-	-
19	未使用		○	-	-	-
20	未使用		○	-	-	-

表の 部は記入不要 (初期設定のままで固定) です。

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて、本シートを作成します。

[チャイムスイッチ設定] (P. 52 「チャイムキーの設定 (1-3-4-4)」)

	音源番号			
	1: 上り 4 音	2: 下り 4 音	3: 2 音	4: ゴング
チャイムスイッチ 1	○			
チャイムスイッチ 2		○		

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて、本シートを作成します。

◎ 緊急放送スイッチ設定 (1-3-5)

[緊急放送スイッチ設定] (P. 54 「緊急放送スイッチの設定 (1-3-5)」)

	名称	音源番号			音源番号	緊急	個別/ グループ	回線/ グループ
		緊急放送	地震放送停止	未使用				
緊急放送スイッチ 1	火災訓練	○			2	あり	グループ	1
2	地震訓練	○			3	あり	グループ	1
3	防犯 (一般)	○			6	あり	グループ	1
4	地震放送停止		○		-	-	-	-

※ 緊急放送スイッチ設定は、FS-1000 本体と非常用リモコンで共通です。

表の 部は記入不要です。(設定不可)

◎ 制御入力設定 (1-3-6)

[制御入力設定] (P. 58 「制御入力の設定 (1-3-6)」)

接点入力端子	接点名称	用途								番号	緊急	個別 ／ グループ	回線 ／ グループ 番号		
		電話ページング放送	タイマー放送	外部マイク放送	接点式 RM 放送	BGM 放送	接点式 RM チャイム	緊急地震放送	緊急放送					緊急放送停止	未使用
制御入力 1	BGM 入力					○						1	なし	グループ	1
制御入力 2	未使用									○		-	-	-	-
制御入力 3	未使用									○		-	-	-	-
制御入力 4	未使用									○		-	-	-	-
制御入力 5	未使用									○		-	-	-	-
制御入力 6	未使用									○		-	-	-	-
制御入力 7	未使用									○		-	-	-	-
制御入力 8	未使用									○		-	-	-	-
制御入力 9	未使用									○		-	-	-	-
制御入力 10	未使用									○		-	-	-	-
接点式 RM1	接点式 RM 選択 SW1				○							-	なし	個別	1
接点式 RM2	接点式 RM 選択 SW2				○							-	なし	個別	2
接点式 RM3	接点式 RM 選択 SW3				○							-	なし	個別	3
接点式 RM4	接点式 RM 選択 SW4				○							-	なし	個別	4
接点式 RM5	接点式 RM 選択 SW5				○							-	なし	個別	5
接点式 RM6	接点式 RM 選択 SW6				○							-	なし	個別	6
接点式 RM7	接点式 RM 選択 SW7				○							-	なし	個別	7
接点式 RM8	接点式 RM 選択 SW8				○							-	なし	個別	8
接点式 RM9	接点式 RM 選択 SW9				○							-	なし	個別	9
接点式 RM10	接点式 RM 選択 SW10				○							-	なし	個別	10
接点式 RM 一斉	接点式 RM 一斉放送 SW				○							-	なし	グループ	1
接点式 RM チャイム 1	接点式 RM チャイム SW					○						3	-	-	-
接点式 RM チャイム 2	未使用									○		-	-	-	-
緊急地震放送入力	緊急地震放送						○					1	あり	グループ	1
電話ページング入力	電話ページング	○										-	なし	グループ	1
タイマー入力	タイマー放送		○									-	あり	グループ	1
外部マイク入力	外部マイク放送			○								-	なし	グループ	1

☒ 表の 部は記入不要です。(設定不可)

◎ 制御出力設定 (1-3-7)

[制御出力設定] (P. 65 「制御出力の設定 (1-3-7)」)

接点番号	接点名称	用途												
		音声警報出力中	発報放送中	火災放送中	非火災放送中	火災一斉移行	非常マイク放送中	緊急地震放送中	業務放送中	業務緊急放送中	保守点検中	異常発生中	未使用	
制御出力 1	音声警報出力中	○												
制御出力 2	発報放送中		○											
制御出力 3	火災放送中			○										
制御出力 4	非火災放送中				○									
制御出力 5	火災一斉移行					○								
制御出力 6	非常マイク放送中						○							
制御出力 7	地震放送中							○						
制御出力 8	業務放送中								○					
制御出力 9	業務緊急放送中									○				
制御出力 10	保守点検中										○			
制御出力 11	異常発生中											○		

● 非常放送設定 (1-4)

◎ 音声警報設定 (1-4-1)

[音声警報設定] (P. 68 「音声警報の設定 (1-4-1)」)

手動・発信器起動	発報/火災
感知器発報放送	連動/連動停止
発報放送回数	2回
発報放送繰返し設定	なし/繰返し/継続
発報放送間隔	分 秒
警報言語	日本語/二カ国語

◎ 非常タイマー設定 (1-4-2)

[非常タイマー設定] (P. 73 「非常タイマーの設定 (1-4-2)」)

火災放送移行タイマー	2分 0秒
一斉移行機能	あり/なし
一斉移行タイマー	分 秒

◎ 放送階選択方法設定 (1-4-3)

[放送階選択方法設定] (P. 75 「放送階の選択方法の設定 (1-4-3)」)

自火報選択連動	連動/一斉
手動階放送連動	階別/連動
二度押し復旧	禁止/許可

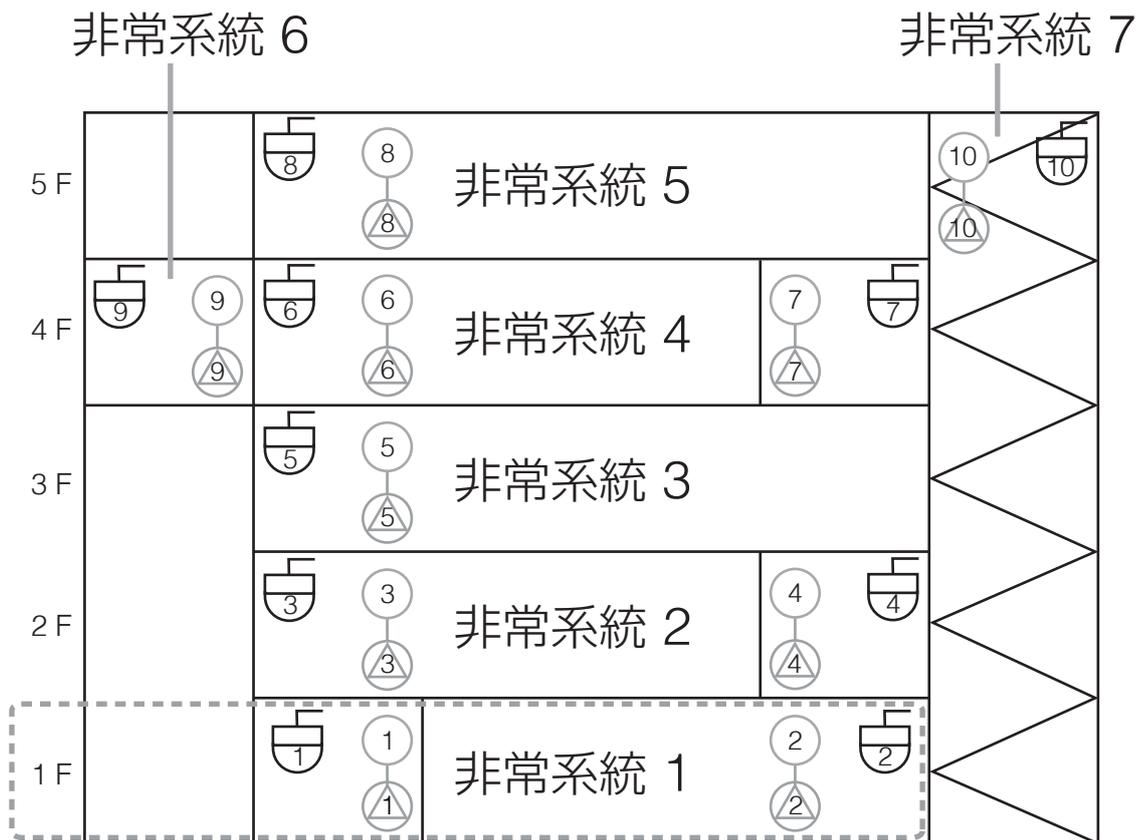
◎ 階メッセージ設定 (1-4-4)

[階メッセージ設定] (P. 77 「階メッセージの設定 (1-4-4)」)

EL 端子	非常系統		階情報	
	系統番号	非常系統名称	階メッセージ番号	階名称
1	1	1F	6	1階
2	1	"	6	"
3	2	2F	7	2階
4	2	"	7	"
5	3	3F	8	3階
6	4	4F	9	4階
7	4	"	9	"
8	5	5F	10	5階
9	6	エレベーター	54	エレベーター
10	7	階段	46	階段

[非常系統の例]

上記の記入例では、EL 端子に対して以下のように非常系統・階名称を設定しています。



例：EL端子1および2を、非常系統1・階名称「1階」として設定する。

○：放送階選択スイッチ △：スピーカー回線 ㊦：階別信号 (EL)

◎ 出火階連動系統設定 (1-4-5)

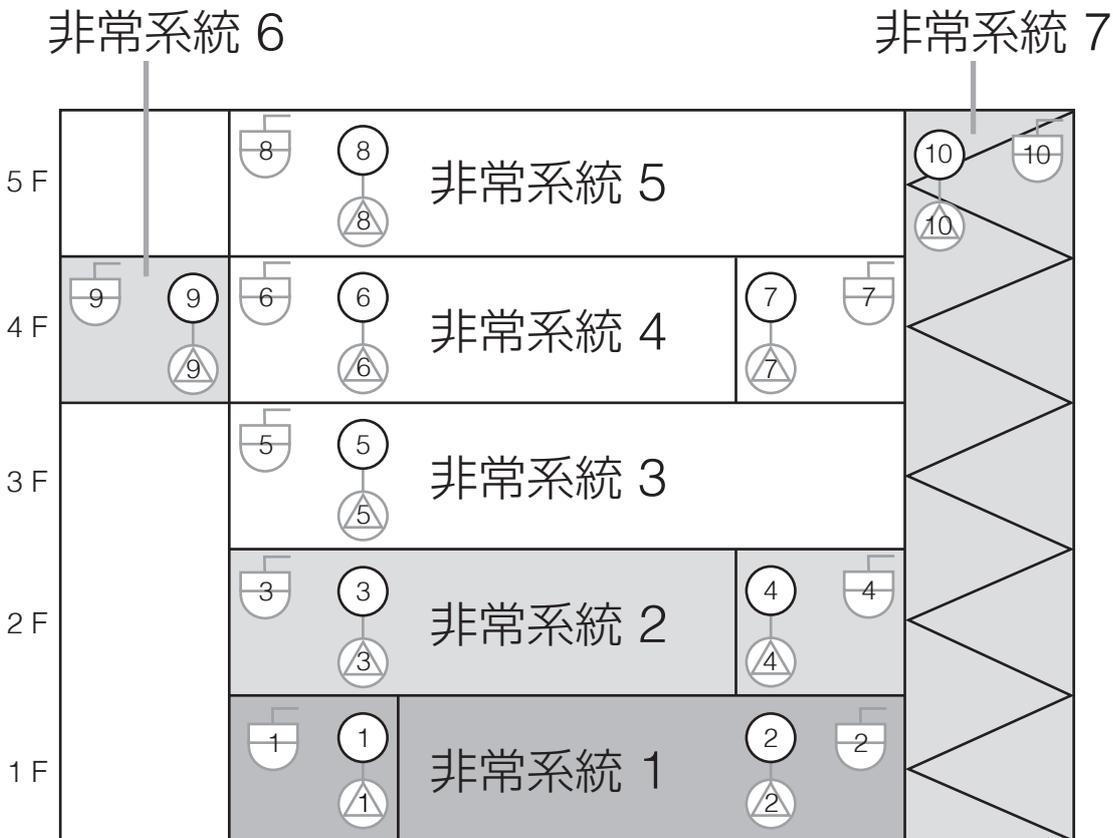
[出火階連動系統設定] (P. 79 「出火階連動系統の設定 (1-4-5)」)

			連動系統						
			1	2	3	4	5	6	7
			1F	2F	3F	4F	5F	エレベーター	階段
出火系統	1	1F	◎	○				○	○
	2	2F		◎	○			○	○
	3	3F			◎	○		○	○
	4	4F				◎	○	○	○
	5	5F					◎	○	○
	6	エレベーター						◎	○
	7	階段						○	◎

☒ ☒ 「◎」は出火系統、「○」は連動系統を表します。

[非常系統の例]

上記の記入例では、非常系統 1 が出火した場合、非常系統 2、6、7 の放送階が連動して選択されます。



○ : 放送階選択スイッチ △ : スピーカー回線 ☒ : 階別信号 (EL)

● 業務動作設定 (1-5)

◎ 業務放送動作設定 (1-5-1)

【業務放送動作設定】 (P. 82 「業務放送動作の設定 (1-5-1)」)

種類	BGM 制御設定					チャイム連動設定									
						開始チャイム					終了チャイム				
	アナキーパ	ボイススイッチ	ミュート	カット	カットなし	1	2	3	4	未使用	1	2	3	4	未使用
本体放送		○								○					○
非常 RM1 放送		○								○					○
非常 RM2 放送										○					○
非常 RM3 放送										○					○
非常 RM4 放送										○					○
業務 RM1 放送	○									○					○
業務 RM2 放送										○					○
業務 RM3 放送										○					○
業務 RM4 放送										○					○
接点式 RM 放送			○							○					○
タイマー放送			○							○					○
電話ページング放送			○							○					○
外部マイク放送			○							○					○

種類	モード
作動表示灯	<input checked="" type="checkbox"/> 通常 / <input type="checkbox"/> 自機放送中のみ / <input type="checkbox"/> 回線動作中

開始/終了チャイム

1: 上り 4 音 2: 下り 4 音 3: 2 音 4: ゴング

※ 使用しない放送については記入不要です。

☒ 表の ■ 部は記入不要です。(設定不可)

◎ 優先度設定 (1-5-2)

【優先度設定】

(P. 91 「優先度設定 (1-5-2)」)

業務放送	優先度 (1 ~ 20)
本体放送	2
非常 RM1 放送	3
非常 RM2 放送	
非常 RM3 放送	
非常 RM4 放送	
業務 RM1 放送	7
業務 RM2 放送	
業務 RM3 放送	
業務 RM4 放送	
接点式 RM 放送	11
タイマー放送	1
電話ページング放送	12
外部マイク放送	13
緊急放送 1	1
緊急放送 2	1
緊急放送 3	1
緊急放送 4	1

※ 使用しない放送については記入不要です。

◎ 同一優先度設定 (1-5-3)

【同一優先度動作設定】

(P. 92 「同一優先度制御設定 (1-5-3)」)

優先度	備考
1	先取り / 後取り
2	先取り / 後取り
3	先取り / 後取り
4	先取り / 後取り
5	先取り / 後取り
6	先取り / 後取り
7	先取り / 後取り
8	先取り / 後取り
9	先取り / 後取り
10	先取り / 後取り
11	先取り / 後取り
12	先取り / 後取り
13	先取り / 後取り
14	先取り / 後取り
15	先取り / 後取り
16	先取り / 後取り
17	先取り / 後取り
18	先取り / 後取り
19	先取り / 後取り
20	先取り / 後取り

◎ 非常断 24 V 出力設定 (1-5-4)

【非常断 24 V 出力設定】 (P. 93 「非常断 24 V 出力設定 (1-5-4)」)

業務放送時動作
継続 / カット / 緊急カット

設定表

● 機器構成設定 (1-2)

◎ 本体構成 (1-2-1)

[本体構成]

パワーアンプユニット	90 W/180 W/270 W/400 W
業務停電	あり / なし
非常用リモコン	台 / なし
業務用リモコン	台 / なし

◎ 非常 RM 構成 (1-2-2)

[非常 RM 構成]

No.	ID	機種	増設操作パネル	電源台数
1	00		局 / なし	台 / なし
2	01		局 / なし	台 / なし
3	02		局 / なし	台 / なし
4	03		局 / なし	台 / なし

◎ 業務 RM 構成 (1-2-3)

[業務 RM 構成]

No.	ID	機種	スイッチ数	バックライト	操作音	マイク LED	キーロック
1	00		局 / なし	ON / 分 / OFF	ON / OFF	ON / OFF	使用しない / 使用する
2	01		局 / なし	ON / 分 / OFF	ON / OFF	ON / OFF	使用しない / 使用する
3	02		局 / なし	ON / 分 / OFF	ON / OFF	ON / OFF	使用しない / 使用する
4	03		局 / なし	ON / 分 / OFF	ON / OFF	ON / OFF	使用しない / 使用する

● 機器制御設定 (1-3)

◎ 回線グループ設定 (1-3-1)

[回線グループ設定] (P. 141)

◎ 本体スイッチ設定 (1-3-2)

[本体放送階選択スイッチ設定 / 通常・緊急一斉スイッチ設定] (P. 142)

[チャイムスイッチ設定]

	音源番号			
	1 : 上り 4 音	2 : 下り 4 音	3 : 2 音	4 : ゴング
チャイムスイッチ 1				
チャイムスイッチ 2				

※ 非常用リモコンを使用するときは、FS-1000 本体と各非常用リモコンについて、本シートを作成します。

◎ 非常 RM スイッチ設定 (1-3-3)

非常用リモコンを使用するときは、本体スイッチ設定で使用するシートを非常用リモコンの台数分作成します。

◎ 業務 RM スイッチ設定 (1-3-4)

[業務 RM 動作設定]

PTT/LOCK	PTT/LOCK	ミュートトリガー	音声レベル/ トークスイッチ
タイムアウト	分/連続	開始感度	dB
チャイム音量	dB	終了感度	dB
待ち時間	秒	ミュート量	dB
プリセレクト	使用しない/使用する	開始待ち時間	分
自動復旧	あり/なし	開始時間	分
AUX	使用しない/使用する	復帰待ち時間	分
AUX ミュート	しない/する	復帰時間	分

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて、本シートを作成します。

[回線選択スイッチ設定/一斉スイッチ設定] (P. 152)

[チャイムスイッチ設定]

	音源番号			
	1: 上り 4 音	2: 下り 4 音	3: 2 音	4: ゴング
チャイムスイッチ 1				
チャイムスイッチ 2				

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて、本シートを作成します。

◎ 緊急放送スイッチ設定 (1-3-5)

[緊急放送スイッチ設定]

	名称	用途			音源番号	緊急	個別/ グループ	回線/ グループ番号
		緊急放送	地震放送停止	未使用				
緊急放送スイッチ 1								
2								
3								
4								

※ 緊急放送スイッチ設定は、FS-1000 本体と非常用リモコンで共通です。

☒ 表の ■ 部は記入不要です。(設定不可)

◎ 制御入力設定 (1-3-6)

【制御入力設定】

FS-1000 本体 制御入力端子	接点名称	用途								番号	緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号
		電話ページング放送	タイマー放送	外部マイク放送	接点式 RM 放送	BGM 放送	接点式 RM チャイム	緊急地震放送	緊急放送				
制御入力 1													
制御入力 2													
制御入力 3													
制御入力 4													
制御入力 5													
制御入力 6													
制御入力 7													
制御入力 8													
制御入力 9													
制御入力 10													
接点式 RM1													
接点式 RM2													
接点式 RM3													
接点式 RM4													
接点式 RM5													
接点式 RM6													
接点式 RM7													
接点式 RM8													
接点式 RM9													
接点式 RM10													
接点式 RM 一斉													
接点式 RM チャイム 1													
接点式 RM チャイム 2													
緊急地震放送入力													
電話ページング入力													
タイマー入力													
外部マイク入力													

RM-500 制御入力端子	接点名称	用途				番号	緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号
		回線 選択	AUX 放送	AUX ス イッチ	未使用				
業務 RM1 制御入力									
業務 RM2 制御入力									
業務 RM3 制御入力									
業務 RM4 制御入力									

× 毛 表の ■ 部は記入不要です。(設定不可)

◎ 制御出力設定 (1-3-7)

[制御出力設定]

制御出力端子	接点名称	用途												
		音声警報出力中	発報放送中	火災放送中	非火災放送中	火災一斉移行	非常マイク放送中	緊急地震放送中	放送中	業務放送中	業務緊急放送中	保守点検中	異常発生中	未使用
制御出力 1														
制御出力 2														
制御出力 3														
制御出力 4														
制御出力 5														
制御出力 6														
制御出力 7														
制御出力 8														
制御出力 9														
制御出力 10														
制御出力 11														
業務 RM1 制御出力 1														
業務 RM2 制御出力 1														
業務 RM3 制御出力 1														
業務 RM4 制御出力 1														

☒ 表の ■ 部は記入不要です。(設定不可)

● 非常動作設定 (1-4)

◎ 音声警報設定 (1-4-1)

[音声警報設定]

手動・発信器起動	発報／火災
感知器発報放送	連動／連動停止
発報放送回数	回
発報放送繰返し設定	なし／繰返し／継続
発報放送間隔	分 秒
警報言語	日本語／二ヶ国語／三ヶ国語／四ヶ国語

◎ 非常タイマー設定 (1-4-2)

[非常タイマー設定]

火災放送移行タイマー	分 秒
一斉移行機能	あり／なし
一斉移行タイマー	分 秒

◎ 階メッセージ設定 (1-4-4) (P. 145)

◎ 出火階連動システム設定 (1-4-5) (P. 145)

◎ 放送階選択方法設定 (1-4-3)

[放送階選択方法設定]

自火報選択連動	連動／一斉
手動階放送連動	階別／連動
二度押し復旧	禁止／許可

● 業務動作設定 (1-5)

◎ 業務放送動作設定 (1-5-1)

種類	BGM 制御設定					チャイム連動設定									
						開始チャイム					終了チャイム				
	アナキーパ	ボイススイッチ	ミュート	カット	カットなし	1	2	3	4	未使用	1	2	3	4	未使用
本体放送															
非常 RM1 放送															
非常 RM2 放送															
非常 RM3 放送															
非常 RM4 放送															
業務 RM1 放送															
業務 RM2 放送															
業務 RM3 放送															
業務 RM4 放送															
接点式 RM 放送															
タイマー放送															
電話ページング放送															
外部マイク放送															

種類	モード
作動表示灯	通常 / 自機放送中のみ / 回線動作中

※ 使用しない放送については記入不要です。

開始／終了チャイム

1：上り4音 2：下り4音 3：2音 4：ゴング

☒ ☒ 表の ☐ 部は記入不要です。(設定不可)

◎ 優先度設定 (1-5-2)

[優先度設定]

業務放送	優先度 (1～20)	備考
本体放送		
非常 RM1 放送		
非常 RM2 放送		
非常 RM3 放送		
非常 RM4 放送		
業務 RM1 放送		
業務 RM2 放送		
業務 RM3 放送		
業務 RM4 放送		
接点式 RM 放送		
タイマー放送		
電話ページング放送		
外部マイク放送		
緊急放送 1		
緊急放送 2		
緊急放送 3		
緊急放送 4		

※ 使用しない放送については記入不要です。

◎ 同一優先度設定 (1-5-3)

[同一優先度動作設定]

優先度	備考
1	先取り／後取り
2	先取り／後取り
3	先取り／後取り
4	先取り／後取り
5	先取り／後取り
6	先取り／後取り
7	先取り／後取り
8	先取り／後取り
9	先取り／後取り
10	先取り／後取り
11	先取り／後取り
12	先取り／後取り
13	先取り／後取り
14	先取り／後取り
15	先取り／後取り
16	先取り／後取り
17	先取り／後取り
18	先取り／後取り
19	先取り／後取り
20	先取り／後取り

◎ 非常断 24 V 出力設定 (1-5-4)

[非常断 24 V 出力設定]

業務放送時動作
継続 / カット / 緊急カット

◎ チャイム音量設定 (1-5-5)

種類	音量
チャイム 1 (上り 4 音)	dB
チャイム 2 (下り 4 音)	dB
チャイム 3 (2 音)	dB
チャイム 4 (ゴング)	dB

◎ 緊急メッセージ音量 (1-5-6)

種類	音量
メッセージ 1	dB
メッセージ 2	dB
メッセージ 3	dB
メッセージ 4	dB
メッセージ 5	dB
メッセージ 6	dB
メッセージ 7	dB
メッセージ 8	dB
メッセージ 9	dB
メッセージ 10	dB

◎ 点検音源音量設定 (1-5-7)

音源	音量
点検開始	dB
点検中	dB

◎ ボイススイッチ設定 (1-5-8)

種類	感度	減衰方法	BGM 減衰量	ホールド時間	BGM 復帰時間	減衰開始待ち時間	減衰時間	復帰開始感度
本体放送	dB		dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM1 放送								
非常 RM2 放送								
非常 RM3 放送								
非常 RM4 放送								
外部マイク放送								

[回線グループ設定]

グループ 番号	名称	回線 1	回線 2	回線 3	回線 4	回線 5	回線 6	回線 7	回線 8	回線 9	回線 10	回線 11	回線 12	回線 13	回線 14	回線 15	回線 16	回線 17	回線 18	回線 19	回線 20	回線 21	回線 22	回線 23	回線 24	回線 25	回線 26	回線 27	回線 28	回線 29	回線 30
1																															
2																															
3																															
4																															
5																															
6																															
7																															
8																															
9																															
10																															
11																															
12																															
13																															
14																															
15																															
16																															
17																															
18																															
19																															
20																															
21																															
22																															
23																															
24																															
25																															
26																															
27																															
28																															
29																															
30																															

【一斉放送スイッチ・放送階選択スイッチ設定】

	名称	用途					緊急	個別/ グループ	回線/ グループ番号	非常系統 番号
		非常	業務	兼用	BGM	未使用				
	通常一斉放送スイッチ			-			-	グループ		
	緊急一斉放送スイッチ			-			○	グループ		
	放送選択スイッチ 1									
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
	7									
	8									
	9									
	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	24									
	25									
	26									
	27									
	28									
	29									
	30									

※ 非常用リモコンを使用するときは、FS-1000 本体と各非常用リモコンについて、本シートを作成します。

☒ ☒ 表の ☐ 部は記入不要です。(初期設定のままで固定)

[回線選択 SW 設定／一斉 SW 設定]

	名称	用途		緊急	個別／ グループ	回線／ グループ番号
		業務	未使用			
一斉放送スイッチ					グループ	
回線選択スイッチ 1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて、本シートを作成します。

☒ ☐ 表の ☐ 部は記入不要です。(設定不可)

[階メッセージ設定]

EL 端子	非常系統		階情報	
	系統番号	非常系統名称	階メッセージ番号	階名称
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

